MITSUBISHI

sRGB

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

はじめに
映像を見る
設定・調整する
その他

三菱液晶プロジェクター

形名

LVP-UL7400

取扱説明書

PJLink®

このたびは三菱液晶プロジェクターをお買上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

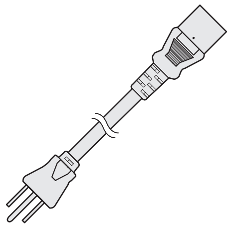
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買上げの販売店からお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

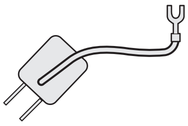
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する（このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。）

■ 電源関係

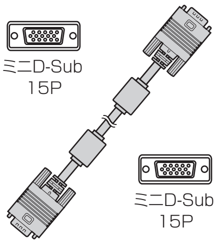


電源コード



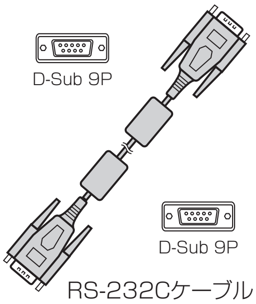
変換アダプター

■ 映像関係



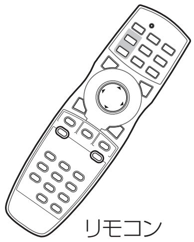
コンピューターケーブル

■ パソコン制御関係

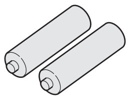


RS-232Cケーブル

■ リモコン関係



リモコン



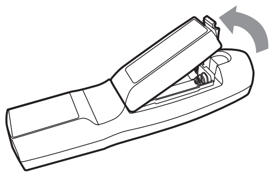
単三乾電池（2本）

■ その他

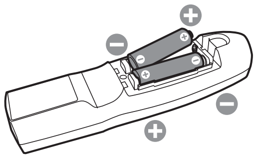
- レンズキャップ（本体に付属）
- レンズリング
- ターミナルカバー
- ランプ交換用トレー
- 取扱説明書
- クイックスタートアップ
- 保証書
- CD-ROM
- 三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内

- 付属の電源コード・変換アダプターは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる

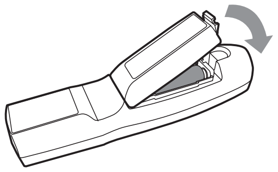


1 リモコン裏面のフタをはずす



2 乾電池の（+）、（−）をよく確かめて、（−）側から正しく入れる

- 乾電池を（+）側から入れると、（−）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れ、ショートして発熱する恐れがあります。



3 裏面のフタを付ける

- 乾電池は、単三乾電池（R6）を 2 本お使いください。
- リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2 本とも新しい乾電池に交換してください。

リモコンから乾電池を取り出す

- リモコンの裏面のフタをはずし、乾電池を取り出してください。

⚠注意

- 乾電池は、6 ～ 7 ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」をよく読んで、正しくお使いください。使用を誤ると、液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります（乾電池に表示されている注意事項もお読みください）。
- このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつ、そのコンセントには容易にアクセスできなければなりません。
- 本機には付属の電源コードをご使用ください。付属以外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
- J55022 クラス B 装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のコンピューターケーブルおよび RS-232C ケーブルをご使用ください。
- 本機は必ず接地してください。

もくじ

はじめに

安全のために必ずお守りください……4
各部のなまえ……8
　本体のなまえ……8
　リモコンのなまえ……9
リモコンの使いかた……10

映像を見る

設置する……12
コンピューターの映像を見る……18
　A. コンピューターと接続する……18
　B. ターミナルカバーを取り付ける……19
　C. 投写する……19
　D. アスペクト比（画角）の設定について……21
プレゼンテーションを演出する……22
　映像と音声を一時的に消す（BLANK）……22
　コンピューター映像とビデオ映像を同時に見る（2 画面表示）……22
　起動時などの画面を変更する……23
ビデオ機器の映像を見る……24
　A. ビデオ機器と接続する……24
　B. ターミナルカバーを取り付ける……26
　C. 投写する……26

設定・調整する

メニューを使って設定する……27
　メニューの設定のしかた……28
映像を調整する……36
　映像の明るさを調整する（コントラスト、ブライト）……36
　色を調整する（色の濃さ、色合い）……36
　映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）……36
　白の色合いを調整する（色温度の詳細設定）……36
　独自の明るさと色合いを設定する（カラーエンハンサーの詳細設定）……36
　映像の繊細感を調整する (SUPER RESOLUTION)……37
　色ごとの色合いを調整する (NCM)……37
　コンピューター映像の調整……38

その他

ネットワークの初期設定……40
パスワードを設定する……43
コンピューターによる監視と制御……44
設置工事を依頼するときは……46
巻取りフィルターについて……47
お掃除のしかた……48
投写レンズを交換する……49
光源ランプを交換する……50
故障かなと思ったら……52
仕様……55
　別売品……55
　接続できる信号の種類……56
索引……57
　端子について……57
インジケーターの見かた……58
オプションレンズについて……59
保証とアフターサービス……61

商標および著作権について

● HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
● Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
● Mac は、Apple Inc. の商標です。
● PJLink は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
● Crestron RoomView Connected は、Crestron Electronics, Inc. の商標です。
● その他、本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

● アスペクト比の切り換えについて
- 本機はアスペクト比切り換え機能（21 ページ）を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
- 本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換えを利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください	絶対に水にぬらさないでください
絶対にぬれた手で触れないでください	絶対に水場では使用しないでください	必ず指示に従い、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

⚠ 警告

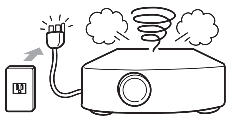
故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く !!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください (61 ページ参照)。

プラグを抜く

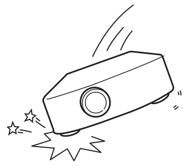
煙が出ている、変なにおいや音がするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く !!



プラグを抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



使用禁止

火災や感電の原因となります。

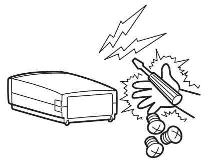
本体に割れ、変形がある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

プラグを抜く

次のようなことはしない

キャビネットをはずしたり、改造しない

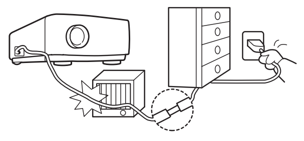


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

電源コードやプラグを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



禁止

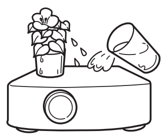
コードやプラグに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードやプラグが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない

禁止

金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない



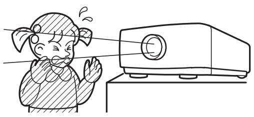
禁止

内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

次のようなことはしない（つづき）

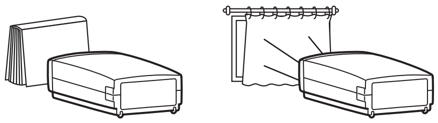
レンズをのぞかない



禁止

光源ランプの点灯中は､レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。特に小さなお子さまにはご注意ください。

光源ランプ点灯中にレンズの直前に物を置かない

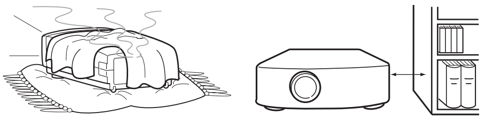


禁止

レンズや遮蔽物が高温になり、火災や故障の原因となります。

吸気口、排気口をふさがない

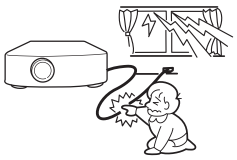
- 風通しの悪い狭い場所に置かない（壁から 50cm 以上離す）
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



禁止

吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



接触禁止

感電の原因となります。

たこ足配線をしない

火災の原因となります。

禁止

電源コードの延長をしない

火災の原因となります。

禁止

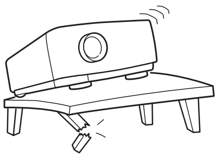
可燃性の溶剤（ベンジンやシンナーなど）やスプレーを近くで使用しない

禁止

ランプを点灯すると製品内部は非常に高温になるため、引火し、火災や故障の原因となることがあります。

次のような場所に置かない

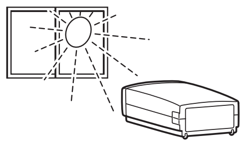
不安定な場所には置かない



禁止

（特に上下逆さまに置いた状態で）ぐらついた台の上や、傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

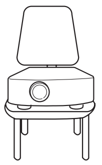
直射日光の当たる場所に置かない　レンズを太陽に向けない



禁止

火災や故障の原因となります。

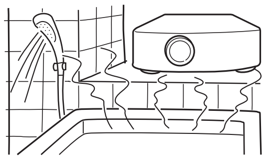
ソファー、椅子などの上に置かない



禁止

吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、製品の性能劣化や火災の原因となることがあります。

風呂場では使わない



水場での
使用禁止

火災や感電の原因となります。

その他

定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使う

指定以外のコンセントで使用すると、火災や感電の原因となります。
また、必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。

定格 15A
交流 100V

使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

禁止

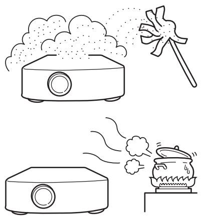
安全のために必ずお守りください（つづき）

⚠注意

次のような場所には置かない

設置時は、次のような場所には置かない

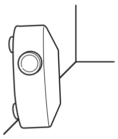
- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 屋外または空調設備のない場所
- 温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ
- 熱器具や加湿器の近く
- 油煙や湯気が当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 火災報知器の近く
- 海岸近くなど、塩分の多いところ
- 直射日光の当たる場所
- 振動や衝撃が加わる場所



設置禁止

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因になることがあります。

立てた状態で置かない

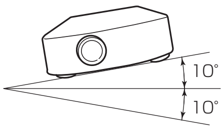


禁止

倒れて、けがや故障の原因となります。

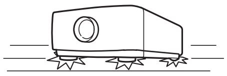
傾けた状態で動作させない

左右方向に傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。
左右方向に対して± 10 ﾟを超えて傾けた状態で動作させないでください。
また、傾けた状態で設置する場合、すべり落ちることがあるので、台などに固定して使用してください。



禁止

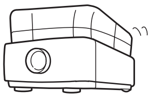
ワックスのかかった床に直接置かない



設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、床材とプロジェクター底面脚部分の密着性が上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

重いものを置かない、踏み台にしない

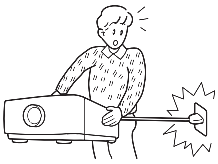


禁止

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

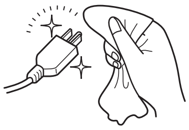
接続したまま移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

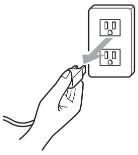
電源プラグのほこり、金属物などは定期的に取り、差し込みの具合を点検する



ほこりを取る

ほこり、金属物などがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。
１年に１回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

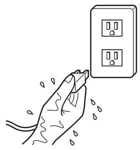
電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

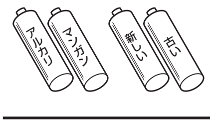
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店にコンセントの交換をご依頼ください。

禁止

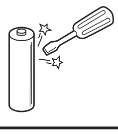
乾電池の取り扱いについて

新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。



禁止

分解したり、ショートさせたり、加熱したり、火や水の中に投入しない。

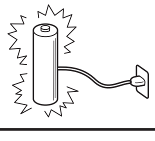


禁止

プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる。

正しく入れる

乾電池を充電しない。
充電式の電池は使用しない。



禁止

⚠注意

乾電池の取り扱いについて（つづき）

- 乾電池は、（−）側から入れてください。
  乾電池を（+）側から入れると、（−）側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。乾電池から液がもれて発煙、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。
- 使いきった乾電池は、すぐに取り出してください。
- 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 使用済みの乾電池は、地域の破棄ルールに従って破棄してください。また、プラス（+）・マイナス（−）端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから廃棄してください。他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄すると、ショートして、発火、破裂の原因となることがあります。
- 乾電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談してください。
- 乾電池は、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。乾電池がショートし、乾電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因になることがあります。
- 乾電池は、直射日光、高温多湿の場所を避けて保管してください。高温・湿気により、腐食や液もれの原因となります。

その他

1 年に一度は内部の掃除を依頼する

内部掃除

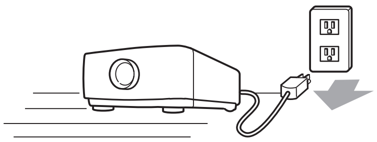
三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむりなどにより内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災、故障や光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

フィルターユニットに異物などを入れない

故障の原因となります。

禁止

ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ（待機状態）にします。**約 2 分半**待ったあと、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
スタンバイにして約 2 分半待つのは、光源ランプを冷やすために吸・排気ファンが回っているからです。使用後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

海抜 2700m 以上での使用は避ける

海抜 2700m 以上での使用は、製品の寿命に影響する恐れがあります。（海抜 1500m から 2700m までの場合は高地モードを「高地」に設定してご使用ください。）

注意

結露した状態で使用しない

結露した状態で使用すると、故障やその他の不具合が発生する原因となることがあります。

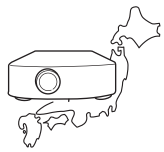
禁止

強い衝撃や振動を与えない
乱暴な扱いはしない

製品が故障し、火災・感電の原因となります。

禁止

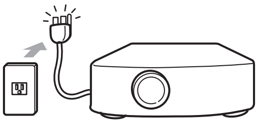
このプロジェクターは日本国内専用です



日本専用

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。

接触禁止

観葉植物を置いたり、ペットを近づけたりしない

排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さなお子様にはご注意ください。

禁止

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

禁止

レンズシフト動作中はレンズ開口部に手を入れない

手（指）がはさまれ、けがの原因となることがあります。

手はさみ注意

レンズを取り付ける前に電源を入れない

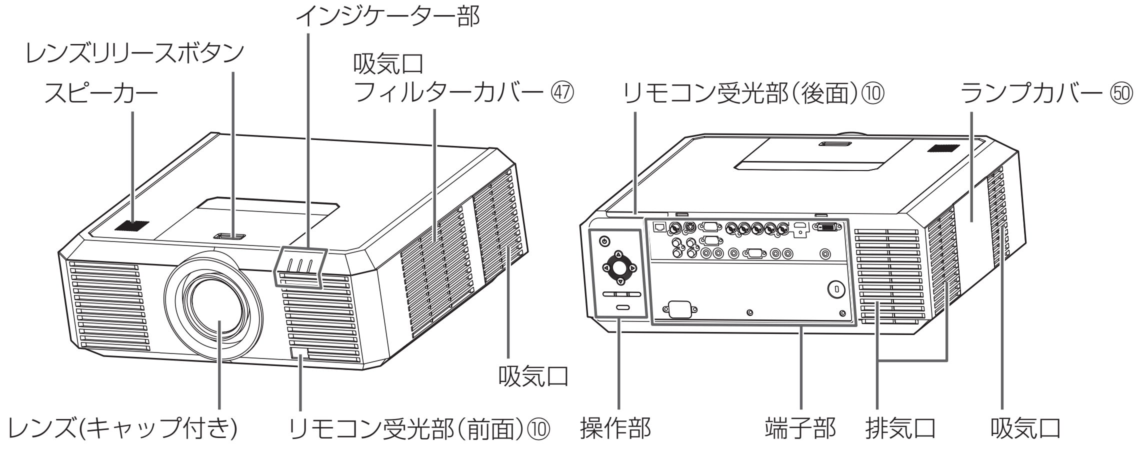
ランプの光がキャビネットに直接当たって温度が上昇し、変形する恐れがあります。

禁止

各部のなまえ

本体のなまえ（◯は参照ページ）

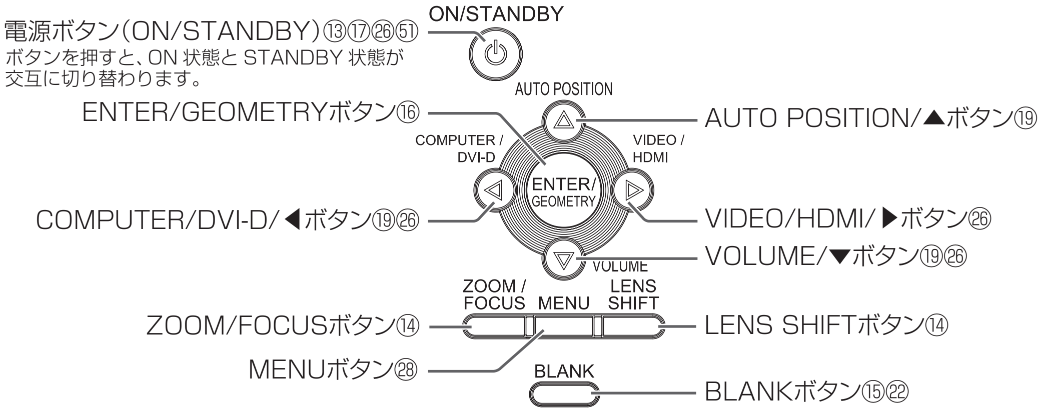
本体



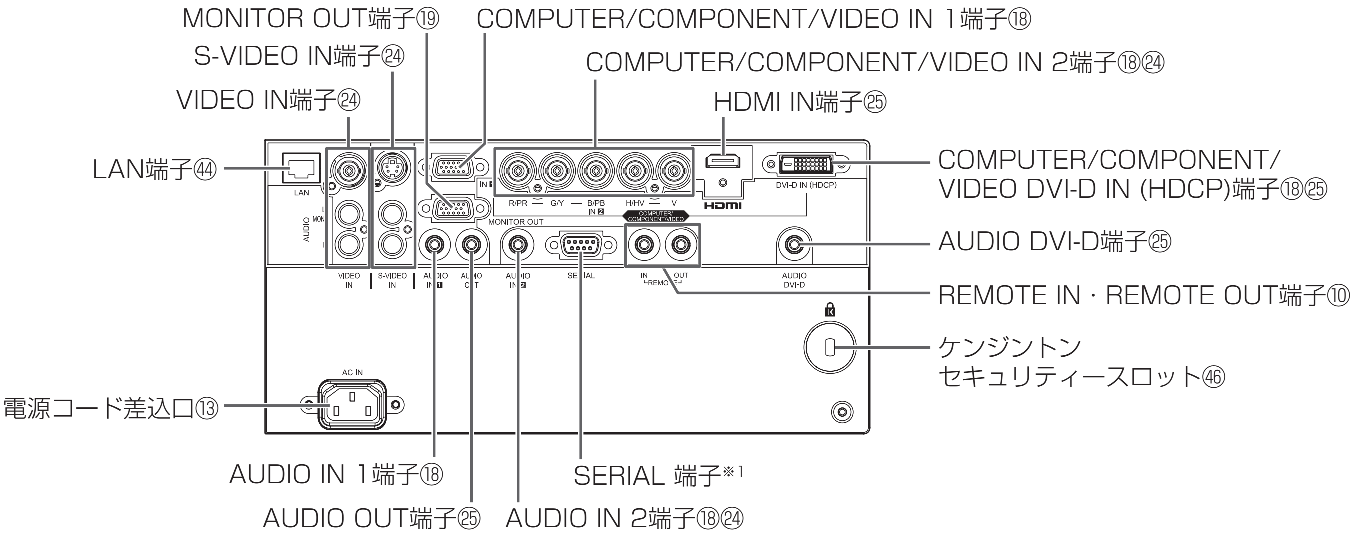
⚠注意

使用した直後、光源ランプは高温になっています ので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

操作部

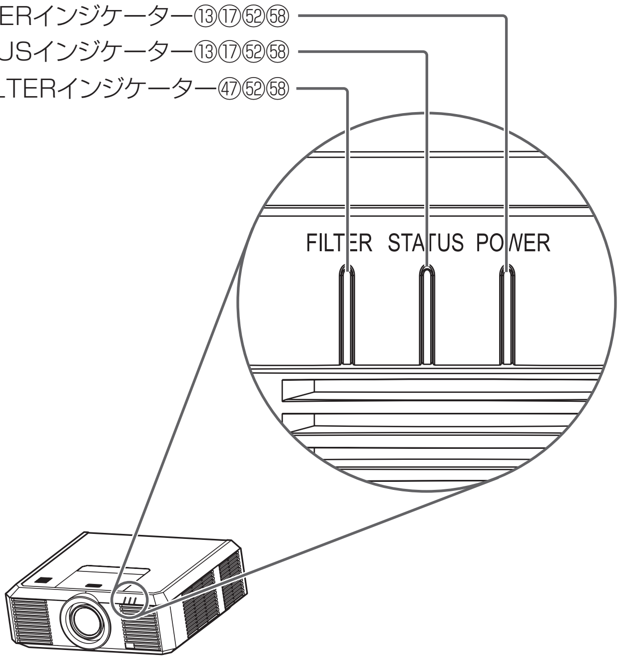


端子部

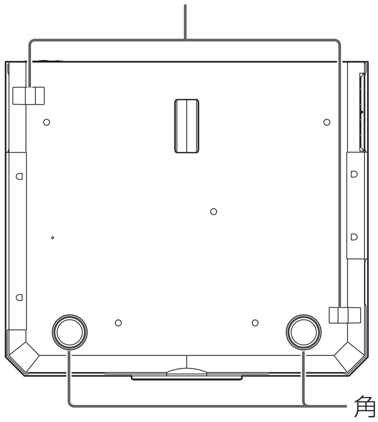


※1：コンピューターで本機を制御するときに使用します。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

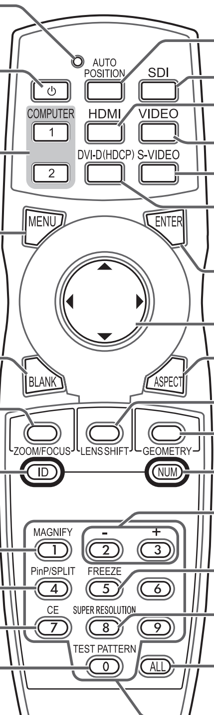
インジケーター部

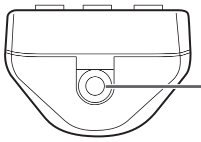


底面部



リモコンのなまえ（◯は参照ページ）



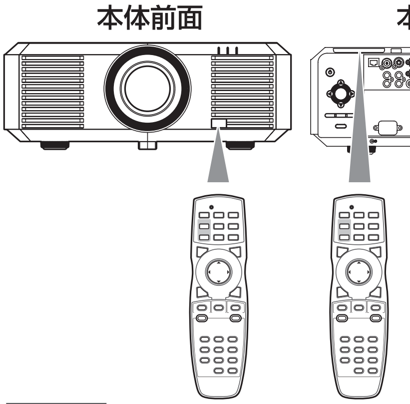


※1：MAGNIFY ボタンは、このプロジェクターでははたらきません。
※2：PinP/SPLIT ボタンは、このプロジェクターでは SPLIT としてはたらきます。（PinP ボタンとしては、はたらきません。）
※3：SDI ボタンは、このプロジェクターでははたらきません。
※4：＋、－ボタンは、VOLUME ボタンとしてもはたらきます。
※5：数字（0 ～ 9）ボタンを使用するときは、ID ボタンまたは NUM ボタンを押しながら数字（0 ～ 9）ボタンを押してください。

リモコンの使いかた

ワイヤレスリモコンとして使う

操作距離範囲

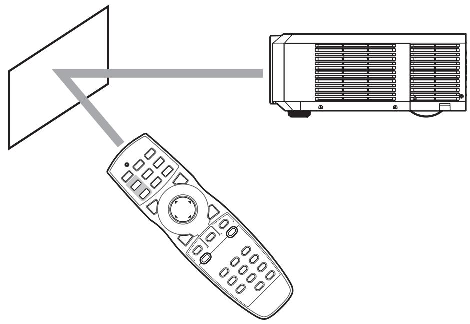


本体のリモコン受光部（前面または後面）に向け、正面で約 30m 以内のところから操作します。

お知らせ

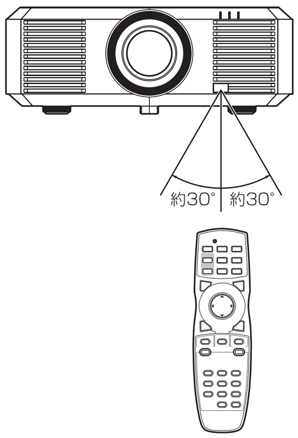
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は 2m 以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバーター方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなることがあります。
- リモコンと本体を近づけ過ぎると、リモコンが効きにくくなることがあります。
- ターミナルカバーを取り付けると、後方からのリモコンが効きにくくなることがあります。

リモコンからの信号をスクリーンに反射させて本機を操作することはできますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作距離範囲に制限が出る場合があります。

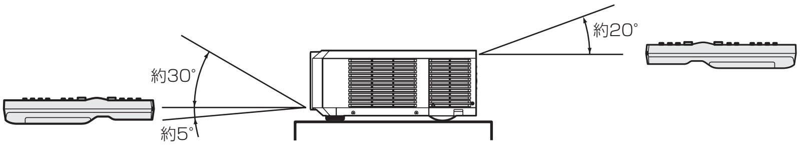


操作角度範囲

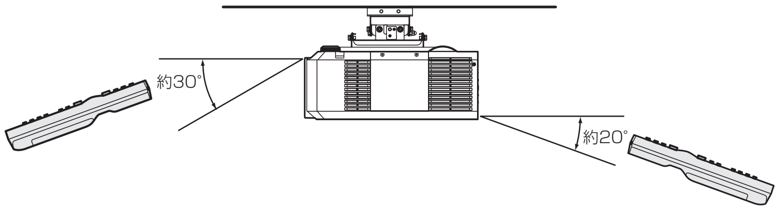
左右方向



上下方向（床置き時）



上下方向（天吊り時）

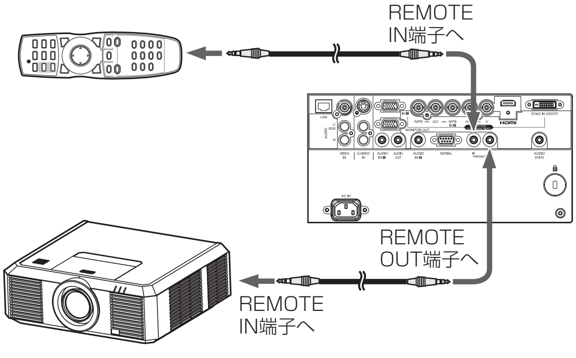


ワイヤードリモコンとして使う

本機に付属のリモコンは、リモコンケーブルを接続することにより、ワイヤードリモコンとしても使えますので、操作範囲からはずれていても確実に遠隔操作することができます。

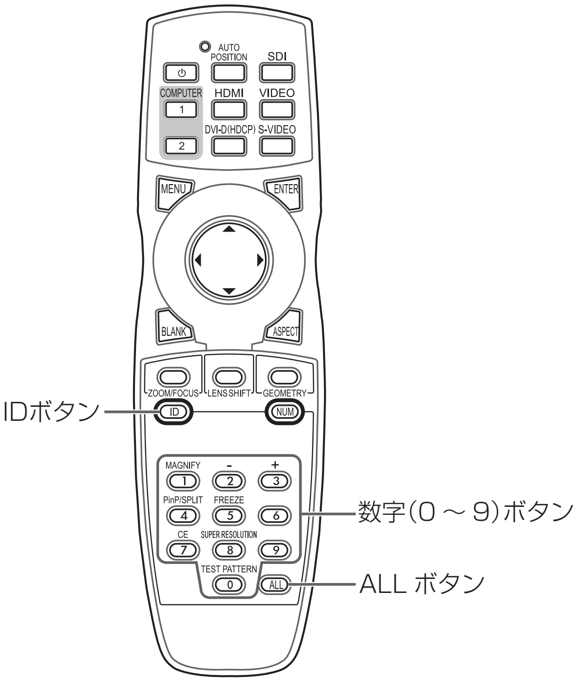
お知らせ

- 接続には、市販の ϕ 3.5 ステレオタイプのピン－ピンケーブルをご使用ください。ただし、ケーブルによっては正しくはたらかないことがあります。
- 本機の REMOTE OUT 端子ともう 1 台のプロジェクターの REMOTE IN 端子をピン－ピンケーブルで接続すると、2 台同時に操作することができます。
- リモコンケーブルが本機に接続されているときは、ワイヤレスリモコンとしては、はたらきません。
- 長期間ワイヤードリモコンとしてご使用の場合は、リモコンから乾電池を取り出してください。（取り出したあとは、6 ～ 7 ページの「乾電池の取り扱いについて」に従って取り扱ってください。）



リモコンに ID 番号を設定する

本機のリモコンに ID 番号（リモコン ID）を設定することで、1 つのリモコンで複数のプロジェクターの同時制御や個別制御を行うことができます。
リモコンを使用して複数のプロジェクターを制御するには、あらかじめ本機の ID 番号（プロジェクター ID）をリモコンに設定する必要があります。
制御できる ID 番号は「01」～「63」の 2 桁の番号または、「ALL」です。それ以外の番号は設定できません。



リモコン単体で設定する

1 **リモコンの「ID」ボタンを押しながら「数字(0 ～ 9)」ボタンを押して ID 番号（2 桁）を設定する**
またはリモコンの「ID」ボタンを押しながら「ALL」ボタンを押す

- リモコンの「ID」ボタンを押していない状態で「数字（0 ～ 9)」ボタンまたは「ALL」ボタンを押しても ID の設定はできません。
- リモコン ID はリモコン単体で設定しますが、リモコンをプロジェクターに向けて設定すると、設定状況を画面で確認することができます。

プロジェクターを使用して設定する

1 **リモコンをプロジェクターに向けて「リモコン単体で設定する」の操作をする**

画面右上に ID 設定ダイアログが表示されます。

プロジェクター ID	XX
リモコン ID （01 - 63/ALL）	YY → ZZ

XX：現在のプロジェクター ID を表示。（プロジェクター ID が「ALL」のときは「ALL」を表示）
YY：現在設定されているリモコン ID を表示。（リモコン ID が「ALL」のときは「ALL」を表示）
ZZ：設定変更するリモコン ID を表示。（リモコン ID が「ALL」のときは「ALL」を表示）

- リモコン ID を入力する前は「＊＊」と表示されます。「数字（0 ～ 9)」ボタンを押すごとに 2 桁の数字の上の位から入力されます。

リモコン ID の設定ができた場合

プロジェクター ID	XX
リモコン ID （01 - 63/ALL）	YY → ZZ 完了

設定したリモコン ID 番号の下に「完了」が表示されます。
- ID 設定ダイアログは約 5 秒間表示されたあと、自動的に消えます。
- ID 設定ダイアログ表示中に「ID」ボタン、「数字（0 ～ 9)」ボタン、「ALL」ボタン以外のボタンを押すとダイアログが消えます。

リモコン ID の設定ができなかった場合

プロジェクター ID	XX
リモコン ID （01 - 63/ALL）	YY → ZZ エラー

設定したリモコン ID 番号の下に「エラー」が表示されます。
- ID 設定ダイアログは約 5 秒間表示されたあと、自動的に消えます。
- ID 設定ダイアログ表示中に「ID」ボタン、「数字（0 ～ 9)」ボタン、「ALL」ボタン以外のボタンを押すとダイアログが消えます。

プロジェクター ID を設定する

複数のプロジェクターを個別に監視と制御を行うことができます。
プロジェクター ID は「01」～「63」の 2 桁の番号または、「ALL」です。それ以外の番号は設定できません。
- 本機の工場出荷時のプロジェクター ID は、「ALL」に設定されています。
- 複数のプロジェクターに同じプロジェクター ID を設定することで複数のプロジェクターを一括して監視と制御を行うことができます。

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 **オプションメニューを表示させる**

2 **▲、▼ボタンを押して「プロジェクター ID」を選ぶ**

3 **◀、▶ボタンを押してプロジェクター ID を設定する**

お知らせ
- 個別に監視と制御を行いたい場合は、異なる「プロジェクター ID」を設定してください。
- 「ALL」に設定するとすべてのプロジェクター ID で本機の監視と制御が行えます。

お知らせ
- ID 番号は「01」～「63」の 2 桁の番号で設定します。それ以外の番号は無効となります。
- プロジェクターの ID 番号を「01」～「63」に設定した場合は、リモコンの ID 番号をプロジェクター ID に一致させるか「ALL」に設定すると制御が行えます。
- プロジェクターの ID 番号を「ALL」に設定した場合は、リモコンの ID 番号にかかわらずリモコンで制御できます。
- プロジェクターの ID 番号がわからない場合は、リモコンの ID 番号を「ALL」に設定することで、ID 番号にかかわらずプロジェクターの制御が行えます。

設置する

設置する前に

設置する前に本機を使用する環境を確認してください。
環境条件が合っていないと、プロジェクターの故障や不具合の原因となります。

本機の設置環境

「高地モード」の設定により使用可能温度が異なります。
標準モードで使用時：5℃～ 40℃
高地モード（14、31 ページ参照）で使用時は、5℃～ 30℃となり、床置き、天吊り使用のみ可能です。

スクリーンの設置

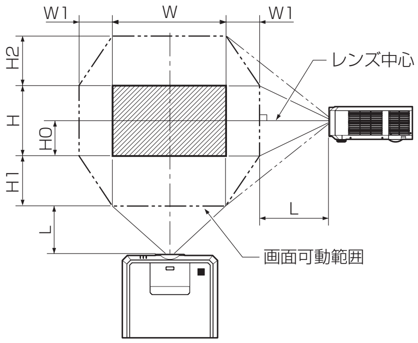
スクリーンはプロジェクターに対して垂直になるように設置してください。垂直に設置できない場合は、プロジェクターの投写角度を調整してください。（14、15 ページ参照）

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。
- スクリーンを直射日光や照明の光の当たる場所に設置しないでください。スクリーンに直接当たる光で画面が白っぽくなり、投写映像が見にくくなります。

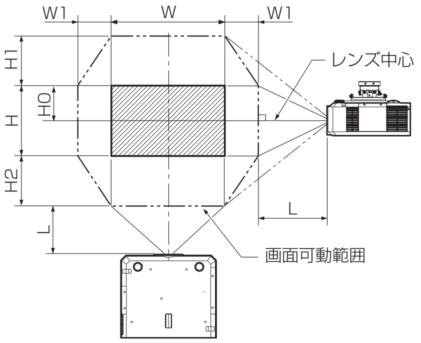
画面サイズと投写距離

下記の表を参考にスクリーンサイズ、アスペクト比と投写距離を決めてください。
（アスペクト比の設定については、21 ページをご覧ください。）

【床置き時】



【天吊り時】



レンズシフト相関表

レンズシフト上下	60%	50%	20%	0%	-20%	-50%	-60%
レンズシフト左右	± 4.3%	± 8.6%	± 21.4%	± 30%	± 21.4%	± 8.6%	± 4.3%

* 上下、左右を同時に最大にすることはできません。

アスペクト比の設定を「FULL」にした場合（1920×1200 画素表示）

画面サイズ（16：10）			投写距離 L		レンズシフト高さ			レンズシフト幅
（形）	幅 W（cm）	高さ H（cm）	最短（m）	最長（m）	基準 H0（cm）	移動量 H1（cm）	移動量 H2（cm）	移動量 W1（cm）
40	86	54	1.2	2.2	-27	32	32	26
60	129	81	1.8	3.4	-40	48	48	39
80	172	108	2.5	4.5	-54	65	65	52
100	215	135	3.1	5.6	-67	81	81	65
120	258	162	3.7	6.8	-81	97	97	78
150	323	202	4.7	8.5	-101	121	121	97
200	431	269	6.3	11.3	-135	162	162	129
250	538	337	7.8	14.2	-168	202	202	162
300	646	404	9.4	17.0	-202	242	242	194

アスペクト比の設定を「16:9」にした場合（1920×1080 画素表示）

画面サイズ（16：9）			投写距離 L		レンズシフト高さ			レンズシフト幅
（形）	幅 W（cm）	高さ H（cm）	最短（m）	最長（m）	基準 H0（cm）	移動量 H1（cm）	移動量 H2（cm）	移動量 W1（cm）
40	89	50	1.2	2.3	-25	33	33	27
60	133	75	1.9	3.5	-37	50	50	40
80	177	100	2.5	4.6	-50	66	66	53
100	221	125	3.2	5.8	-62	83	83	66
120	266	149	3.8	7.0	-75	100	100	80
150	332	187	4.8	8.7	-93	125	125	100
200	443	249	6.4	11.7	-125	166	166	133
250	553	311	8.1	14.6	-156	208	208	166

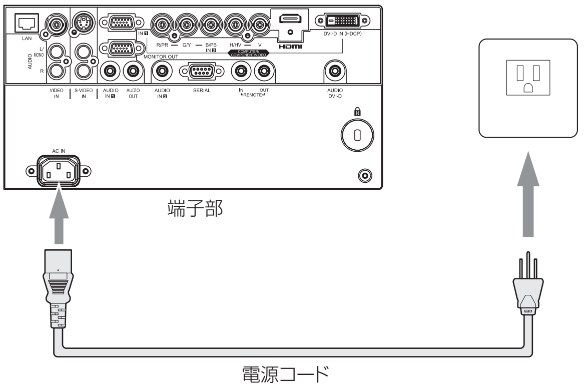
お知らせ

- 表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。
- レンズシフト高さと幅は、工場出荷時の位置からの値を示しています。
- オプションレンズの投写距離については、59 ～ 60 ページの表をご覧ください。
- 設置する場所については、あらかじめ 4 ～ 7 ページの「安全のために必ずお守りください」をお読みください。
- 天吊りにするなどの設置工事は、必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは 46 ページをご覧ください。

電源コードの接続

● 万一、本機が故障した場合においても安全性が確保できるように、漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。漏電ブレーカーを備えたコンセントがない場合は、販売店に工事をご依頼ください。

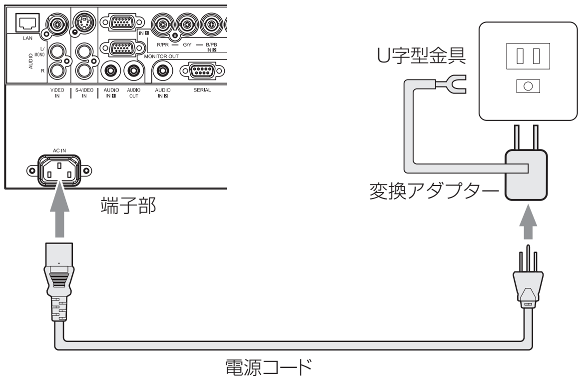
電源コンセントにアース端子の差込口が付いている場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込口が付いていない場合



1 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する

2 電源コードのもう一方に付属の変換アダプターを取り付ける

3 変換アダプターのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する

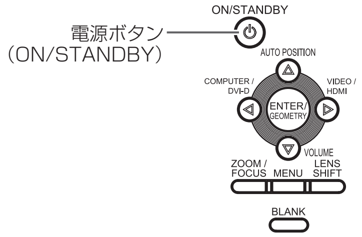
● 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から抜いたあとに行ってください。
● 変換アダプターのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取り付けないでください。
● 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。

4 変換アダプターを電源コンセントに差し込む

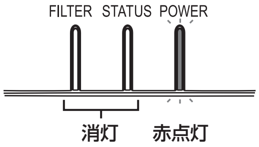
● 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。

設置の調整

電源を入れる

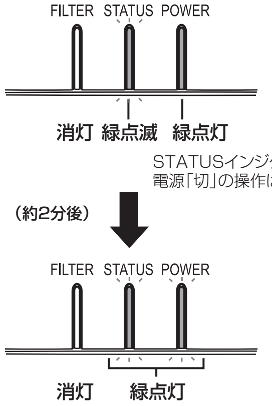


1 POWERインジケーターが赤色に点灯しているのを確認する



● 電源プラグをコンセントに差し込むと、POWERインジケーターが赤色に点灯します。
● 電源プラグをコンセントに差し込むと、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタン（⏻）を押して、再度点灯させてください。

2 電源ボタン（⏻）を押す



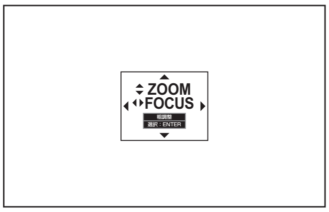
● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度電源ボタン（⏻）を押してください。
● 電源ボタン（⏻）を押したあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
● ランプモードは、電源を入れたときは「低」モードで起動します。「標準」モードに設定している場合は、約2分で「標準モード」に切り換わります。
● 使用中はレンズキャップをレンズに被せないでください。

設置する（つづき）

投写した映像の位置を調整する

ピントを調整します。
その後、投写した映像がスクリーンからはみだすときは、設置位置を調整するか、レンズシフトでレンズ位置を調整してください。

1 ZOOM/FOCUS ボタンを押して画面にズーム／フォーカス表示を表示させる



2 ◀、▶ボタンを押してピントを調整する

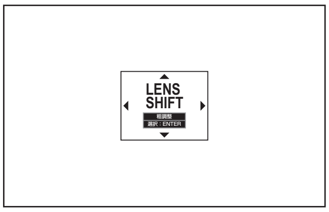
- ズーム／フォーカス表示の表示中に ENTER ボタンを押すと、粗調整／微調整の切り換えができます。粗調整にすると◀、▶ボタンを押したときのピント調整の速度が速くなり、微調整にすると遅くなります。

3 ▲、▼ボタンを押して投写画面サイズに合わせる

- ズーム／フォーカス表示の表示中に ENTER ボタンを押すと、粗調整／微調整の切り換えができます。粗調整にすると▲、▼ボタンを押したときのズーム調整の速度が速くなり、微調整にすると遅くなります。

4 LENS SHIFT ボタンを押す

- 画面中央にレンズシフト表示が表示されます。



5 ▲、▼、▶、◀ボタンを押してレンズ位置を調整する

- ▼ボタンを押すと映像が下に移動します。
- ▲ボタンを押すと映像が上に移動します。
- ▶ボタンを押すと映像が右に移動します。
- ◀ボタンを押すと映像が左に移動します。

お知らせ

- レンズシフト表示の表示中に ENTER ボタンを押すと、粗調整／微調整の切り換えができます。粗調整にすると▲、▼、▶、◀ボタンを押したときの移動量が大きくなり、微調整にすると移動量が小さくなります。
- 無信号時にズーム / フォーカスまたはレンズシフトを表示させると、画面全体にクロスハッチが表示されます。
- レンズシフト動作中、レンズ開口部に手などをはさまないよう、注意してください。
- 上下方向のレンズ移動量が大きい場合は、まれに色ずれが現れる場合があります。
- レンズシフト動作中は画面がちらつくことがあります。
- リモコンの TEST PATTERN ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。TEST PATTERN ボタンを押していくと、「クロスハッチ（緑）」→「クロスハッチ（赤）」→「クロスハッチ（青）」→「縦カラーバー」→「通常画面」→・・・の順に表示が切り換わります。
  このとき ZOOM/FOCUS ボタンまたは LENS SHIFT ボタンを押すと、テストパターンを表示したままズーム / フォーカスまたはレンズシフトを調整することができます。
- レンズシフトの可動範囲を超えて調整しようとすると、ダイアログ内の三角マークが点滅します。点滅している三角マークの方向へはそれ以上調整できません。

オートパワーオフの設定を変更する

本機は購入時に「オートパワーオフ」機能が設定されています。必要に応じて「オートパワーオフ」の設定を変更してください。（30 ページ参照）

オートパワーオフの設定を変更する場合

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 設置メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「オートパワーオフ」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して設定を変更する

高地モードを設定する

- 使用する場所の高度に合わせてオプションメニューの「高地モード」を設定してください。初期値は「標準」です。
- 高度 0m ～ 1500m の場所では「標準」を選択します。
- 高度 1500m ～ 2700m の場所では「高地」を選択します。

お知らせ

- 高度 1500m 以上の場所で「標準」を選択すると、プロジェクターの故障や不具合の原因となります。
- 「高地」モードで使用するときは、設置可能な姿勢は床置き、天吊りのみです。
- 「高地モード」で「高地」を選択していると、ランプモードは自動的に「低」に設定されます。

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 オプションメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「高地モード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンを押して「標準 ⏎」または「高地 ⏎」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

反転表示を設定する

設置した本機の向きに合わせて、設置メニューの「反転表示」を設定してください。初期値は「OFF」です。

- 床置き / フロント投写のときは「OFF」を選択します。
- 天吊り / フロント投写のときは「上下左右」を選択します。
- 床置き / リア投写のときは「左右」を選択します。
- 天吊り / リア投写のときは「上下」を選択します。

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 設置メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「反転表示」を選ぶ

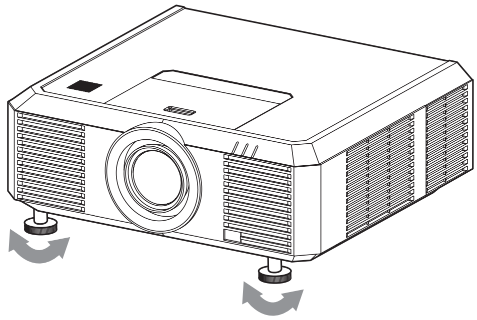
3 ◀、▶ボタンを押して「OFF」または「上下左右」、「左右」、「上下」を選ぶ

画面の傾きやひずみを調整する

スクリーンに角度がついていて画面が台形にひずんでいるときは、以下のようにして投写角度を調整してください。

1 本体を投写させたい角度まで持ち上げる

2 角度調整脚を左右に回して調整する



角度調整脚を伸ばした状態ではプロジェクターを運搬しないでください。伸ばした状態で運搬すると、調整脚が破損する恐れがあります。

スクリーン上の映像に縞模様が見えるときは

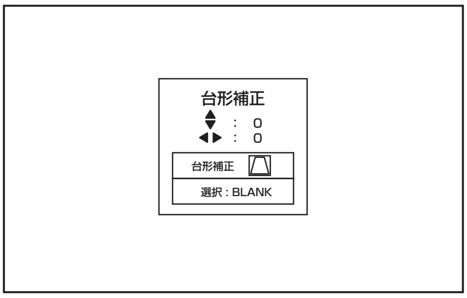
スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。
スクリーンを交換するか、本機のフォーカスを少しずらしてみてください。(14、53 ページ参照)

画面がひずむときは

画面がひずむときは、台形補正、コーナー補正、曲面補正のいずれかを行って調整します。
画面が台形になるときは「台形補正」、画面の形状を微調整するときは、「コーナー補正」、曲面に投写した映像を調整するときは「曲面補正」を行います。
本体の ENTER/GEOMETRY ボタンまたはリモコンの GEOMETRY ボタンを押すと、「台形補正」→「コーナー補正」→「曲面補正」→「通常画面」→「台形補正」･･･の順にメニューが切り換わります。

台形補正で調整する

スクリーンと本機が垂直になっていないと画面が台形になります。本機およびスクリーンを調整しても垂直にならないときは、本体の ENTER/GEOMETRY ボタンまたはリモコンの GEOMETRY ボタンを押して「台形補正」を表示させてから、◀、▶、▲、▼ボタンを押して調整します。

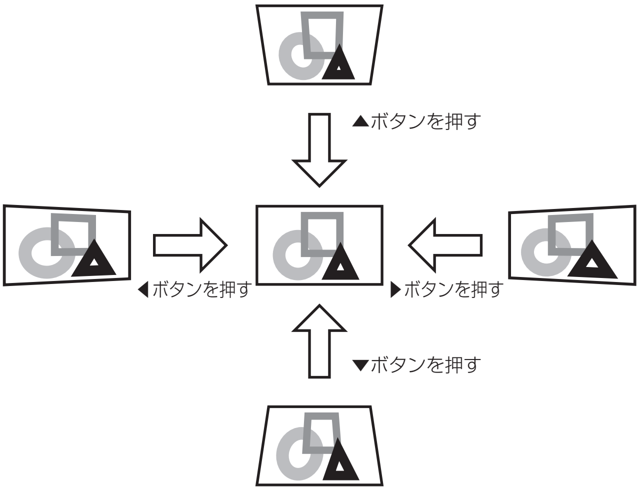


BLANK ボタンを押すたびに表示が以下のとおり切り替わります。

「台形補正」→「リセット」→「台形補正」･･･

「台形補正」を表示中
画面中央を基準として、縦方向および横方向に調整します。

床置きで正面から映像を見たとき



「リセット」を表示中に◀または▶ボタンを押すと、設定は初期化されます。

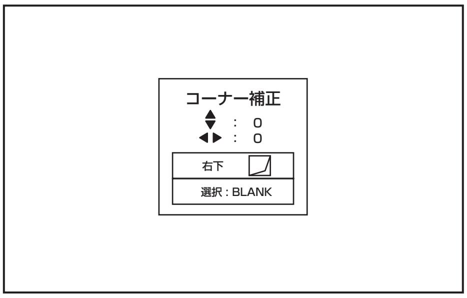
お知らせ

- 台形補正は、レンズ位置が左右方向の中央、上下方向の最上部(床置き時。天吊り時は最下部)にあるときに最適な補正が可能になります。台形補正を行うときは、あらかじめレンズシフトリセットでレンズ位置を工場出荷時の位置にもどし (30 ページ参照)、レンズシフトで最上部に移動してください。(14 ページ参照)
- 台形補正時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 台形補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- 台形補正を行うと映像がひずむことがあります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。
- 映像信号の種類と台形補正の調整値によっては、台形補正中に映像が乱れることがあります。その場合は、映像が乱れない範囲内で調整を行ってください。
- 台形補正と曲面補正を組み合わせて行うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正できる範囲が狭くなります。また、台形補正の強度を 11 以上に設定すると、曲面補正ができなくなります。
- オプションレンズ使用時に台形補正を行うと、正しく長方形にならない場合や正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。

設置する（つづき）

コーナー補正で調整する

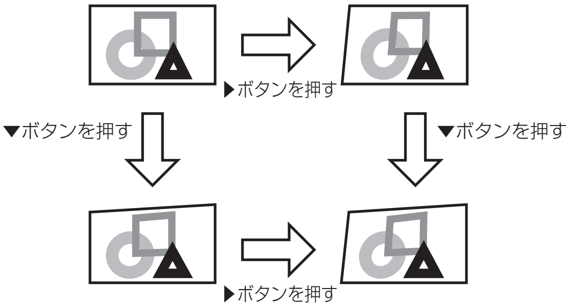
画面の形状を微調整する場合に使用します。本体のENTER/GEOMETRYボタンまたはリモコンのGEOMETRYボタンを押して「コーナー補正」を表示させてから、◀、▶、▲、▼ボタンを押して調整します。



BLANKボタンを押すたびに表示が以下のとおり切り替わります。

「右下」→「左下」→「右上」→「左上」→「リセット」→「右下」･･･

「右下」、「左下」、「右上」、「左上」を表示中
それぞれ選択した頂点の水平位置、垂直位置を調整します。
例：左上位置を調整する（左上）



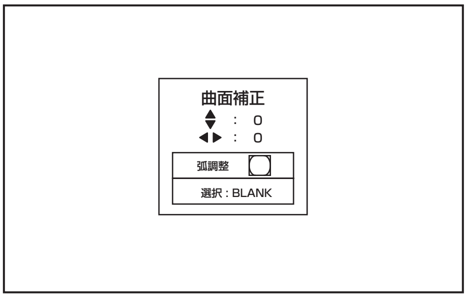
「リセット」を表示中に◀または▶ボタンを押すと、設定は初期化されます。

お知らせ

- コーナー補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- コーナー補正を行うと映像がひずむことがあります。
- 映像信号の種類とコーナー補正の調整値によっては、コーナー補正中に映像が乱れることがあります。その場合は、映像が乱れない範囲内で調整を行ってください。
- 画面の形状やアスペクト比の歪みが大きいとコーナー補正で修正しきれない場合があります。

曲面補正で調整する

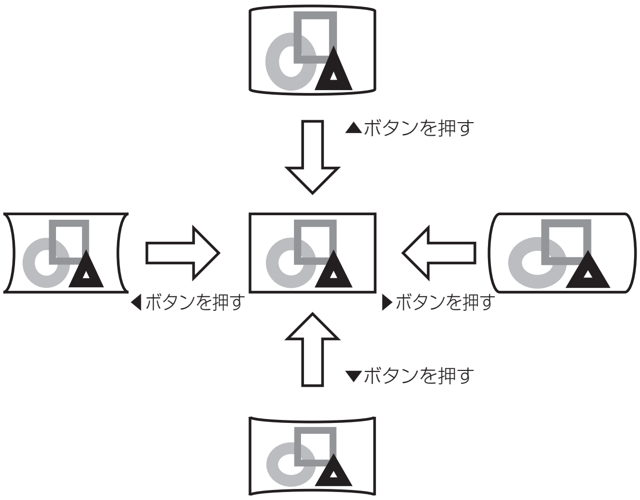
曲面に投写した映像を調整するときは、本体のENTER/GEOMETRYボタンまたはリモコンのGEOMETRYボタンを押して「曲面補正」を表示させてから、◀、▶、▲、▼ボタンを押して調整します。



BLANKボタンを押すたびに表示が以下のとおり切り替わります。

「弧調整」→「水平原点調整」→「垂直原点調整」→「リセット」→「弧調整」･･･

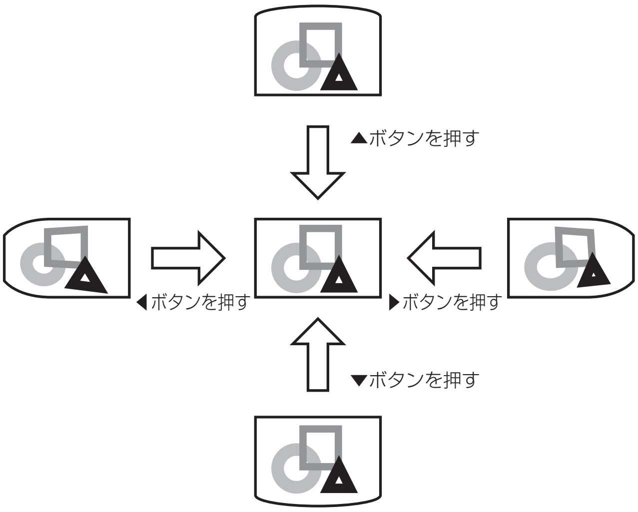
「弧調整」を表示中
画面中央を基準として、縦方向および横方向に弧の調整をします。



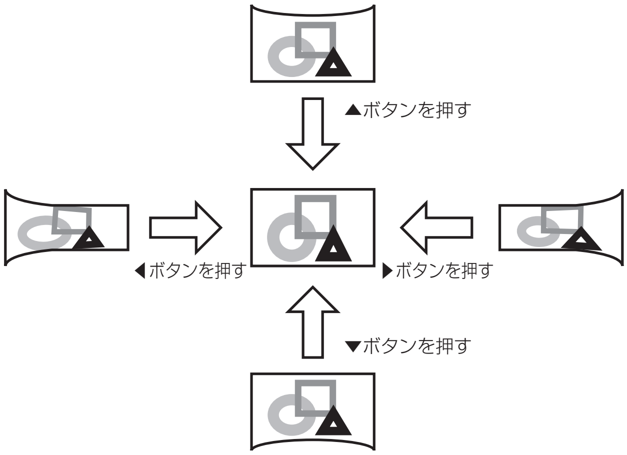
「水平原点調整」または「垂直原点調整」を表示中
上下のどちらか一方、または左右のどちらか一方の曲面補正が過度にかかった場合に、水平弧または垂直弧に対する原点の水平位置、垂直位置を調整します。弧調整を行っていないと映像は変化しません。

水平弧に対する原点を調整する

- 水平弧の調整が「－（マイナス）」のとき（弧調整で▼方向に設定したとき）

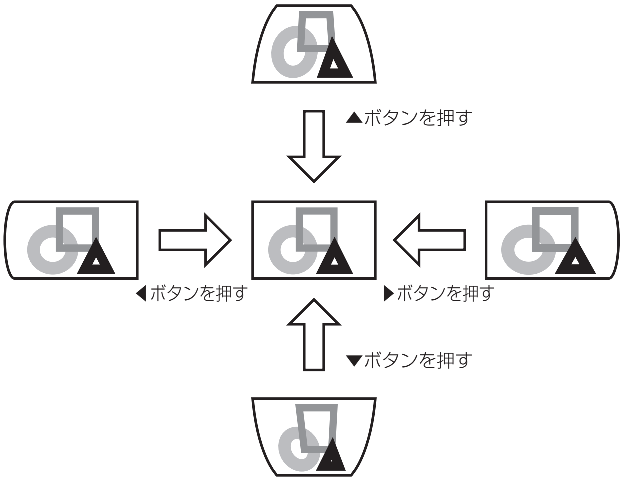


- 水平弧の調整が「＋(プラス)」のとき（弧調整で▲方向に設定したとき）

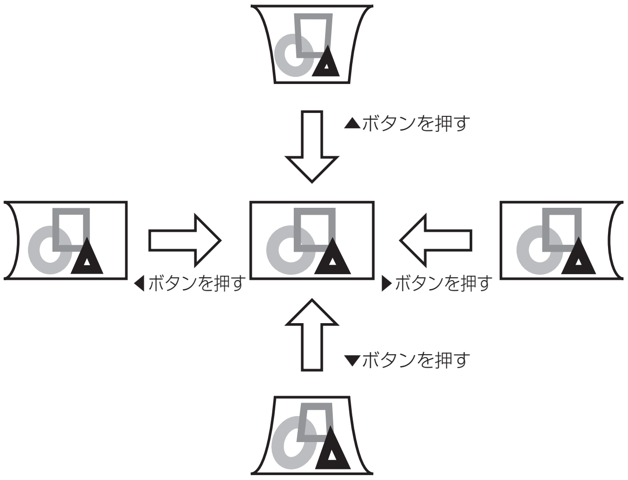


垂直弧に対する原点を調整する

- 垂直弧の調整が「－(マイナス)」のとき（弧調整で◀方向に設定したとき）



- 垂直弧の調整が「＋(プラス)」のとき（弧調整で▶方向に設定したとき）



「リセット」を表示中に◀または▶ボタンを押すと、設定は初期化されます。

お知らせ

- 曲面補正を行うと、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がりなどの現象が見られますが、故障ではありません。
- 曲面補正を行うと映像がひずむことがあります。
- 本体とスクリーンの設置条件や曲面補正の補正量によっては、正しく長方形にならない場合や、正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。
- 映像信号の種類と曲面補正の調整値によっては、曲面補正中に映像が乱れることがあります。その場合は、映像が乱れない範囲内で調整を行ってください。
- 台形補正と曲面補正を組み合わせて行うと、それぞれ単独で調整する場合よりも、補正できる範囲が狭くなります。また、曲面補正の弧の強度を 16 以上に設定すると、台形補正ができなくなります。
- オプションレンズ使用時に曲面補正を行うと、正しく長方形にならない場合や正しいアスペクト比にならない場合があります。軽度の場合はコーナー補正で調整することができます。

本機の使用を終わるとき

1 電源ボタン（⏻）を押す

- 「電源オフ時は再度電源ボタンを押して STATUS インジケーターが消えるまでクーリングしてください」のメッセージが表示されます。
- この状態を解除するには、電源ボタン（⏻）以外のボタンを押してください。または 10 秒後にメッセージは消えます。

2 電源ボタン（⏻）をもう一度押す

- 光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、STATUS インジケーターが点滅します。

3 STATUS インジケーターの緑点滅が消えるまで、約 2 分半そのまま待つ

- スタンバイ状態で約 2 分半待つのは、光源ランプを冷やすために、吸・排気ファンが回っているからです。
- プロジェクター周囲の温度が高くなると排気ファンの動作音が大きくなります。
- 冷却中はファンの動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

4 電源プラグをコンセントから抜く

- POWER インジケーターが消灯します。
- 吸・排気ファンの回転中またはランプの点灯中に電源プラグを抜いた場合は、プロジェクターを冷却するため、10 分間電源を切ったままにしておいてください。ランプを再度点灯させる場合は、電源ボタン（⏻）を押してください。ランプがすぐに点灯しない場合は、数分たってから再度電源ボタン（⏻）を押してください。それでもランプが点灯しない場合は、ランプを交換してください。
- 外部からのほこりを防ぐためにレンズキャップをしてください。

ダイレクトパワーオフ

本機は、電源ボタンを押さずに、電源コードを抜いて電源を切ることができます。

- ランプ点灯後、STATUS インジケーターの点滅中はダイレクトパワーオフを行わないでください。ランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ランプ点灯後 30 分以内でのダイレクトパワーオフを繰り返すと、ランプにダメージを与える恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフした場合、すぐに電源を入れないでください。（約 10 分間お待ちください。）すぐに電源を入れるとランプ寿命に影響する恐れがあります。
- ダイレクトパワーオフする前には必ずメニューの表示を消してください。メニュー操作中にダイレクトパワーオフすると、設定内容が記憶されない場合があります。
- ネットワーク機能を用いて本機を制御中にダイレクトパワーオフを行うと、ProjectorView などのアプリケーションソフトに異常が発生する場合があります。動作時間、温度表示などのデータが固定した状態になる可能性があります。一旦ブラウザを閉じてから、再度ブラウザを起動してください。
- フィルターの巻き取り動作中（FILTER インジケーターが緑点滅中）は、ダイレクトパワーオフを行わないでください。

コンピューターの映像を見る

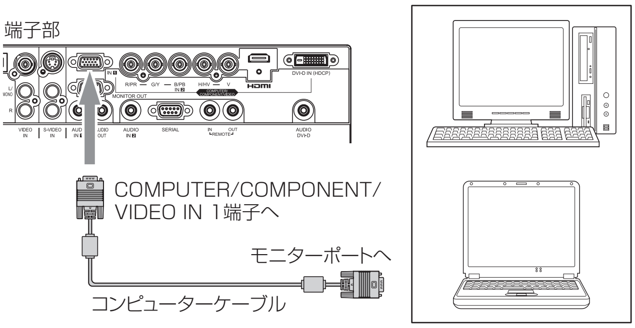
A. コンピューターと接続する

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびコンピューターの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプのコンピューターの場合、モニターに接続されているコンピューターケーブルをはずす

アナログ RGB（ミニ D-Sub15 ピン）端子付きコンピューターと接続する



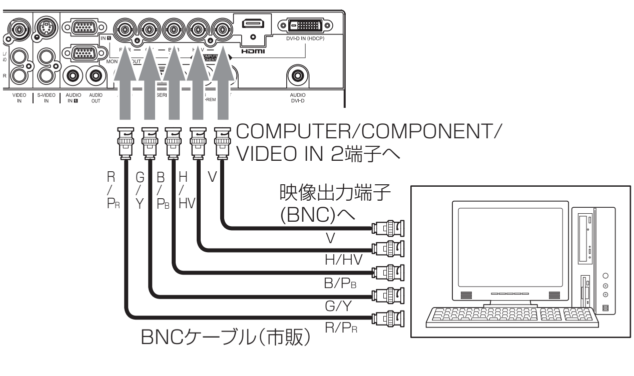
1 付属のコンピューターケーブルを本機のCOMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 1 端子に接続する

2 コンピューターのモニターポートにコンピューターケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- 接続するコンピューターの機種によっては、変換コネクターやアナログ RGB 出力アダプターなどが必要となる場合があります。
- 付属のコンピューターケーブル以外の長いケーブルを使用すると、映像が正常に映らないことがあります。
- 本機の COMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 1 端子は DDC1/2B に対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC 対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源プラグをコンセントに差し込んでからコンピューターを起動してください。

5 線式アナログ RGB（BNC）端子付きコンピューターと接続する



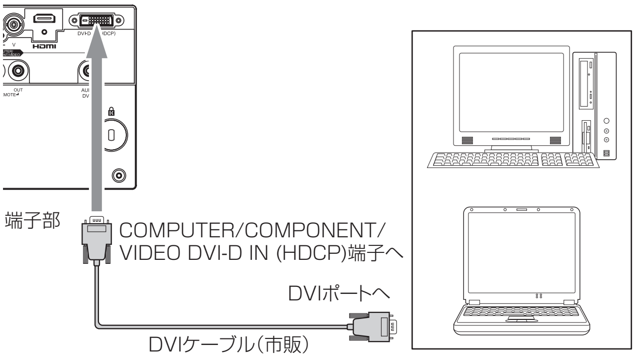
1 市販の BNC ケーブル（5 本）を本機の COMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 2 端子に接続する

2 コンピューターの映像出力端子（BNC）に BNC ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- 接続するコンピューターの機種によっては、変換コネクターやアナログ RGB 出力アダプターなどが必要な場合があります。
- 長いケーブルを使用すると正常に映像が映らないことがあります。

DVI 端子付きコンピューターと接続する



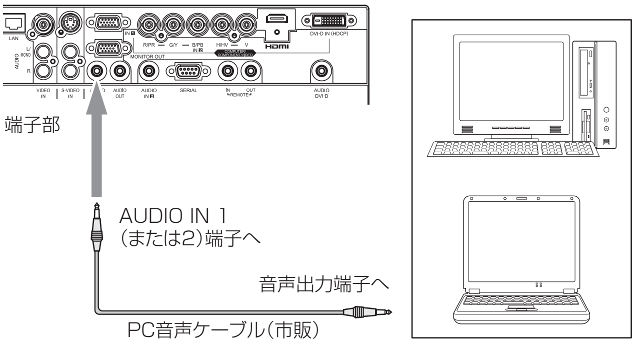
1 市販の DVI ケーブルを本機の COMPUTER/COMPONENT/VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子に接続する

2 コンピューターの DVI ポートに DVI ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- 先にコンピューターを起動した場合、映像が表示されない場合があります。
- 本機の COMPUTER/COMPONENT/VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子は DDC2B に対応しています。この規格に対応したコンピューターと接続した場合、コンピューターが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
- DDC 対応のコンピューターと接続している場合、本機の電源プラグをコンセントに差し込んでからコンピューターを起動してください。

コンピューターの音声をプロジェクターから出力する



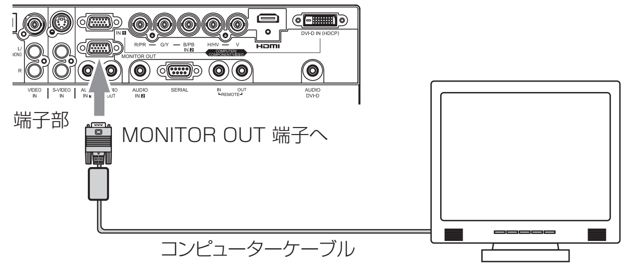
1 市販の PC 音声ケーブルを本機の AUDIO IN 1（または 2）端子に接続する

2 PC 音声ケーブルのもう一方をコンピューターの音声出力端子に接続する

お知らせ

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです。接続するコンピューターの音声出力端子の形状に合わせてケーブルをお買い求めください。
- スタンバイモードが「標準」に設定されているときのみ、電源スタンバイ中に AUDIO OUT 端子から音声が出力されます。

プロジェクターの投写映像をモニターで見る（デスクトップのみ）



1 モニターに接続されているコンピューターケーブルを本機の MONITOR OUT 端子に接続する

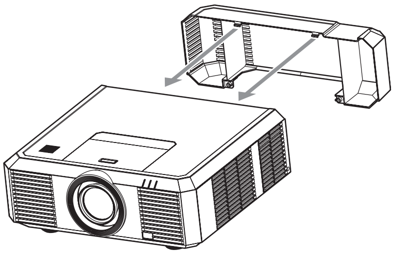
お知らせ

- 接続するケーブルによっては、正常に映像が映らないことがあります。
- スタンバイモードが「標準」に設定されているときのみ、電源スタンバイ中に MONITOR OUT 端子から映像が出力されます。

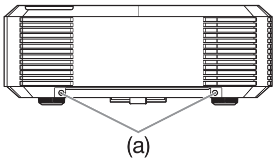
B. ターミナルカバーを取り付ける

本機には、ターミナルカバーが付属しています。必要な場合、以下のように取り付けてください。

1 ターミナルカバーの突起部（2カ所）をプロジェクターに差し込む



2 ターミナルカバーに取り付けられているネジ２本（a）をプラスドライバーでしっかりと締める



お知らせ

- ターミナルカバーを持って移動させないでください。
- ターミナルカバーを取り付けると、後方からのリモコンが効きにくくなることがあります。

C. 投写する

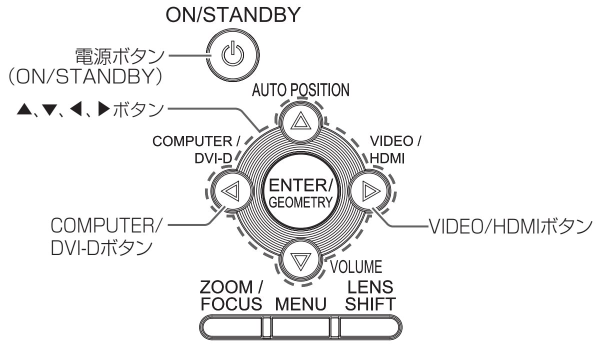
準備

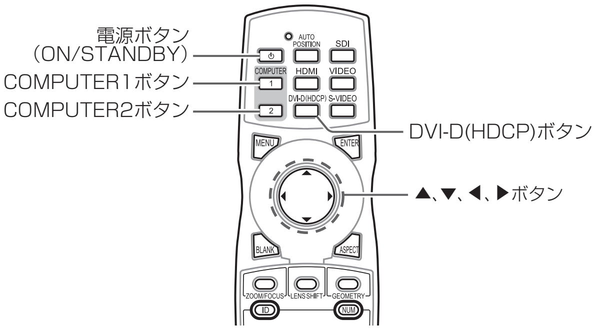
1 レンズキャップをはずす

2 本機の電源を入れる（13 ページ）

3 ビデオ機器の電源を入れる

4 ピントを調整する（14 ページ）





コンピューターの映像を見る（つづき）

入力を切り換える

5 【COMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 1（または 2）端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの COMPUTER1（または 2）ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「COMPUTER1（または 2)」を表示させる

【COMPUTER/COMPONENT/VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの DVI-D(HDCP) ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「DVI」を表示させる

- 本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押すごとに、表示が「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「DVI-D」→「COMPUTER1」と切り換わります。
- ノートタイプのコンピューターの場合、コンピューター側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは下記をご覧ください。
- 「COMPUTER1（または 2)」入力時に画面がちらつくときは、リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくしてください。（ファイン調整）
- メニュー画面表示中は、入力切換できません。

音量を調整する

6 **リモコンの VOLUME（＋または－）ボタンを押して音量を調整する**

- 本体で操作する場合は、VOLUME ボタンを押してから、◀または▶ボタンを押して調整します。
- メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンははたらきません。

お知らせ

- 必要に応じて、14 ～ 17 ページの調整を行ってください。

本機の使用を終わるとき

- 「本機の使用を終わるとき」をご覧ください。（17 ページ）

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピューターと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピューターの信号を外部に出力させる設定を行ってください。設定のしかたは、コンピューターによって異なりますので、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

- 外部出力させる操作の例
  「Fn」キー＋「 F1」～「F12」キーのいずれか（機種によって異なります）を押す。

AUTO POSITION ボタンによる調整

コンピューターの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

1 **できるだけ明るい、テキスト文書など文字を多く含む画面にする**

2 **スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する**

3 **AUTO POSITION ボタンを押す**

入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。

- 数回、AUTO POSITION ボタンを押してもまだずれる場合は、「コンピューター映像の調整」（38、39 ページ）を参照して調整してください。

解像度の設定について

コンピューターとプロジェクターの解像度が合っていない場合、映像がにじむことがありますので、双方の解像度を合わせてください（56 ページ参照）。なお、コンピューターの出力解像度の変更方法については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。

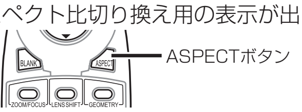
D. アスペクト比（画角）の設定について

本機は、入力された映像信号に対してアスペクト比（画面の縦横比）を変更することができます。ご使用になるスクリーンやお好みに合わせて設定を変更してください。

リモコンを使って設定する

1 ASPECT ボタンを押す

- 画面の右上にアスペクト比切り換え用の表示が出ます。



2 ASPECT ボタンを押してお好みのアスペクト比に切り換える

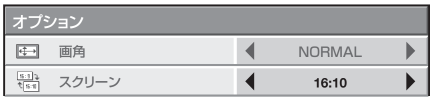
- アスペクト比の設定は、「NORMAL」、「16：9」、「REAL」、「FULL」の中から選択できます。
- 各設定での映像表示は下表のようになります。

本体操作部を使って設定する

1 オプションメニューを表示させる

- メニューの操作方法については、28 ページをご覧ください。

2 ▲、▼ボタンを押して「画角」を選ぶ



3 ◀、▶ボタンを押してお好みの画角（アスペクト比）を選択する

4 MENU ボタンを押してメニューを消す

スクリーン 16：10 の場合：

設定 / 入力信号例	NORMAL	16:9	REAL	FULL
	入力信号のアスペクト比を保持しながら、パネルの縦サイズ（1200 画素）または横サイズ（1920 画素）をフルに使用して表示します。	入力信号の種類にかかわらず、映像を 16：9 のアスペクト比（1920 × 1080 画素）で表示します。スクイーズ（左右に圧縮）記録された DVD の映像などを 16：9 に引き伸ばして表示したいときに選びます。	入力信号本来の画素サイズで表示します。（画素サイズがパネルサイズより大きい場合は、映像の中央部のみ表示します。）	入力信号の種類にかかわらず、パネルのフルサイズ（1920 × 1200 画素）で表示します。
UXGA 信号 1600 × 1200 （4：3）	4:3 1600 × 1200	16:9 1920 × 1080	4:3 1600 × 1200	16:10 1920 × 1200
WUXGA 信号 1920 ×1200 （16：10）	16:10 1920 × 1200	16:9 1920 × 1080	16:10 1920 × 1200	16:10 1920 × 1200
1080p信号 1920 × 1080 （16：9）	16:9 1920 × 1080	16:9 1920 × 1080	16:9 1920 × 1080	16:10 1920 × 1200

スクリーン 16：9 の場合：

設定 / 入力信号例	NORMAL	16:9	REAL	FULL
	入力信号のアスペクト比を保持しながら、パネルの縦サイズ（1080 画素）または横サイズ（1920 画素）をフルに使用して表示します。	入力信号の種類にかかわらず、映像を 16：9 のアスペクト比（1920 × 1080 画素）で表示します。スクイーズ（左右に圧縮）記録された DVD の映像などを 16：9 に引き伸ばして表示したいときに選びます。	入力信号本来の画素サイズで表示します。（画素サイズがパネルサイズより大きい場合は、映像の中央部のみ表示します。）	入力信号の種類にかかわらず、パネルのフルサイズ（1920 × 1080 画素、スクリーン 16：9）で表示します。
UXGA 信号 1600 × 1200 （4：3）	4:3 1440 × 1080	16:9 1920 × 1080	4:3 （映像の一部） 1600 × 1080 (1600 × 1200)	16:9 1920 × 1080
WUXGA 信号 1920 ×1200 （16：10）	16:10 1728 × 1080	16:9 1920 × 1080	16:9 1920 × 1080 (1920 × 1200)	16:9 1920 × 1080
1080p信号 1920 × 1080 （16：9）	16:9 1920 × 1080	16:9 1920 × 1080	16:9 1920 × 1080	16:9 1920 × 1080

お知らせ

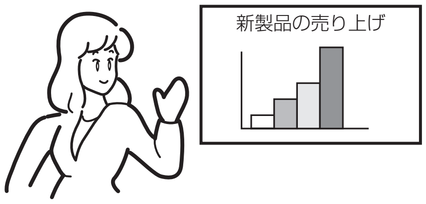
- オプションメニューの「画角」では、「16：9 ↵」の設定を選んだ状態で ENTER ボタンを押すと、「動作モード」の設定が表示され、入力信号によって映像を 16：9 で表示させるかどうかも設定することができます。
  - ・「全信号」　：入力信号の種類にかかわらず、常に 16：9 で表示します。
  - ・「ビデオ信号のみ」：ビデオ機器からの信号を入力している場合のみ、16：9 で表示します。

- 4:3 スクリーンを使用し、設定を「NORMAL」にして表示している場合、設定を「16:9」、「REAL」、「FULL」に変えると映像がスクリーンからはみ出します。
- 長時間 4：3 画面で使用したあと FULL 表示で使用した場合など、画面の周囲にマスク部分の痕跡が残る場合があります。（53 ページ参照）
- 設定を「NORMAL」にした場合、無信号になると画面全体がブルーの表示となり、スクリーンからはみ出します。この場合は、設置メニューのバックカラーの設定を「BLACK」にして、メニュー位置を中央に設定してください。

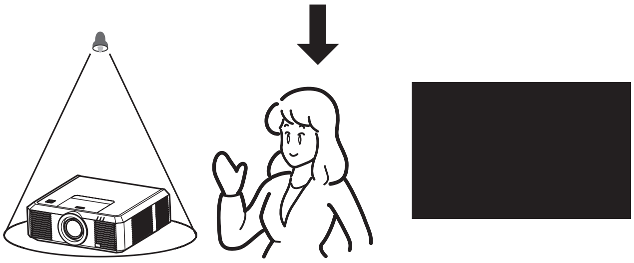
プレゼンテーションを演出する

映像と音声を一時的に消す（BLANK）

スピーチやプレゼンテーション映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



「新製品の売り上げは、このグラフのとおりです。」



「これが、その新製品です。」

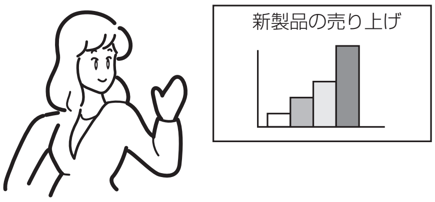
操作のしかた

1 リモコンの BLANK ボタンを押す

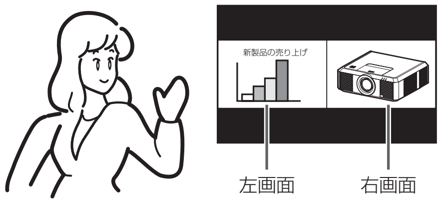
- 映像が真っ暗になり、音声が消えます。
- もう一度 BLANK ボタンを押すと、通常画面に戻ります。
- 本体内部で動作音がします。

コンピューター映像とビデオ映像を同時に見る（2 画面表示）

画面を左右 2 分割し、左の画面にコンピューター映像、右の画面にビデオ映像を表示させせることができます。



売り上げは、このように順調に伸びています。



その成功の秘訣をビデオ映像で紹介します。

表示のしかた

1 リモコンの SPLIT ボタンを押す

- 2 画面表示になり、左画面と右画面に次の映像が表示されます。
  - ・左画面：「COMPUTER1」、「COMPUTER2」、「DVI」、「HDMI」のうち、最後に選んだ入力の映像
  - ・右画面：「VIDEO」、「S-VIDEO」のうち、最後に選んだ入力の映像
- もう一度 SPLIT ボタンを押すと、通常画面に戻ります。
- MENU ボタンを押すか、入力切換を行った場合も、通常画面に戻ります。
- 2 画面表示中は、左画面の音声が出力されます。
- 2 画面表示中は、左画面で選んでいる入力の通常画面時の画質調整が全画面に反映されます。
- 無信号時は、ブルーの画面が表示されます。
- 左画面にインターレース信号を入力すると映像が上下に細かく震えることがありますが、故障ではありません。
- 60Hz と 50Hz のビデオ信号を同時に表示した場合、動画が不自然になることがあります。その場合は、左画面の信号設定メニューの詳細設定の垂直同期を OFF にしてください（33 ページ参照）。
- 設置メニューのバックカラーを IMAGE に設定している場合、無信号時には 2 画面表示にはできません。
- 信号によっては 2 画面表示に時間がかかる場合があります。

左画面・右画面の入力を切り換えたいときは

- 左画面の入力を切り換えたいときは、リモコンの◀ボタンを押します。
- 右画面の入力を切り換えたいときは、リモコンの▶ボタンを押します。

起動時などの画面を変更する

任意の画像を取り込んで起動画面（スプラッシュスクリーン）に設定することができます。また、取り込んだ画像は、メニュー設定により、無信号時のバックカラーの代わりに表示させることもできます。

- 取り込むことができるのは、「COMPUTER1」、「COMPUTER2」、「DVI」、「HDMI」入力の画像です。

設定のしかた

- メニューの設定方法については、28 ページをご覧ください。

1 **コンピューターの映像を表示させる**
(コンピューターの映像の表示のしかたについては 18 ～ 21 ページをご覧ください。)

2 **登録する映像を表示させる**

3 **設置メニューを表示させる**

4 **▲、▼ボタンを押して、「イメージキャプチャー」を選ぶ**

5 **ENTER ボタンを押す**
- 設定メニューが表示されます。

背景の色を設定する
(サイズを× 1 または× 4 に設定するときのみ選びます。)

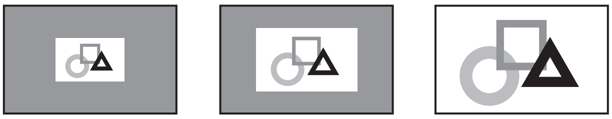
6 **▲、▼ボタンを押して、「バックカラー」を選ぶ**

7 **◀、▶ボタンを押して、背景にしたい色を設定する**
(GRAY, RED, GREEN, BLUE, BLACK, WHITE, RED50%, GREEN50%, BLUE50%)

画像の大きさを設定する

8 **▲、▼ボタンを押して、「サイズ」を選ぶ**

9 **◀、▶ボタンを押して、設定する (× 1、× 4、FULL)**

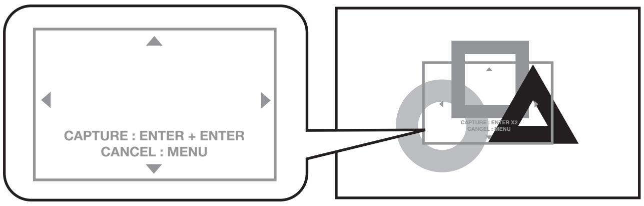


x1　　x4　　FULL

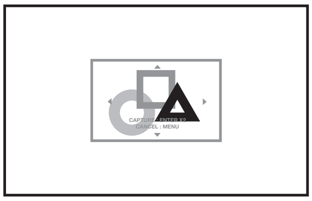
画像を取り込む

10 **▲、▼ボタンを押して、「キャプチャー」を選ぶ**

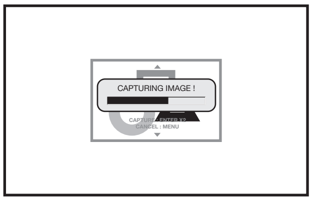
11 **ENTER ボタンを押す**
- 赤枠が表示されます。(赤枠の大きさは、640×400 画素です。)
- 赤枠の最外形までの映像が取り込まれます。
- 自動的に REAL 表示されます。



12 **取り込む画像が赤枠内に入るように、コンピューター側で画像の大きさを調整する**
- ▲、▼、◀、▶ボタンを押すと、赤枠が移動します。
- 表示画面の外周へは赤枠を移動できません。
- MENU ボタンを押すとキャンセルされます。



13 **ENTER ボタンを 2 回押す**
- 取り込みを開始します。



- 取り込みが完了すると、取り込んだ画像が約 1 秒間表示されます。

お知らせ

- 絵柄の細かい画像は取り込めない場合があります。その場合は、画像を変更してください。
- 入力信号によっては画像を取り込めない場合があります。対応信号については 56 ページをご覧ください。
- 起動画面は元に戻せません。(オプションメニューの RESET ALL の操作をしても工場出荷時の画面には戻りません。) 起動画面を変更したいときは、別の画像を取り込んでください。
- 次の起動時より、取り込んだ画像が表示されます。表示されないときは、設置メニューのスプラッシュスクリーンの設定が「OFF」になっていないか、確認してください。(30 ページ参照)
- 取り込んだ画像を無信号時に表示させたいときは、設置メニューのバックカラーの設定を「IMAGE」にしてください。(30 ページ参照)
- 無信号時は、取り込み画像の表示に少し時間がかかります。
- カスタムイメージキャプチャーのサイズが FULL の場合、キャプチャーしたときのスクリーンのサイズと現在の投写スクリーンのサイズが異なる場合、画面が切れたり、バックカラーの色が見えたりします。この場合は現在の投写サイズでキャプチャーを実行してください。

ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

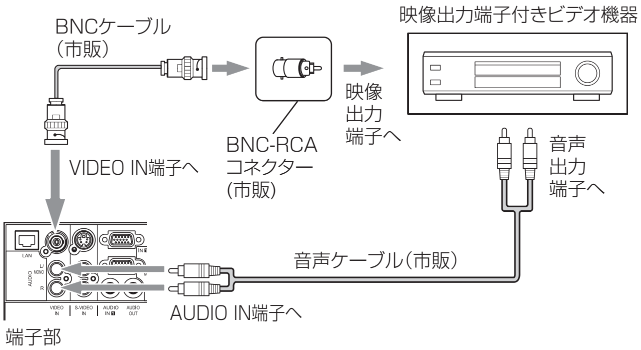
- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する

映像出力端子付きビデオ機器と接続する

- 接続は BNC ケーブルを使用ください。ビデオ機器との接続には BNC-RCA コネクターが必要となります。



1 市販の BNC ケーブルを本機の VIDEO IN 端子に接続する

2 ビデオ機器の映像出力端子に映像ケーブルのもう一方を接続する

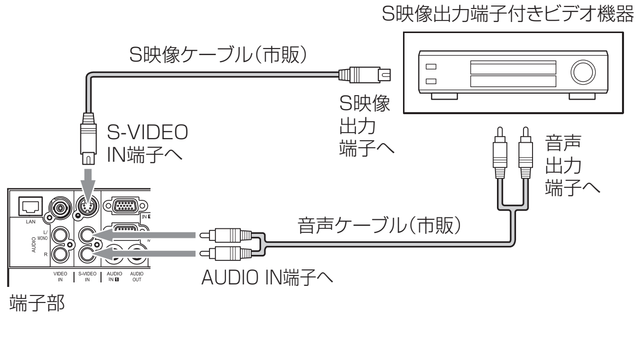
3 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO IN 端子に接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

お知らせ

- モノラルビデオ機器の場合は、音声ケーブルを本機の AUDIO IN 端子の白色（L）端子に接続してください。AUDIO OUT の出力が L、R 両方から出ます。

S 映像出力端子付きビデオ機器と接続する



1 市販の S 映像ケーブルを本機の S-VIDEO IN 端子に接続する

2 ビデオ機器の S 映像出力端子に S 映像ケーブルのもう一方を接続する

3 市販の音声ケーブルを本機の AUDIO IN 端子に接続する

4 ビデオ機器の音声出力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

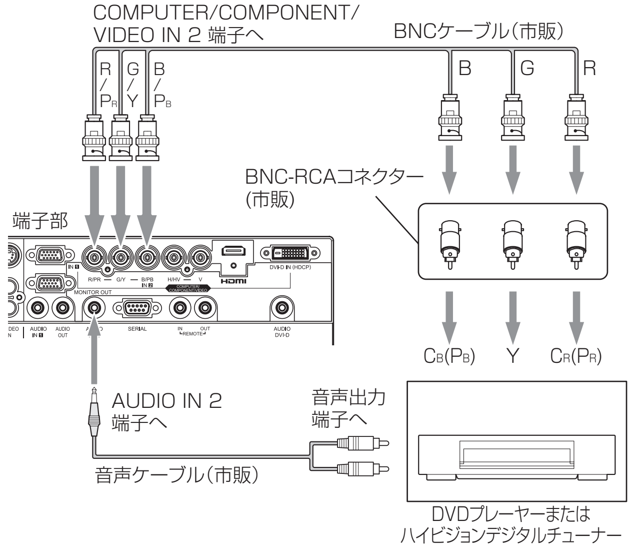
お知らせ

- モノラルビデオ機器の場合は、音声ケーブルを本機の AUDIO IN 端子の白色（L）端子に接続してください。AUDIO OUT の出力が L、R 両方から出ます。

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーと接続する

DVD プレーヤーまたはハイビジョンデジタルチューナーなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 2 端子に接続します。

- 接続は BNC ケーブル（3 本）を使用ください。DVD プレーヤーとの接続には BNC-RCA コネクターが必要となります。



お知らせ

- DVD プレーヤーおよびハイビジョンデジタルチューナーによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R、G、B 出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定を「RGB」にしてください。（33 ページ参照）

HDMI 出力端子または DVI-D 出力端子付き映像機器との接続

本機は、HDMI 出力端子または DVI-D 出力端子付きの映像機器と接続することにより､高画質な映像が投写できます。また、HDCP に対応していますので、DVD プレーヤーなどから出力される暗号化されたデジタル画像を受信することができます。

- HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）とは、Intel 社によってコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号化形式の 1 つです。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）とは、DVI をベースに発展した、コンピューター、ディスプレイ、家電機器対応のデジタル信号入出力インターフェース規格です。

お知らせ

- 本機は HDMI 出力端子および DVI-D 出力端子付きの映像機器と接続することができますが、一部の機器では映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 映像が出ないなど正常に動作しない場合、映像機器の取扱説明書の接続方法を確認してください。
- 長いケーブルを使用すると映像が正常に映らないことがあります。

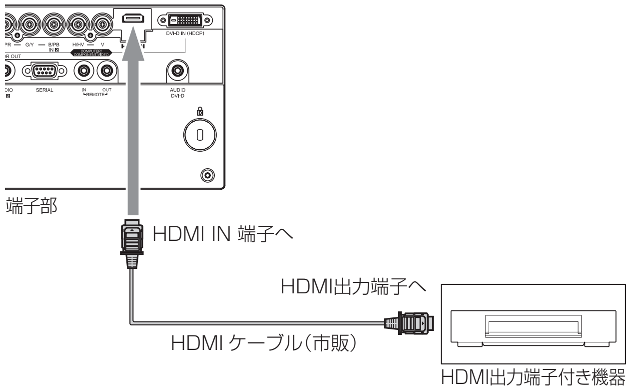
接続例（HDMI 出力端子付き映像機器の場合）ー

接続は、市販の HDMI ロゴの付いている HDMI ケーブルをご使用ください。

- 音声入力用に別途ケーブルの接続は必要ありません。HDMI ケーブルの接続のみで映像、音声が入力されます。

お知らせ

- HDMI の音声が出ない場合は、プロジェクターと映像機器を接続したまま映像機器の電源を一度切り、再び電源を入れると解消されることがあります。



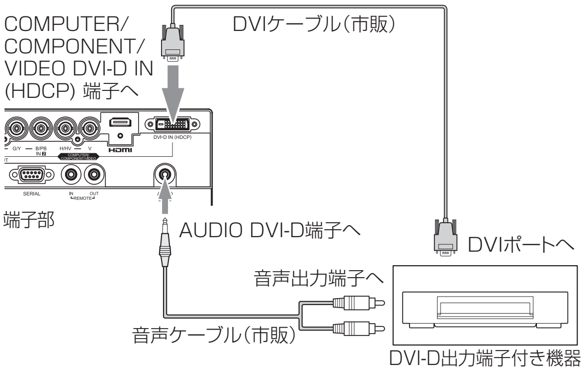
お知らせ

- HDMI 入力時は、分周比、ファインおよび上部曲がり補正の調整はできません。
- 電源スタンバイ中は、本機のスピーカーや AUDIO OUT 端子から HDMI の音声は出力されません。

接続例（DVI-D 出力端子付き映像機器の場合）ー

接続は、市販の DVI ケーブルをご使用ください。

- 音声入力には AUDIO DVI-D 端子をご使用ください。



お知らせ

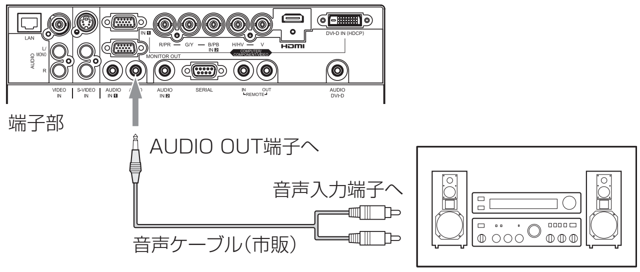
- コネクター部の大きさ、形状によっては正しく接続できないことがあります。
- DVI 入力時は、分周比、ファインおよび上部曲がり補正の調整はできません。

デジタル機器との接続について

本機とデジタル機器（DVD プレーヤーなど）を HDMI IN 端子または COMPUTER/COMPONENT/VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子で接続した場合、機器によっては映像の黒レベルが沈み、黒つぶれすることがあります。これは、デジタル映像伝送の規格が 2 種類あり、黒レベルの設定がそれぞれ異なるためです。デジタル機器によっては異なる規格の信号を出力するものがあります。

- デジタル機器には、デジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されているものがあります。その場合は、下記のように切り換えてください。
  エクスパンドまたはエンハンスド　→　ノーマル
  詳細はデジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
- デジタル機器にデジタル出力信号規格を切り換える機能が搭載されていない場合は、画質メニューのアドバンスド メニューの入力レベルの設定を「エンハンスド」にするか、映像に合わせて調整してご覧ください。

プロジェクターに接続している機器の音声を外部スピーカーから出すときは



1. **市販の音声ケーブルを本機の AUDIO OUT 端子に接続する**
   - このとき、内部スピーカーからの音声は出力されなくなります。
2. **外部スピーカーと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する**

ビデオ機器の映像を見る（つづき）

お知らせ

● AUDIO OUT 端子からの音声について
  · 選択している入力の音声が出力されます。
  · BLANK ボタンを押すと、音声が消えます。
  ·VOLUME（＋または－）ボタンを押すと、音量が変わります。

B. ターミナルカバーを取り付ける

「コンピューターの映像を見る」の場合と同じです。19 ページをご覧ください。

C. 投写する

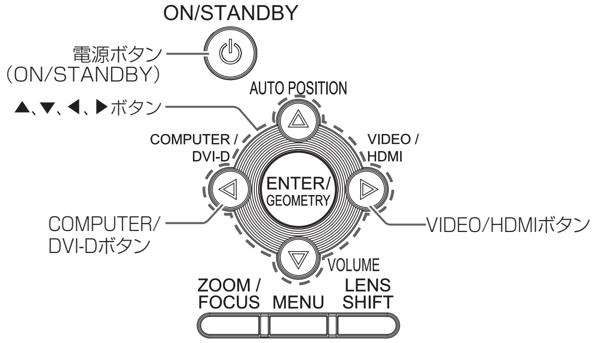
準備

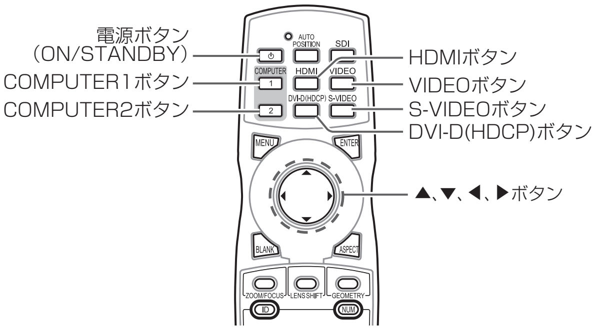
1 レンズキャップをはずす

2 本機の電源を入れる（13 ページ）

3 ビデオ機器の電源を入れる

4 ピントを調整する（14 ページ）





入力を切り換える

5 【VIDEO IN 端子（または S-VIDEO IN 端子）に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの VIDEO（または S-VIDEO）ボタンまたは本体の VIDEO/HDMI ボタンを押して、画面に「VIDEO（または S-VIDEO)」を表示させる

【HDMI IN 端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの HDMI ボタンまたは本体の VIDEO/HDMI ボタンを押して、画面に「HDMI」を表示させる

【COMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 1（または 2）端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの COMPUTER1（または 2）ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「COMPUTER1（または 2)」を 表示させる

【COMPUTER/COMPONENT/VIDEO DVI-D IN（HDCP）端子に接続した機器の映像を見る場合】

リモコンの DVI-D(HDCP) ボタンまたは本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押して、画面に「DVI」を表示させる

● 本体の VIDEO/HDMI ボタンを押すごとに、表示が「VIDEO」→「S-VIDEO」→「HDMI」→「VIDEO」と切り換わります。
● 本体の COMPUTER/DVI-D ボタンを押すごとに、表示が「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「DVI-D」→「COMPUTER1」と切り換わります。
● メニュー画面表示中は、入力切換できません。

お知らせ

● 必要に応じて、14 ～ 17 ページの調整を行ってください。

音量を調整する

6 **リモコンの VOLUME（＋または－）ボタンを押して音量を調整する**

● 本体で操作する場合は、VOLUME ボタンを押してから、◀または▶ボタンを押すて調整します。
● メニューが表示されているときは、VOLUME ボタンははたらきません。

本機の使用を終わるとき

● 「本機の使用を終わるとき」をご覧ください。（17 ページ）

静止画について

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、映像を一時的に停止させることができます。もう一度押すと通常画面に戻ります。

● 静止画中に FREEZE ボタン以外のボタンを押しても通常画面に戻ります（一部、戻らないボタンもあります）。
● 静止画を表示し続けた場合、残像が発生することがありますので長時間静止画を表示させないでください。（53 ページ参照）

アスペクト比（画角）の設定について

本機は、入力された映像信号に対してアスペクト比（画面の縦横比）を変更することができます。ご使用になるスクリーンやお好みに合わせて設定を変更してください。（21 ページ参照）

メニューを使って設定する

本機では、画面上にメニューを表示させてさまざまな設定を行います。

次の 6 つのメニューが表示されます。

画質メニュー（29 ページ）

画質	
カラーエンハンサー	AUTO
SUPER RESOLUTION	ON
コントラスト	0
ブライト	0
NCM	COMPUTER
色温度	標準
色の濃さ	0
色合い	0
シャープネス	0
アドバンスド メニュー	ENTER

設置メニュー（30 ページ）

設置	
ランプモード	標準
スタンバイモード	低
オートパワーオン	OFF
オートパワーオフ	5分
イメージ キャプチャー	設定
スプラッシュスクリーン	ON
バックカラー	BLUE
反転表示	OFF
レンズロック	ENTER
DVIロングケーブル	AUTO

オプションメニュー（31 ページ）

オプション	
画角	NORMAL
スクリーン	16:10
プロジェクターID	ALL
パスワードロック	映像表示
メニュー位置	1.
シネマモード	AUTO
フィルターメニュー	ENTER
言語選択	日本語
高地モード	標準
アドバンスド メニュー	ENTER
RESET ALL	OK

信号設定メニュー（33 ページ）

信号設定	
メモリー選択	AUTO
解像度 （メモリー記録 ）	1024 x 768
水平位置	0
垂直位置	0
ファイン	0
分周比	0
COMPUTER入力	AUTO
オーバースキャン	100%
上部曲がり補正	ON
詳細設定	ENTER

ネットワークメニュー（34 ページ）

ネットワーク	
プロジェクター名	
ネットワーク認証	ON
ネットワークパスワード	ENTER
IP設定	ENTER
コントロールシステム	標準
ネットワークリセット	OK
ネットワーク再起動	OK

情報メニュー（35 ページ）

情報	
ランプ 時間 （低モード換算）	**** H
シリアルナンバー	********
入力端子	COMPUTER1
解像度	1024 x 768
垂直周波数	60.00 Hz
水平周波数	48.36 kHz
同期信号	5WIRE

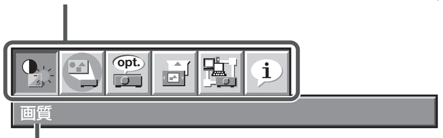
メニューを使って設定する（つづき）

メニューの設定のしかた

1 MENU ボタンを押す

- メニュー選択バーが表示されます。

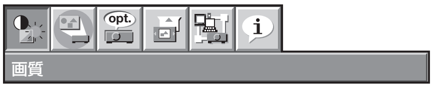
選択できるメニューがイラストで表示されています。（選択中のメニューのイラストが青色の背景で表示されています。）



選択中のメニューの名前が表示されています。

2 ◀、▶ボタンを押して希望のメニューを選ぶ

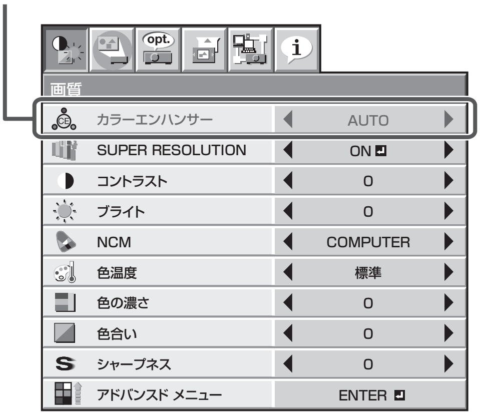
- ◀、▶ボタンを押すごとに、「画質」⇔「設置」⇔「オプション」⇔「信号設定」⇔「ネットワーク」⇔「情報」⇔「画質」と切り換わります。



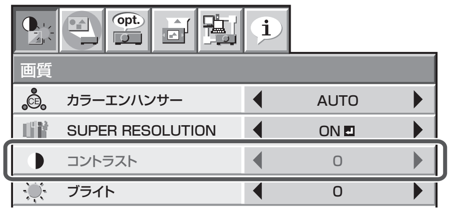
3 ENTER ボタン（または▼ボタン）を押す

- 選んだメニューが表示されます。

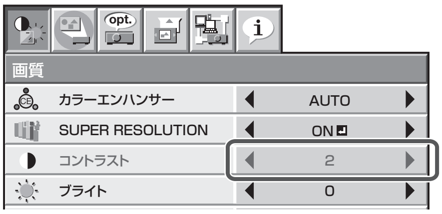
選択中の項目は、赤色の文字で表示されています。



4 ▲、▼ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ



5 ◀、▶ボタンを押して希望の設定に変更する

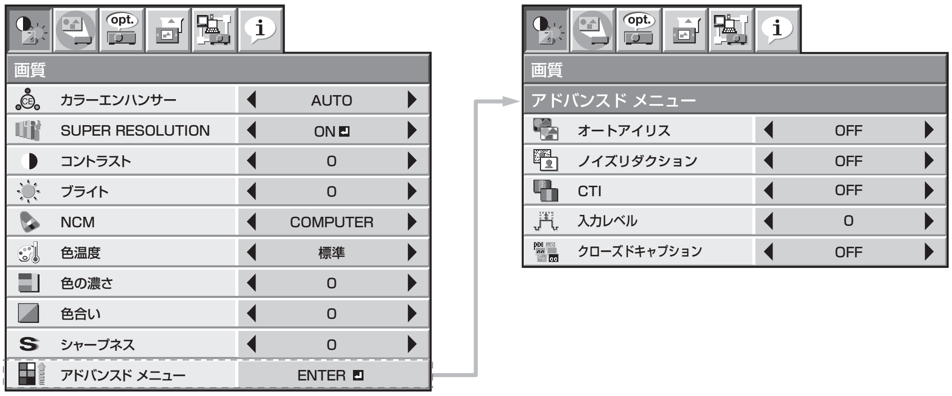


6 設定が終わったら、MENU ボタンを数回押してメニューを消す

お知らせ

- 設定名の後に「⏎」マークが付いている場合は、ENTER ボタンを押すと、設定した内容が実行されたり、新たな設定画面に移行したりします。
- ボタンを押してもメニューが切り換わらなくなることがあります。その場合は本機が誤動作している可能性があります。一度電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続してください。
- メニュー画面、画面表示など、本書と製品で異なることがあります。

■ 画質メニュー



設定項目	設定	はたらき
カラーエンハンサー	AUTO	入力信号に適した設定になります。（通常はこれを選びます。）
	プレゼンテーション	明るくメリハリのある映像になります。
	標準	自然な映像になります。
	シアター	映画向けにしっとりした映像に設定されます。
	sRGB	色再現性を重視した画像になります。
	USER ↵	ガンマカーブを設定できます。（36 ページ参照）
	クリアベース	X 線フィルム（クリアベース）の色味に近い設定ができます。
	ブルーベース	X 線フィルム（ブルーベース）の色味に近い設定ができます。
SUPER RESOLUTION	ON ↵、OFF	画像の繊細感を強調します。（37 ページ参照）
コントラスト	− 30 ～ ＋ 30	映像のコントラストを調整します。（36 ページ参照）
ブライト	− 30 ～ ＋ 30	映像の明るさを調整します。（36 ページ参照）
NCM	COMPUTER、VIDEO	あらかじめ設定された映像の色ごとの色合いを選択します。
	USER ↵	映像の特定の色のみを強調したいときや、特定の色の色合いのみがずれている場合に調整します。（37 ページ参照）
	OFF	NCM がはたらきません。
色温度	標準、低、高	あらかじめ設定された色温度の中から選択します。
	USER ↵	独自の色温度に調整します。（36 ページ参照）
色の濃さ	− 10 ～ ＋ 10	映像の色の濃さを調整します。（36 ページ参照）
色合い	− 10 ～ ＋ 10	映像の色合いを調整します。（36 ページ参照）
シャープネス	− 5 ～ ＋ 5	映像の鮮鋭度を調整します。（36 ページ参照）
アドバンスド メニュー	ENTER ↵	以下の設定を行うためのアドバンスド メニューを表示します。
オートアイリス	ON	表示されている映像に合わせてアイリスを自動的に調整します。
	OFF	アイリスを全開の状態に固定します。
ノイズリダクション	ON、OFF	ノイズが多い映像信号を入力した場合に、映像のノイズやざらつきを少なくすることができます。
CTI	ON、OFF	色境界部分の色にじみを改善します。
入力レベル	− 5～＋ 5	【アナログ信号入力時】 接続する機器によっては､映像信号が大きいもの（白つぶれする）や小さいもの（暗くなる）があります。このメニューでアナログ映像信号の大きさを調整することができます。
	AUTO、エンハンスド、ノーマル	【デジタル信号入力時】 AUTO　：自動に最適な設定が選ばれます。（HDMI 信号入力時のみ選べます。） エンハンスド：黒つぶれが発生するときに選びます。 ノーマル　：黒浮きが発生するときに選びます。 （25 ページ参照）
クローズドキャプション	OFF	キャプション（字幕情報）を表示しないときに選択します。
	CC1、CC2	キャプション（字幕情報）を表示するときに選択します。

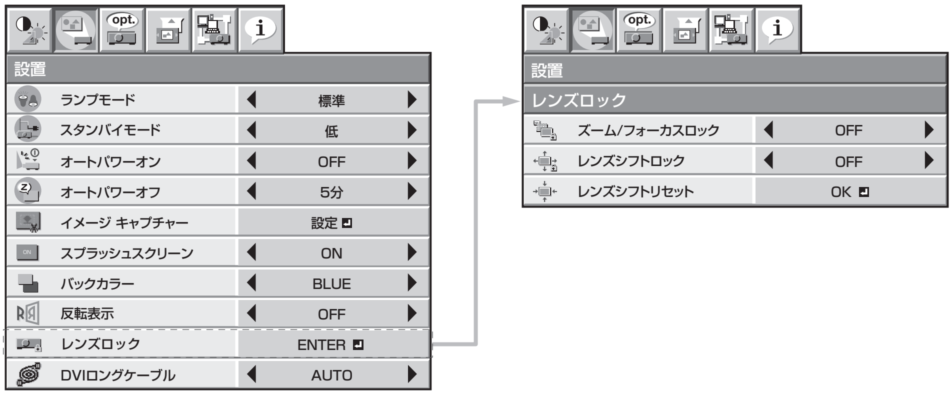
※ この製品は医療機器ではありませんので、診断には使用できません。また、日本画像医療システム工業会規格 (JESRA X-0093) に定める医用モニタに相当しません。

お知らせ

- カラーエンハンサーの設定を「sRGB」、「クリアベース」、「ブルーベース」にしているときは、色温度、色の濃さ、色合い、NCM、オートアイリスの調整はできません。
- カラーエンハンサーの設定を切り換える際、映像が乱れることがあります。
- SUPER RESOLUTION を「ON」に設定したときの効果は、入力画像の種類や解像度により異なります。
- COMPUTER1、COMPUTER2、DVI または HDMI 入力が選ばれているとき、色の濃さ、色合いの調整はできません。
- TV50（PAL、SECAM）信号入力時は色合いの調整はできません。
- デジタル信号入力時、接続機器からの信号が YC_BC_R/YP_BP_R で出力されている場合、入力レベルは選択できません。
- キャプションは、画面にメニューや音量設定、入力切り換えの情報が表示されている間は表示されません。
- クローズドキャプションは、主に北米の TV 放送に使用されている NTSC 信号に多重された文字情報を表示する機能です。

メニューを使って設定する（つづき）

■ 設置メニュー

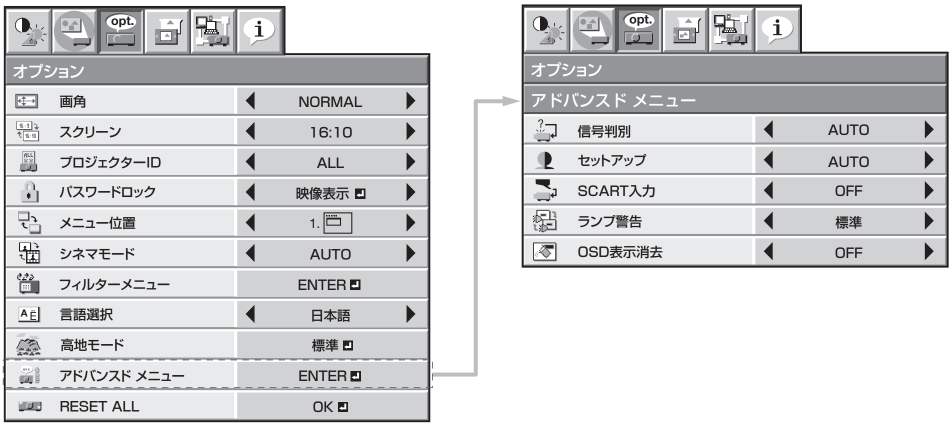


設定項目	設定	はたらき
ランプモード	標準	通常はこれを選びます。
	低	ランプの明るさを抑えるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
スタンバイモード	標準	電源スタンバイ中にLAN端子経由で本機の制御を行う場合は、この設定を選びます。AUDIO OUT端子から音声が出力されます。MONITOR OUT端子から映像が出力されます。
	LAN	電源スタンバイ中にLAN端子経由で本機の制御を行う場合は、この設定を選びます。
	低	電源スタンバイ中にLAN端子経由で本機の制御を行わない場合は、この設定を選びます。LAN端子の機能が停止し、電源スタンバイ時の消費電力が低減されます。
オートパワーオン	OFF	通常はこれを選びます。
	ON	電源プラグをコンセントに接続したとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	OFF	オートパワーオフがはたらきません。
	5分、10分、15分、30分、60分、4時間、8時間	映像信号が未入力で無操作のとき、設定した時間になると自動的に電源が切れます。電源が切れる5分前に、ダイアログが表示されます。
イメージ キャプチャー	設定 ↵	スプラッシュスクリーン（起動画面）を変更するときに選択します。（23ページ参照）
スプラッシュスクリーン	ON	電源を入れたとき、スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示します。
	OFF	スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示しません。
バックカラー	BLUE、BLACK	無信号時の背景の色を選択します。
	IMAGE	無信号時の背景にスプラッシュスクリーン（起動画面）を表示します。
反転表示	OFF	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	左右	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	上下左右	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
レンズロック	ENTER ↵	以下の設定を行うためのレンズロックメニューを表示します。
ズーム / フォーカスロック	ON、OFF	ズームとフォーカスをロックするかどうかを切り換えます。
レンズシフトロック	ON、OFF	レンズシフトをロックするかどうかを切り換えます。
レンズシフトリセット	OK ↵	レンズ位置を工場出荷時の位置に戻します。
DVIロングケーブル	AUTO	通常はこれを選びます。
	手動設定 ↵	長いDVIケーブルを使用したときの伝送信号補正の量を調整します。

お知らせ

- ランプモードは、電源を入れたときは「低」モードで起動します。「標準」モードに設定している場合は、約2分で「標準」モードに切り換わります。
- 使用環境温度が高いときは、ランプモードを切り換えても明るさは変わりません。
- ランプモードを切り換えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- メニューバーの右端にアイコンが表示されているときは、本機をウォームアップ中です。また、アイコンが表示されているときは、使用環境温度が高くなっています。アイコン表示中はランプモードの切り換えはできません。
- ランプモードは頻繁に切り換えないでください。
- オプションメニューのパスワードロックのスプラッシュスクリーンを設定すると、イメージ キャプチャーとスプラッシュスクリーンははたらきません。
- バックカラーで「IMAGE」を選択し、長時間スプラッシュスクリーン（起動画面）を表示すると画面に痕跡が残ることがあります。このような場合は、テクニカルサポートセンターにご相談ください。
- バックカラーをIMAGEに設定した場合は、レンズ調整を頻繁に行わないでください。
- アイコンにマークが付いている機能は、使用電力を抑えることが可能な機能です。

■ オプションメニュー



設定項目	設定	はたらき
画角	NORMAL	入力信号のアスペクト比を保持しながら、パネルの縦サイズ（1200 画素）または横サイズ（1920 画素）をフルに使用して映像を表示します。 ● スクリーンの設定が 16:9 のときは入力信号のアスペクト比を保持しながら、パネルの縦サイズ（1080 画素）または横サイズ（1920 画素）をフルに使用して映像を表示します。
	16：9 ↵	入力信号の種類にかかわらず、映像を 16：9 のアスペクト比（1920×1080 画素）で表示します。スクイーズ（左右に圧縮）記録された DVD の映像などを 16：9 に引き伸ばして表示したいときに選びます。ENTER ボタンを押すと、この設定を有効にする入力信号の設定が行えます。（21 ページ参照）
	REAL	入力信号本来の画素サイズで表示します。
	FULL	入力信号の種類にかかわらず、投写映像がフルサイズ（1920×1200 画素）で表示されます。 ● スクリーンの設定が 16:9 のときは、投写映像が 1920×1080 画素で表示されます。
スクリーン	16：10	16：10 スクリーンを使用する場合、この設定を選びます。
	16：9	16：9 スクリーンを使用する場合、この設定を選びます。
プロジェクター ID	ALL	すべての ID 番号で本機を制御するときはこれを選びます。（11 ページ参照）
	01 ～ 63	ID 番号（2 桁）を設定します。（11 ページ参照）
パスワードロック	映像表示 ↵、キー操作 ↵、スプラッシュスクリーン ↵	パスワードロック機能のモード切り換え、パスワードロック機能の設定、解除に使います。（43 ページ参照）
メニュー位置	画面左上、画面右下、画面中央	メニューの表示位置を切り換えます。
シネマモード	AUTO	フィルム映像信号を入力したとき、自動的にフィルムモード処理を行います。通常は AUTO に設定します。 画面にちらつきが出たり、コマ落ちなどの不自然な動作をしたり、斜め線のガタツキが大きい場合は、フィルムまたはビデオモードのいずれか適する設定に切り換えてください。
	フィルム	強制的にフィルムモードに設定します。
	ビデオ	フィルムモード処理は行いません。
フィルターメニュー	ENTER ↵	以下の設定を行うためのフィルターメニューを表示します。
自動巻取り間隔	OFF、500 時間毎、750 時間毎、1000 時間毎	次回のフィルター巻き取りまでの間隔を設定します。（47 ページ参照）
手動巻取り	OK ↵	すぐにフィルター巻き取りを行うときに選択します。
フィルター残量	**	フィルターの残量を表示します。
フィルター使用時間	****H	現在のフィルター面の使用時間を表示します。
巻取り残量リセット	OK ↵	フィルターの巻き取りカウンターを 0 にもどします。

メニューを使って設定する（つづき）

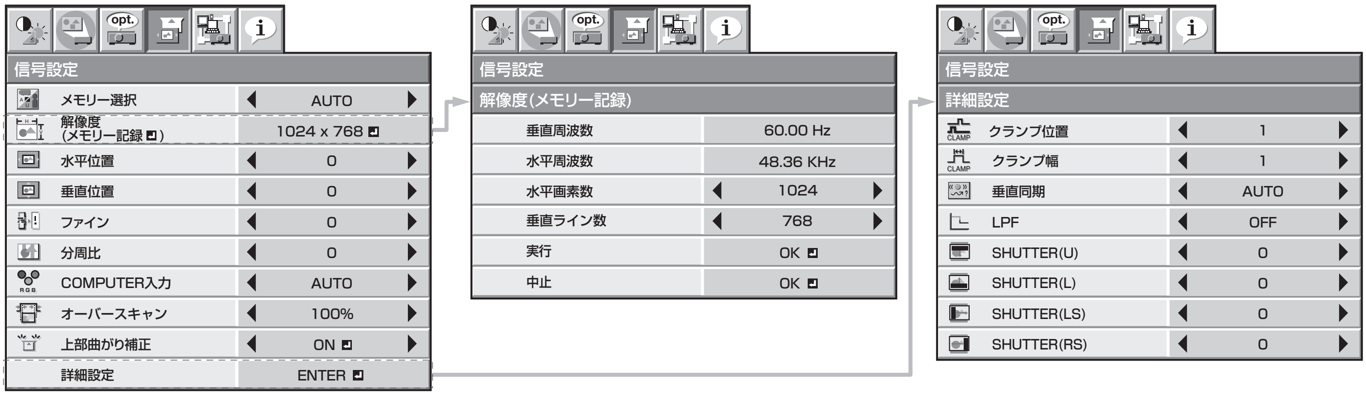
設定項目	設定	はたらき
言語選択	日本語、English、Español、Deutsch、Français、Italiano、中文、한국어、PYCCKИЙ、PORTUGUÊS、SVENSKA、POLSKI、Nederlands、Norsk、اللغة العربية、Türkçe、ภาษาไทย、Bahasa Indonesia、Melayu、Tiếng Việt	メニューなどの画面表示に使われる言語を選びます。
高地モード	標準 ↵	通常はこれを選びます。
	高地 ↵	海抜 1500m を超えて 2700m まではこれを選びます。（14 ページ参照）
アドバンスド メニュー	ENTER ↵	以下の設定を行うためのアドバンスド メニューを表示します。
信号判別	AUTO、NTSC、PAL、SECAM、4.43NTSC、PAL-M、PAL-N、PAL-60	ビデオ信号のカラー方式を選択します。通常は AUTO に設定します。AUTO に設定していて正常に色が付かないときは、入力信号に合わせたカラー方式に設定します。
セットアップ	AUTO	自動的にセットアップ設定を切り換えます。
	OFF	国内盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
	3.75%、7.5%	米国盤の LD や DVD の映像を見るときに選択します。
SCART 入力	OFF、ON	欧州などで使用されている SCART 端子付きの機器と接続するときは、ON を選択します。COMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 1 端子からの入力時のみ有効です。通常は OFF を選択します。
ランプ警告	標準	ランプモードを「低」に設定した場合のランプ使用時間が 3000 時間を超えた場合に警告ダイアログを表示します。
	短期間	ランプモードを「低」に設定した場合のランプ使用時間が 3800 時間を超えた場合に警告ダイアログを表示します。
OSD 表示消去	OFF	通常はこちらを選びます。
	ON	無信号ダイアログ、入力ダイアログ、SCART 警告ダイアログ、オートパワーオフダイアログ、ランプ警告ダイアログ、温度異常ダイアログを表示しません。
RESET ALL	OK ↵	メニューの設定を工場出荷時の値に戻します。（言語選択、パスワードロック、イメージキャプチャーの画像、ネットワークメニューの設定を除く）

お知らせ

- SCART 入力の設定を「ON」にしているとき、通常のコンピューター信号は映りません。
- SCART 端子付きの機器の中には、このプロジェクターと互換性がないものがあります。
- RESET ALL には、少し時間がかかることがあります。

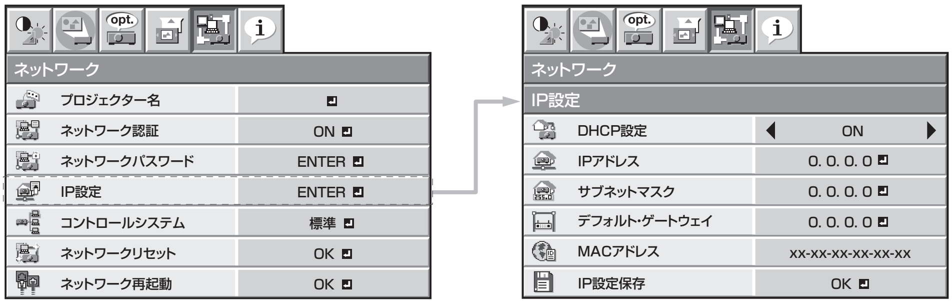
■ 信号設定メニュー

※外部信号が入力されていないと調整できません。（設定方法の詳細は 38、39 ページをご覧ください。）



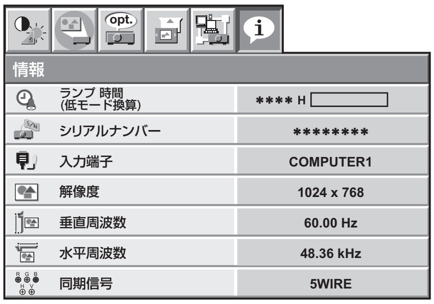
設定項目	設定	はたらき
メモリー選択	AUTO、 メモリー 1 ↵、 メモリー 2 ↵	記録された解像度（メモリー記録）の設定を選択します。設定が記録されていないときは選べません。通常は、コンピューターからの信号に合わせて自動的に適切な信号形式を設定する AUTO が選択されます。 ENTER ボタンを押すと記録された設定内容を消去できます。
解像度（メモリー記録 ↵）		現在の解像度を表示します。ENTER ボタンを押すと解像度（メモリー記録）メニューを表示し、その設定内容を変更することができます。変更した設定内容はメモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
垂直周波数	−	現在投写中の映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	−	現在投写中の映像信号の水平周波数が表示されます。
水平画素数	640 〜 1920	現在投写中の映像信号の水平画素数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んで ENTER ボタンを押すと、指定した解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
垂直ライン数	350 〜 1200	現在投写中の映像信号の垂直ライン数が表示されます。設定内容を変更し、実行を選んで ENTER ボタンを押すと、指定した解像度で映像を自動調整します。調整した結果は、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
実行	OK ↵	ENTER ボタンを押すと自動調整が始まります。調整終了後に、メッセージが表示され、メモリー 1 またはメモリー 2 に記録することができます。
中止	OK ↵	現在の解像度の設定変更を中止して、信号設定メニューに戻ります。
水平位置	0 〜 999	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0 〜 999	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0 〜 31	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0 〜 9999	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER 入力	AUTO	自動的に最適な値に設定します。通常はこれを選びます。
	RGB	R、G、B 出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらを選びます。
	YC_BC_R/YP_BP_R	Y、C_B、C_R コンポーネントビデオ出力端子を持つ DVD プレーヤーまたは Y、P_B、P_R コンポーネントビデオ出力端子を持つハイビジョンデジタルチューナーなどと接続するときに設定します。DVD プレーヤーなどから 480p（525p）信号を入力するときは、こちらを選びます。
オーバースキャン	100 〜 90%	投写映像の表示領域を調整します。
上部曲がり補正	OFF	上部曲がりに対する調整を行いません。
	ON ↵	画面に上部曲がりが行ったときに調整します。
詳細設定	ENTER ↵	以下の調整をするための詳細設定メニューを表示します。
クランプ位置	1 〜 255	投写画面が白くつぶれたり、黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1 〜 63	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
垂直同期	AUTO	通常はこちらを選びます。
	OFF	映像の動きが不自然なときに選びます。
LPF	ON、OFF	プログレッシブフィルター（39 ページ）をはたらかせるかどうかを選択します。通常は OFF を選択します。
SHUTTER(U)	0 〜 38	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0 〜 38	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0 〜 63	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0 〜 63	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

■ ネットワークメニュー



設定項目	設定	はたらき
プロジェクター名	*****... ↵	プロジェクターを識別するための名前を設定します。英数字または記号で 15 文字以内で入力してください。（40 ページ参照）
ネットワーク認証	ON ↵、OFF ↵	ネットワーク認証を行うかどうかを選択します。通常は ON に設定します。（40 ページ参照）
ネットワークパスワード	ENTER ↵	Web 制御、PJLink® 認証用のパスワードを設定します。（40 ページ参照）
IP 設定	ENTER ↵	IP 設定を行います。（41 ページ参照）
DHCP 設定	ON	DHCP サーバーによる自動 IP 取得を行うとき選択します。
	OFF	手動で IP 設定を行うとき選択します。
IP アドレス	***.***.***.*** ↵	ENTER ボタンを押して IP アドレスを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
サブネットマスク	***.***.***.*** ↵	ENTER ボタンを押してサブネットマスクを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
デフォルト・ゲートウェイ	***.***.***.*** ↵	ENTER ボタンを押してデフォルト・ゲートウェイを設定します。DHCP 設定が ON のときは変更できません。
MAC アドレス	xx-xx-xx-xx-xx-xx	MAC アドレスが表示されます。
IP 設定保存	OK ↵	IP 設定を保存します。IP 設定を変更していないときは、IP 設定保存は選択できません。
コントロールシステム	標準 ↵	ProjectorView Global+、ProjectorView を使用する場合に選びます。（42、44 ページ参照）
	AMX ↵	AMX 社のコントローラーを使用する場合に選びます。（42、44 ページ参照）
	CRESTRON ↵	Crestron 社のコントローラおよびソフトウエアを使用する場合に選びます。（42、44 ページ参照）
ネットワークリセット	OK ↵	ネットワーク設定を初期化します。（42 ページ参照）
ネットワーク再起動	OK ↵	ENTER ボタンを押すとネットワークの再起動ができます。

■ 情報メニュー



設定項目	内容
ランプ時間（低モード換算）	ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。 ● ランプモードを「標準」にして使用した場合、実際に使用した時間よりも長く表示されます。 ● ランプ使用時間が 10 時間以内の場合、0 Hが表示されます。10 時間を超えると、1 時間単位で表示されます。 ● ランプ使用時間が 3000 時間を超えた場合、バーは黄色になります。3800 時間を超えた場合、赤色になります。
シリアルナンバー	本機のシリアルナンバーが表示されます。
入力端子	現在投写中の入力端子名が表示されます。
解像度	現在投写されている映像信号の解像度が表示されます。
垂直周波数	現在投写されている映像信号の垂直周波数が表示されます。
水平周波数	現在投写されている映像信号の水平周波数が表示されます。
同期信号	現在投写されている映像信号の同期信号形式が表示されます。

映像を調整する

映像の明るさを調整する（コントラスト、ブライト）

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲､▼ボタンを押して「コントラスト」または「ブライト」を選ぶ

コントラスト	◀ 0 ▶	
ブライト	◀ 0 ▶	

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

コントラスト.........▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなり、メリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなり、しっとりとします。
ブライト.................▶ボタンを押すごとに、映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに、映像が暗くなります。

色を調整する（色の濃さ、色合い）

メニューを使って映像の色に関する調整をします。
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「色の濃さ」または「色合い」を選ぶ

色の濃さ	◀ 0 ▶
色合い	◀ 0 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

色の濃さ.................▶ボタンを押すごとに、色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに、色が薄くなります。
色合い......................▶ボタンを押すごとに、肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに、肌色が紫がかります。

お知らせ
●「色合い」は、ビデオ入力時のみ表示されます。
●「色合い」は、NTSC、4.43NTSC 時のみはたらきます。

映像をくっきりさせたり、ソフトにしたりする（シャープネス）

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ

シャープネス	◀ 0 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して調整する

白の色合いを調整する（色温度の詳細設定）

メニューを使って色温度（白の色合い）の調整をします。
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ

色温度	◀ 標準 ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「USER ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す
● 色温度の詳細メニューが表示されます。

色温度－USER	
コントラスト R	◀ 0 ▶
コントラスト G	◀ 0 ▶
コントラスト B	◀ 0 ▶
ブライト R	◀ 0 ▶
ブライト G	◀ 0 ▶
ブライト B	◀ 0 ▶

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作 5 、6 を繰り返して設定する

8 MENU ボタンを 3 回押す

色温度について

白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。
● 色温度を高くするには
コントラスト B(青)の数値を大きく、コントラスト R(赤)の数値を小さく設定します。
● 色温度を低くするには
コントラスト B(青)の数値を小さく、コントラスト R(赤)の数値を大きく設定します。

独自の明るさと色合いを設定する（カラーエンハンサーの詳細設定）

メニューを使って独自の明るさと色合いのバランスを設定します。
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「カラーエンハンサー」を選ぶ

カラーエンハンサー	◀ AUTO ▶

3 ◀、▶ボタンを押して「USER ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す
● カラーエンハンサーの詳細メニューが表示されます。

カラーエンハンサー－USER	
ガンマモード	◀ ダイナミック ▶

5 ◀、▶ボタンを押して設定する

ガンマモード

最適なガンマに設定します。

- ダイナミック .....コンピューター映像に適した設定になります。
- ナチュラル ....ビデオ映像に適した設定になります。
- ディテール ....映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいときに選びます。

お知らせ

- カラーエンハンサーは、リモコンの CE ボタンを押しても調整できます。

1 リモコンの CE ボタンを押す
- カラーエンハンサー調整用の画面が右上に表示されます。

2 表示したまま◀、▶ボタンを押して「USER ⏎」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 選択後、◀、▶ボタンを押して設定する

映像の繊細感を調整する (SUPER RESOLUTION)

メニューを使って映像の繊細感の調整をします。

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「SUPER RESOLUTION」を選ぶ

SUPER RESOLUTION	◀	OFF	▶

3 ◀、▶ボタンを押して「ON ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す
- SUPER RESOLUTION のレベルメニューが表示されます。

SUPER RESOLUTION			
レベル	◀	1	▶

5 ◀、▶ボタンを押して調整する

お知らせ

- SUPER RESOLUTION を設定するとメニュー画面の色がにじむ場合がありますが、異常ではありません。
- SUPER RESOLUTION は、リモコンの SUPER RESOLUTION ボタンを押しても調整できます。

1 リモコンの SUPER RESOLUTION ボタンを押す
- SUPER RESOLUTION 調整用の画面が右上に表示されます。

2 表示したまま◀、▶ボタンを押して「ON ⏎」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンを押して調整する

色ごとの色合いを調整する (NCM)

メニューを使って色ごとの色合いの調整をします。

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 画質メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「NCM」を選ぶ

NCM	◀	COMPUTER	▶

3 ◀、▶ボタンを押して「USER ⏎」を選ぶ

4 ENTER ボタンを押す
- NCM の詳細メニューが表示されます。

NCM－USER			
RED	◀	0	▶
YELLOW	◀	0	▶
GREEN	◀	0	▶
CYAN	◀	0	▶
BLUE	◀	0	▶
MAGENTA	◀	0	▶
SATURATION	◀	0	▶
RGB-TINT	◀	0	▶

5 ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ
- 全体の色の彩度を設定したいときは、「SATURATION」を選びます。
- 全体の色を同時に設定したいときは、「RGB-TINT」を選びます。

6 ◀、▶ボタンを押して設定する

7 操作 5 、6 を繰り返して設定する

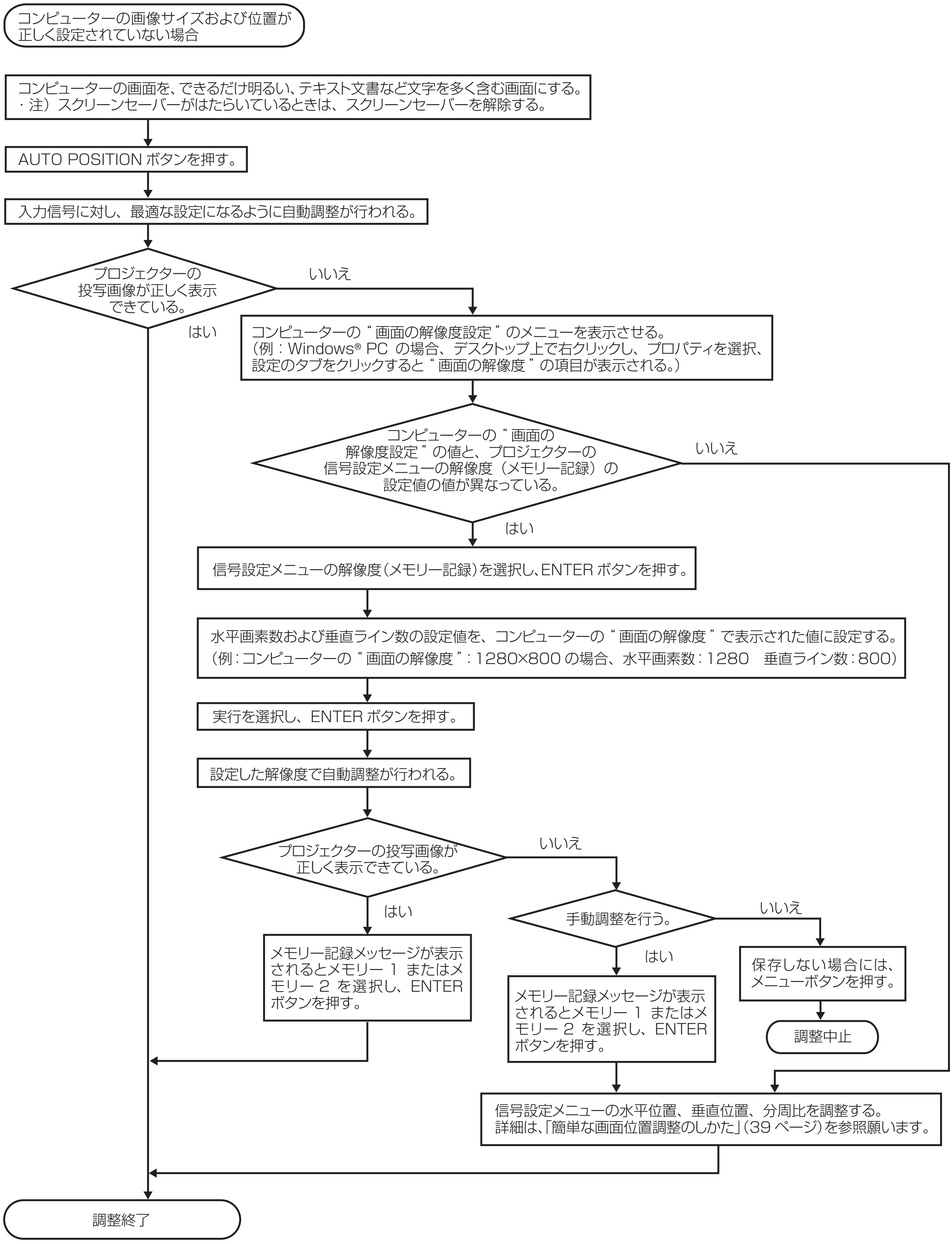
お知らせ

- 入力信号が VIDEO または COMPUTER のとき、NCM 調整の設定項目はあらかじめ決められた値に自動的に設定されます。この設定は手動で変更することができます。
- NCM 調整を取り消すためには、手順 2 で OFF を選択してください。
- NCM 調整を行うと、メニュー画面の色が変化しますが異常ではありません。

映像を調整する（つづき）

コンピューター映像の調整

本機は、コンピューターからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピューターの種類や表示画像によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは以下の図の流れに従い、調整してください。



メニュー画面を使ったコンピューター映像の調整のしかた

次のような症状のときは、以下のように調整してください。

- **投写画面が左右にずれる**
  信号設定メニューの水平位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が左にずれます。

- **投写画面が上下にずれる**
  信号設定メニューの垂直位置を調整します。◀ボタンを押すごとに、映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに、映像が上にずれます。

- **投写画面がちらつく、ぼやける**
  信号設定メニューのファインを調整します。

- **幅広のしま模様が出る**
  信号設定メニューの分周比を調整します。

- **画面が白く（または黒く）つぶれる**
  信号設定メニューの詳細設定メニューの中のクランプ位置またはクランプ幅を調整します。

- **画面の左右にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの SHUTTER（LS）または SHUTTER（RS）を調整します。

- **画面の上下にノイズなどが出る**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの SHUTTER（U）または SHUTTER（L）を調整します。

- **画面に上部曲がりが起こる**
  信号設定メニューの上部曲がり補正の設定を変更します。設定を「ON↵」にして ENTER ボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。

- **映像の動きが不自然**
  信号設定メニューの中の詳細設定メニューの垂直同期を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。
  ※ 信号設定メニューの中の詳細設定メニューの設定は、通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた（AUTO POSITION ボタンで調整できない場合）

水平位置の調整

1 水平位置を調整して映像の左端を合わせ、分周比を調整して右端を合わせる
2 操作 1 を繰り返し、水平位置の調整を行う

垂直位置の調整

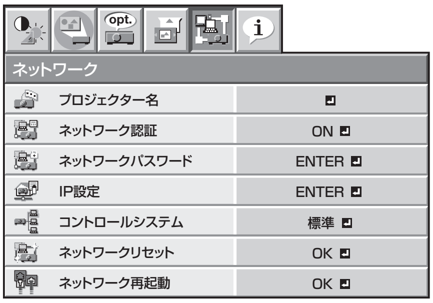
3 垂直位置を調整して映像の上端を合わせる

LPF（プログレッシブフィルター）について

ご使用になる DVD プレーヤーによっては画面の縦、横方向に薄いスジ状のノイズが現れる場合があります。この場合、LPF を ON にすることによりプログレッシブフィルターがはたらき、これらのスジ状のノイズを軽減することができます。ただし、映像の鮮鋭度は弱くなります。

ネットワークの初期設定

メニューを使って本体のネットワーク設定を行います。



プロジェクター名を設定する

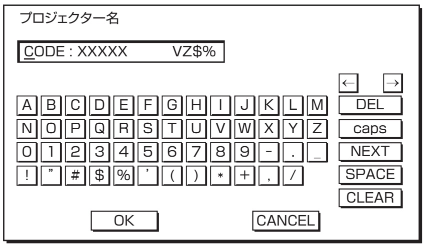
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「プロジェクター名」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● プロジェクター名入力画面が表示されます。



4 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

● プロジェクター名はアルファベット（大・小）、数字、記号で最大 15 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー.........................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
DEL キー................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー.....アルファベットの大文字（caps）と小文字 (CAPS) を切り替える
NEXT/PREV キー ...キーパッド 4 行目の記号を切り替える
SPACE キー ....入力カーソル位置に空白を挿入する
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字 (0 ～ 9)」ボタンを押して入力することもできます。

5 「OK」を選び、入力した名前を設定して終了する または「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

● 「OK」または「CANCEL」を選ぶとネットワークメニューへ戻ります。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク認証の設定・解除をする

ネットワーク通信で、ネットワークパスワードを使用した認証を行うかどうかを設定します。

● 詳しくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワーク認証」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● 設定確認のダイアログが表示されます。

4 ◀、▶ボタンを押して「ON ↵」または「OFF ↵」を選ぶ

5 ENTER ボタンを押す

● 設定を変更しない場合は、MENU ボタンを押してダイアログを解除してください。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワークパスワードを変更する

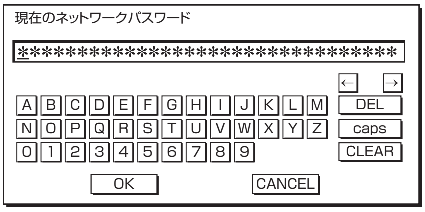
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークパスワード」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● 現在のネットワークパスワード入力画面が表示されます。



4 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する文字または記号を選び、ENTER ボタンを押す

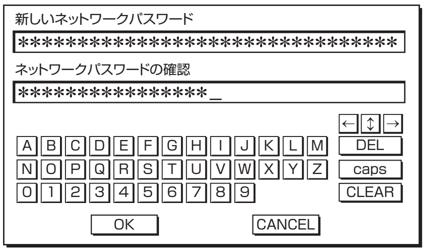
● パスワードはアルファベット (大・小)、数字で最大 32 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー......................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する
DEL キー ....入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー ....アルファベットの大文字（caps）と小文字 (CAPS) を切り替える
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字 (0 ～ 9)」ボタンを押して入力することもできます。
● 工場出荷設定ではパスワードは「admin」になっています。

5 「OK」を選び、入力したパスワードが正しければ続けて新パスワード入力画面が表示される

● パスワードを間違えた場合、エラーダイアログが表示され再び現在のネットワークパスワード入力画面が表示されます。



6 新パスワードと確認用パスワードを入力する

● パスワードはアルファベット (大・小)、数字で最大 32 文字まで設定できます。

←キー......................入力カーソル位置が 1 文字分左へ移動する
→キー.........................入力カーソル位置が 1 文字分右へ移動する

↕キー......................入力カーソル位置が「新しいネットワークパスワード」または「ネットワークパスワードの確認」へ移動する
DEL キー.................入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
caps/CAPS キー.....アルファベットの大文字（caps）と小文字（CAPS）を切り替える
CLEAR キー...........入力した文字を全て消去する

● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0 〜 9）」ボタンを押して入力することもできます。

7 新パスワードと確認用パスワードが一致したらネットワークパスワードを変更して終了する

● 「OK」を選び入力内容が一致した場合、設定変更中ダイアログが表示されます。表示が消えた後、ネットワークメニューに戻ります。
● 「CANCEL」を選ぶと内容を変更せずにネットワークメニューに戻ります。
● 入力内容が一致していない場合、エラーダイアログが表示され、再度新パスワード入力画面が表示されます。
● Crestron 社のウェブコントロールソフトウェアのパスワードは、この設定では変更できません。
● 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

IP を設定する

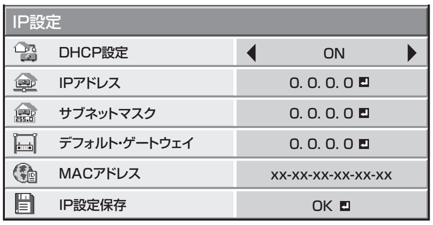
● メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP 設定」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● IP 設定の詳細メニューが表示されます。



DHCP の設定・解除をする

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「DHCP 設定」を選ぶ

3 ◀、▶ボタンを押して「ON」または「OFF」を選ぶ

● DHCP 設定を ON にした場合、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルト・ゲートウェイ」の設定はできません。設定する場合は DHCP 設定を OFF にし、以下の手順で IP 設定を行ってください。
● 「IP 設定保存」を実行するまで、この変更は保存されません。

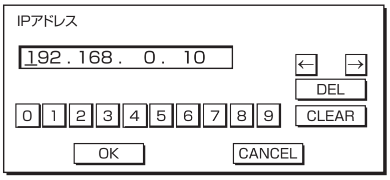
IP アドレスを設定する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「IP アドレス」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● IP アドレス入力画面が表示されます。



4 方向ボタンでキーカーソルを移動させ、入力する数字を選び、ENTER ボタンを押す

● 数値は 0 〜 255 の範囲で入力してください。
ただし、最終オクテットのみ 1 〜 254 の範囲内で入力してください。
←キー.................入力カーソル位置が左へ移動する
→キー.................入力カーソル位置が右へ移動する
DEL キー............入力カーソル位置の文字を 1 文字消去する
CLEAR キー......入力した文字を全て消去する
● 数字のみ、リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（0 〜 9）」ボタンを押して入力することもできます。

5 「OK」を選び、入力した IP アドレスを一時的に設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

● 入力内容が正しい場合、IP 設定メニューが表示されます。
入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示され IP 設定メニューに戻ります。
● 「IP 設定保存」を実行するまで、この変更は保存されません。

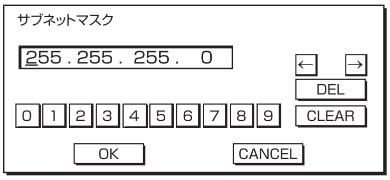
サブネットマスクを設定する

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「サブネットマスク」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● サブネットマスク入力画面が表示されます。



4 サブネットマスクを入力する

● 入力方法については「IP アドレスを設定する」を参照してください。

5 「OK」を選び、入力したサブネットマスクを一時的に設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

● 入力内容が正しい場合、IP 設定メニューが表示されます。
入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示され IP 設定メニューに戻ります。
● 「IP 設定保存」を実行するまで、この変更は保存されません。

デフォルト・ゲートウェイを設定する

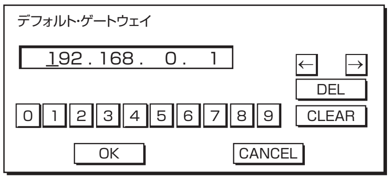
1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「デフォルト・ゲートウェイ」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

● デフォルト・ゲートウェイ入力メニューが表示されます。

ネットワークの初期設定（つづき）



4 デフォルト・ゲートウェイを入力する

- 入力方法については「IP アドレスを設定する」を参照してください。

5 「OK」を選び、入力したデフォルト・ゲートウェイを一時的に設定して終了するまたは「CANCEL」を選び、設定を保存せずに終了する

- 入力内容が正しい場合、IP 設定メニューが表示されます。入力内容が正しくない場合、エラーダイアログが表示され IP 設定メニューに戻ります。
- 「IP 設定保存」を実行するまで、この変更は保存されません。

IP 設定を保存する

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 IP 設定メニューを表示させる

2 ▼ボタンを押して「IP 設定保存」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 設定変更中ダイアログが表示されます。表示が消えた後、ネットワークメニューに戻ります。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

コントロールシステムの設定をする

コントロールシステムを設定します。

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「コントロールシステム」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

4 ◀、▶ボタンを押して「標準」、「AMX」または「CRESTRON」を選ぶ

標準

ProjectorView Global+、ProjectorView（44 ページ参照）または LAN 端子経由で RS-232C コマンドを使用する場合に選びます。

AMX

AMX 社のコントローラーを使用する場合に選びます。（44 ページ参照）

CRESTRON

Crestron 社のコントローラーおよびソフトウエアを使用する場合に選びます。（44 ページ参照）

お知らせ

- PJLink® はコントロールシステムの設定にかかわらず動作します。

5 ENTER ボタンを押す

- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク設定を初期化する

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 ネットワークメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「ネットワークリセット」を選ぶ

3 ENTER ボタンを押す

- 設定確認のダイアログが表示されます。

4 もう一度 ENTER ボタンを押すと、ネットワーク設定が初期化される（IP 設定を除く）

- 初期化を取り消したいときは、MENU ボタンを押してください。
- 警告メール設定も初期化されます。警告メールについて詳しくは CD-ROM 内の「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」をご覧ください。
- 設定が反映されるまで少し時間がかかることがあります。

ネットワーク機能を使うには

- コンピューターとプロジェクターを LAN 接続する際は、両方の IP アドレスを同じネットワークグループになるように設定してください。
  異なるネットワークグループで接続する場合ルーターをご使用ください。ルーターの設定についてはネットワーク管理者へお問い合わせください。
- IP 設定は正しく行ってください。正しく設定していないと、通信ができない場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者へご相談ください。
- プロジェクターのスタンバイモードの設定によっては、LAN 機能が利用できないことがあります。スタンバイモードについては、30 ページを参照してください。

用語説明

詳細については市販の書籍などをご覧ください。

用語	説明
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で、ネットワークに接続する機器に IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
サブネットマスク	IP アドレスから、分割したネットワーク（サブネット）のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数字のことです。
デフォルト・ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を越えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
MAC アドレス	Media Access Control アドレスの略です。 MAC アドレスはネットワークアダプタごとの固有の ID 番号です。すべてのネットワークアダプタは 1 つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプタ間の送受信が行われます。

パスワードを設定する

本機はパスワードロック機能により、お子様による誤操作防止および特定者以外による操作を制限することなどができます。パスワードロック機能には、次の３つのモードがあります。

映像表示

電源を入れたとき、起動画面（スプラッシュスクリーン）が表示されたままになります。パスワードを入力することにより、通常の画面に切り換わります。

キー操作

本体の電源ボタン以外のボタン操作ができなくなります（リモコンのボタン操作はできます）。お子様による誤操作防止や特定者以外による操作の制限ができます。

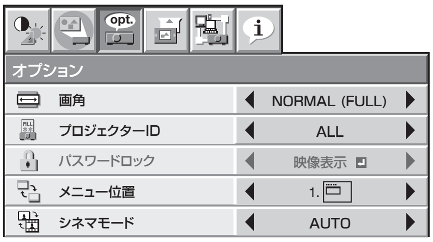
スプラッシュスクリーン

設置メニューのスプラッシュスクリーンおよびイメージキャプチャーの設定ができなくなります。このときスプラッシュスクリーンは自動的に「ON」に設定されます。

パスワードロックの設定のしかた

1 オプションメニューを表示させる

2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

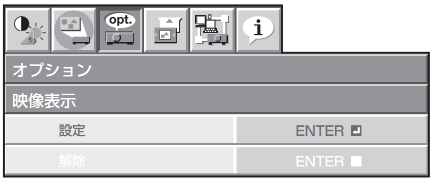


3 ◀または▶ボタンを押してモード（「映像表示」、「キー操作」または「スプラッシュスクリーン」）を切り換える

- すでにパスワードが設定されているときは、モードは切り換わりません。そのときは、ENTER ボタンを押して、パスワードロック機能を解除してから設定し直してください。

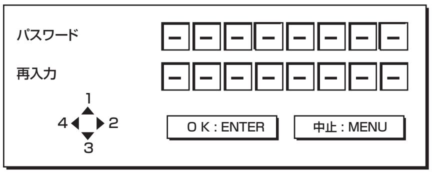
4 ENTER ボタンを押す

- パスワードロック画面（設定用）が表示されます。



5 ENTER ボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



6 ▲、▶、▼または◀ボタンを押して４～８桁のパスワードを入力する

（▲ =1、▶ =2、▼ =3、◀ =4）

- リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（1 ～ 4）」ボタンを押して入力することもできます。

7 ENTER ボタンを押す

8 同様に再入力欄にパスワードと同じ数字を設定する

9 ENTER ボタンを押す

- 再入力欄の数字とパスワードが一致しない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENU ボタンを押します。

パスワードロックの解除のしかた

1 オプションメニューを表示させる

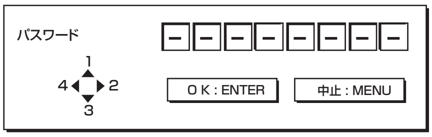
2 ▲または▼ボタンを押してパスワードロックを選択する

3 ENTER ボタンを押す

- パスワードロック画面（解除用）が表示されます。

4 ENTER ボタンを押す

- パスワード入力画面が表示されます。



5 ▲、▶、▼または◀ボタンを押して４～８桁のパスワードを入力する

（▲ =1、▶ =2、▼ =3、◀ =4）

- リモコンの「NUM」ボタンを押しながら「数字（1 ～ 4）」ボタンを押して入力することもできます。

6 ENTER ボタンを押す

- 誤ったパスワードを入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- パスワード設定を取り消したいときは、MENU ボタンを押します。

パスワードを忘れたときは

本体操作部の MENU ボタンと ENTER ボタンを同時に３秒以上押して、パスワードを解除してください。

コンピューターによる監視と制御

本機はコンピューターによるプロジェクターの監視および制御をLAN経由で行うことができます。

主な機能

- ProjectorView Global+
  プロジェクター一括制御・状態監視アプリケーション
  - 単体／複数のプロジェクターの一括操作
  - 曜日ごとの電源ON/OFFスケジュール機能
  - プロジェクターの各種状態の取得と盗難検知
  - プロジェクターのIPアドレス設定
  - Webブラウザーによる状態制御／監視ツール ProjectorViewの起動
- ProjectorView
  Webブラウザーによりプロジェクターの監視と制御を行う
  - 単体のプロジェクターの制御・状態監視
  - プロジェクターのネットワーク機能設定
  - プロジェクターの警告メール設定
- AMX Device Discovery
  AMX社のコントロールシステムによりプロジェクターの監視・制御を行う
- Crestron RoomView Connected ™
  Crestron社のコントロールシステムおよびソフトウエアによりプロジェクターの監視・制御を行う
- PJLink®
  プロジェクター制御用の標準プロトコルで、異なるメーカー間、機種間であっても同一のアプリケーションを用いてプロジェクターの監視・制御を行う

ProjectorView Global+ および ProjectorView について

- 詳しくは、CD-ROM内の「LAN制御UTILITY取扱説明書」をご覧ください。

AMX Device Discovery について

- AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社が提唱する技術です。使用するにはネットワークメニューのコントロールシステムを設定する必要があります。（34、42ページ参照）
  詳細に関しては、AMX社のWEBサイトを参照してください。
  URL http://www.amx.com/

Crestron RoomView Connected ™ について

- Crestron社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、Crestron社が提唱する技術です。使用するにはネットワークメニューのコントロールシステムを設定する必要があります。（34、42ページ参照）
  詳細に関しては、Crestron社のWEBサイトを参照してください。
  URL http://www.crestron.com
  URL http://www.crestron.com/getroomview/

お知らせ

- ネットワークメニューのコントロールシステムで「CRESTRON」を選択すると、Crestron用のWeb制御になります。この時Adobe Flash Playerをインストールしておく必要があります。Adobe Systems IncorporatedのWebサイトからAdobe Flash Playerをダウンロードしてください。
- ネットワークメニューのコントロールシステムで「CRESTRON」を選択すると、製品添付ソフトウエアProjectorView Global +による制御ができなくなります。

PJLink® について

- PJLink®機能を使用するには、別途、PJLink®アプリケーションソフトが必要です。
- この機能を使用するには、ネットワーク認証ON/OFF設定を適当な値にセットします。（40ページ参照）
- PJLink®の仕様に関しては、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）のWebサイトを参照してください。
  URL　http://pjlink.jbmia.or.jp/
- 本プロジェクターは、JBMIA PJLink®クラス1の規格に適合しています。PJLink®クラス1で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink®標準仕様バージョン1.0で適合を確認しています。

お知らせ

- PJLink®対応コマンドについては次ページの表をご覧ください。
- 以下の状態の時などで制御動作／監視データがうまく動作／取得できないことがあります。
  - ・スタンバイ時
  - ・ZOOM/FOCUS調整中
  - ・LENS SHIFT調整中
  - ・入力切り換え中
  - ・AUTO POSITION実行中
  - ・BLANK中
  - ・コマンドの処理中
  - ・電源を入れた後、スプラッシュスクリーンが解除されるまでの間
- ZOOM/FUCUS調整中、LENS SHIFT調整中、BLANK中などのとき、コマンドの返答に5秒ほどかかる場合があります。
- 1台のプロジェクターに対して、1台のコントローラーで制御／監視を行ってください。
- 実際のPJLink®による制御／監視の方法については、お使いになるPJLink®アプリケーションの使用説明書を参照してください。
- 本機能を用いてプロジェクターの監視を行う場合、状態問い合わせを連続で実施するときは、プロジェクターの返信を待ってから次の問い合わせを実施してください。

接続

接続について詳しくは、CD-ROM内の「LAN制御UTILITY取扱説明書」をご覧くださ い。

プロジェクターの設置メニューの「スタンバイモード」の設定が「低」になっていると、ネットワーク機能が無効になります。ネットワーク機能を有効にするには、「スタンバイモード」の設定を「標準」または「LAN」にしてください。

はじめにネットワークの初期設定を行ってください。
初期設定は本体メニュー（40～42ページ参照）、ProjectorView Global+またはProjectorViewで行うことができます。
ProjectorView Global+およびProjectorViewについて詳しくは、CD-ROM内の「LAN制御UTILITY取扱説明書」をご覧ください。

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM には、アプリケーションソフト「Projector View Global+」、「LAN 制御 UTILITY 取扱説明書」および Acrobat® Reader™が収録されています。

LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるには

以下の手順に従ってご覧ください。

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2. CD-ROM “PROJECTOR” を開く
3. “Manual.pdf” のアイコンをダブルクリックする

お知らせ

- LAN 制御 UTILITY 取扱説明書をご覧になるためには、コンピューターに Adobe® Reader® または Acrobat® Reader™がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、以下の手順に従ってインストールしてください。

Acrobat® Reader™をインストールするには

1. 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる
2. CD-ROM “PROJECTOR” を開く
3. “ACROBAT_READER” フォルダーを開く
4. インストール用ソフトのアイコンをダブルクリックする
5. 画面の指示に従ってインストールする

PJLink® 対応コマンド

PJLink® プロトコルで本機で制御する際のコマンドは下表のとおりです。

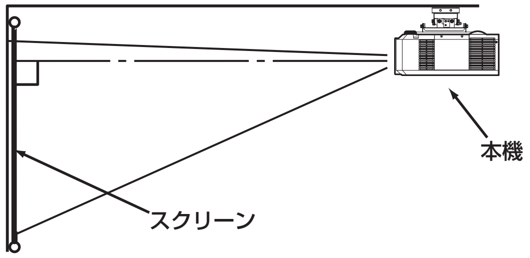
<table>
<tr><th>コマンド</th><th>制御内容</th><th>備考 （パラメーター）</th></tr>
<tr><td>POWR</td><td>電源制御</td><td>0 =スタンバイ
1 =電源「入」</td></tr>
<tr><td>POWR?</td><td>電源状態問合せ</td><td>0 =スタンバイ
1 =電源「入」
2 =クーリング中
3 =ウォームアップ中</td></tr>
<tr><td>INPT</td><td>入力切り替え</td><td rowspan="2">11 = COMPUTER1
12 = COMPUTER2
21 = VIDEO
22 = S-VIDEO
31 = HDMI
32 = DVI</td></tr>
<tr><td>INPT?</td><td>入力切り替え問合せ</td></tr>
<tr><td>AVMT</td><td>ミュート制御</td><td rowspan="2">30 =映像と音声のミュート解除
31 =映像と音声のミュート</td></tr>
<tr><td>AVMT?</td><td>ミュート状態問合せ</td></tr>
<tr><td>ERST?</td><td>エラー状態問合せ</td><td>1 バイト目：ファンエラーを意味し、0 または 2
2 バイト目：ランプエラーを意味し、0 ～ 2 のいずれか
3 バイト目：温度エラーを意味し、0 または 2
4 バイト目：カバーオープンエラーを意味し、0 または 2
5 バイト目：フィルターエラーを意味し、0 または 2
6 バイト目：その他のエラーを意味し、0 または 2
0 ～ 2 の各意味は以下のとおり
0 =エラーを検知していない　1 =警告　2 =エラー</td></tr>
<tr><td>LAMP?</td><td>ランプ状態問合せ</td><td>1 つ目の数字 (1 ～ 5 桁)：ランプ積算時間（ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプの使用時間が表示されます。）
2 つ目の数字：0 =ランプ消灯　1 =ランプ点灯</td></tr>
<tr><td>INST?</td><td>入力切り替え一覧問合せ</td><td>下記の値を応答します
“11 12 21 22 31 32”</td></tr>
<tr><td>NAME?</td><td>プロジェクター名問合せ</td><td>ネットワークメニューまたは ProjectorView Setup ウィンドウのプロジェクター名で設定した名称を応答します</td></tr>
<tr><td>INF1?</td><td>メーカー名問合せ</td><td>“MITSUBISHI” と応答します</td></tr>
<tr><td>INF2?</td><td>機種名問合せ</td><td>“LVP-UL7400” と応答します</td></tr>
<tr><td>INFO?</td><td>その他情報問合せ</td><td>その他情報はありません。応答のパラメータは無しです</td></tr>
<tr><td>CLSS?</td><td>クラス情報問合せ</td><td>“1” と応答します</td></tr>
</table>

- 本プロジェクターは JBMIA PJLink® クラス 1 の規格に適合しています。PJLink® クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink® 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

設置工事を依頼するときは

天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は、別売の専用天吊り金具（55 ページ参照）を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

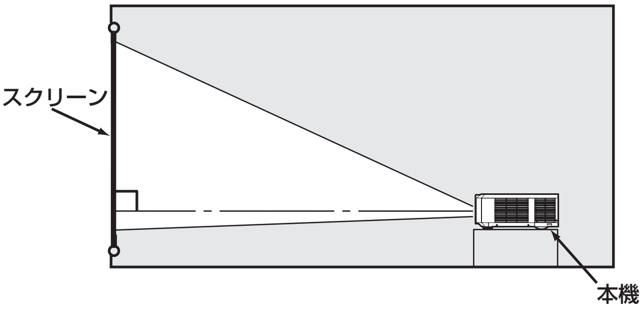


お知らせ

- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示の設定を「上下左右」にしてください。くわしくは 14、30 ページをご覧ください。
- ブレーカーなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずブレーカーなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くには設置しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

設置工事は、必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



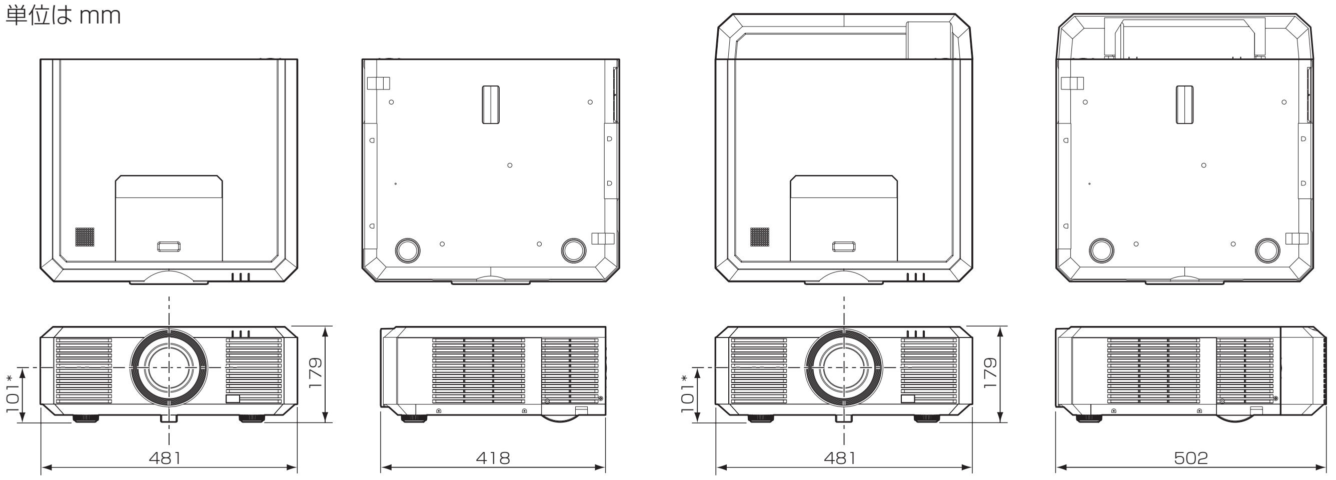
お知らせ

- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示の設定を「左右」にしてください。くわしくは 14、30 ページをご覧ください。

寸法図（参考）

単位は mm

ターミナルカバー装着時



※：レンズ中心位置の寸法は、出荷時の値です。

こんな機能もあります

ケンジントンセキュリティースロットについて

ケンジントンセキュリティースロットは、Kensington 社セキュリティーケーブルに対応しています。セキュリティースロットおよびセキュリティーケーブルについては、日本総輸入代理店 七陽商事株式会社までお問い合わせください。連絡先は、以下の通りです。

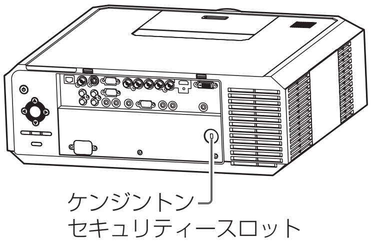
七陽商事株式会社 情報機器事業部

103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル

TEL：03-3663-7740

FAX：03-3669-2367

注）連絡先等は、変更になる可能性があります。ご了承ください。



巻取りフィルターについて

本機には、巻取りフィルターを装着しています。目詰まりしたフィルターは、一定期間ごとに巻き取られ、新しいフィルター面に替わります。フィルターがすべて巻き取られたときは、新しいフィルターカートリッジに交換できます。

- 本機の電源が「入」のとき、設定した時間が経過した後にフィルターが巻き取られます。
- 1 つのカートリッジには 10 面分のフィルターがあります。フィルターが巻き取られると、「フィルター残量」が減り、「フィルター使用時間」が 0 に戻ります。

お知らせ

- 「フィルター残量」が 0 になると、FILTER インジケーターが赤色に点滅します。この場合、新しいフィルターカートリッジを用意してください。最後のフィルター面が目詰まりしたら、新しいフィルターカートリッジと交換してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。
- 周囲の環境によっては、9 回巻き取る前にフィルターが使い切られ、本機の電源が「入」のとき FILTER インジケーターがオレンジ色に点滅することがあります。この場合、新しいフィルターカートリッジと交換してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。
- フィルターを清掃しないでください。故障の原因となることがあります。
- フィルターを巻き戻さないでください。故障の原因となることがあります。

自動巻取り間隔を設定する

メニューを使ってフィルターの自動巻取り間隔を設定します。

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 オプションメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「フィルターメニュー」を選ぶ

フィルターメニュー　ENTER

3 ENTER ボタンを押す

4 ▲、▼ボタンを押して「自動巻取り間隔」を選ぶ

自動巻取り間隔　◀ 1000時間毎 ▶

5 ◀、▶ボタンを押して「OFF」、「500 時間毎」、「750 時間毎」または「1000 時間毎」を選ぶ

OFF.................フィルターを自動で巻き取りません。フィルターが目詰まりしたら、手動で巻き取ってください。
500 時間毎....約 500 時間ごとにフィルターを巻き取ります。
750 時間毎....約 750 時間ごとにフィルターを巻き取ります。
1000 時間毎.約 1000 時間ごとにフィルターを巻き取ります。

お知らせ

- 現在のフィルター使用時間より短い巻取り間隔を選択すると、1 分後にフィルターが巻き取られます。

手動巻取りを実行する

- メニュー設定のしかたは 28 ページをご覧ください。

1 オプションメニューを表示させる

2 ▲、▼ボタンを押して「フィルターメニュー」を選ぶ

フィルターメニュー　ENTER

3 ENTER ボタンを押す

4 ▲、▼ボタンを押して「手動巻取り」を選ぶ

手動巻取り　OK

5 ENTER ボタンを押す

- 確認のダイアログが表示されます。

手動巻取り　実行　？
OK : ENTER　中止 : MENU

6 ENTER ボタンまたは MENU ボタンを押す

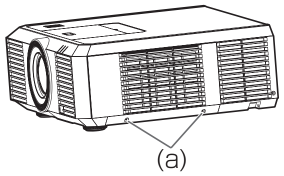
- ENTER ボタンを押すと、フィルターが 1 回巻き取られます。
- 手動巻き取りを実行しない場合は MENU ボタンを押してください。

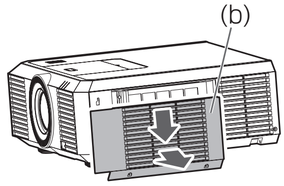
巻取りフィルターの交換のしかた

フィルターが 9 回巻き取られると、FILTER インジケーターが赤色に点滅します。この場合、新しいフィルターカートリッジを用意してください。最後のフィルター面が目詰まりしたら、新しいフィルターカートリッジと交換してください。
交換する前には必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントより抜いてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

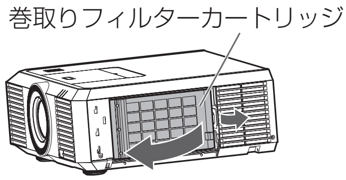
2 フィルターカバー止めネジ 2 本（a）をプラスドライバーでゆるめ、フィルターカバー（b）を本体から取り外す



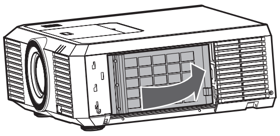


巻取りフィルターについて（つづき）

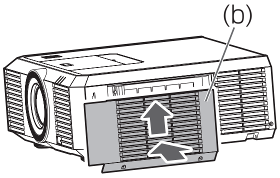
3 巻取りフィルターカートリッジを取り外す

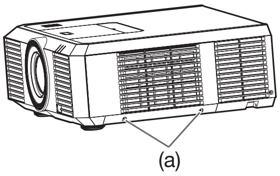


4 新しい巻取りフィルターカートリッジを取り付ける



5 フィルターカバー（b）を本体に差し込み、フィルターカバー止めネジ 2 本（a）をプラスドライバーでしっかりと締める





フィルターの巻き取り残量をリセットする —

フィルター残量とフィルター使用時間をリセットします。

6 電源プラグをコンセントに差し込む

7 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および ENTER/GEOMETRY ボタンを同時に 3 秒以上押す

- 3 つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- 正しくリセットされた場合、FILTER インジケーターが 3 回点滅します。点滅したことを確認してください。
- フィルターカートリッジまたはフィルターカバーが正しく取り付けられていないときは、本機の電源は入りません。
- フィルターカートリッジを交換していないときはリセットしないでください。

お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
本体やレンズを掃除する場合、可燃性の溶液（ベンジンやシンナーなど）やスプレーを使用しないでください。ランプ点灯の際、可燃成分に引火し、火災や故障の原因となることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品（ブローワーブラシなど）でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

ターミナルカバーをきれいにする

ターミナルカバー内は異物やほこりがたまりやすいので、そうじはこまめに行ってください。

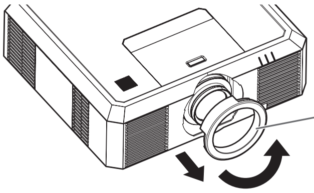
投写レンズを交換する

本機は投写レンズの交換が可能です。プロジェクターを使用する環境に応じて別売のオプションレンズと交換することができます。オプションレンズの仕様についての詳細は、販売店にご相談ください。

- 投写レンズの交換をするときには必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 投写レンズの交換をするときには必ずレンズの位置を中央（工場出荷位置）に戻してください。投写レンズの位置が中央から移動している場合は、レンズシフトリセット（30 ページ参照）で中央（工場出荷位置）に戻してください。投写レンズの位置が中央（工場出荷位置）から移動していると、投写レンズの交換ができないことがあります。
- プロジェクターおよび投写レンズは精密部品でできています。衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 作業中、投写レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- 投写レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- ほこりの多い場所で投写レンズ交換をしないでください。プロジェクター内部にゴミやほこりが入ると、画質を損なう原因となります。
- 長時間プロジェクターから投写レンズを外したままにしないでください。プロジェクター内部にゴミやほこりが入ると、画質を損なう原因となります。
- 投写レンズの信号接点には指を触れないでください。汚れやほこりなどにより、接触不良の原因となることがあります。

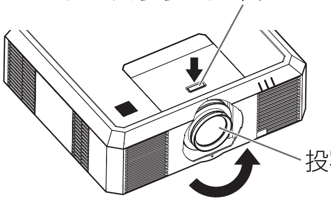
投写レンズの取り外しかた

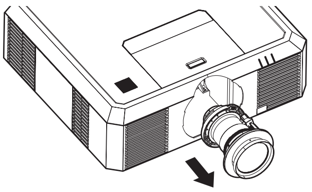
1 レンズリングを反時計方向に少し回して外す



2 キャビネット天面のレンズリリースボタンを奥まで押し込みながら、反時計方向に投写レンズを回しきり、ゆっくりと投写レンズを引抜いて取り外す

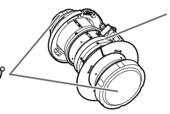
- 投写レンズを取り外すときは落とさないようにしてください。





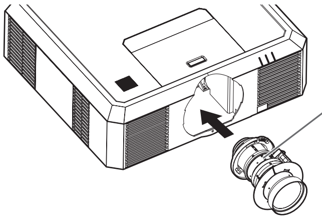
投写レンズ（オプションレンズ）の取り付けかた

1 投写レンズに付いている、レンズ保護キャップを外す



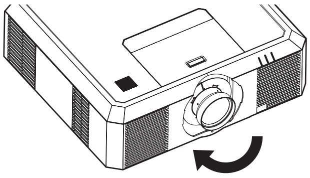
- オプションレンズの保護キャップは、レンズ取り付け後はレンズに装着しないでください。

2 投写レンズにある赤いマークを真上にして、そのままゆっくり奥まで差し込む

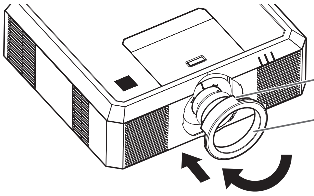


3 投写レンズを時計方向に「カチッ」と音がするまでゆっくりと回す

- レンズを取り付けるときはレンズリリースボタンは押さないでください。
- 取り付け後、投写レンズを反時計方向に回してみて、抜けないことを確認してください。



4 A 部を真上にしてレンズリングを押し込み、時計方向に回して取り付ける



お知らせ

- オプションレンズ取り付け後は、プロジェクターの輸送はしないでください。プロジェクター本体が破損する恐れがあります。
- オプションレンズ取り付け後は、投写映像の明るさ、解像度、色均一性が標準レンズの場合と異なることがあります。
- オプションレンズ取り付け後の台形補正は、補正角度の範囲が標準レンズ搭載時と異なります。
- オプションレンズ取り付け後の台形補正は、画面が正しいアスペクト比にならないことがあります。
- オプションレンズ取り付け後、投写画面を画面可動範囲の上下端および左右端付近に設定した場合、画面の歪みが大きくなったり、解像度が低下したり、画面隅に影が発生したりすることがあります。

光源ランプを交換する

本機には、液晶パネルの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。
本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。光源ランプは、必ず別売りのLVP-UL7400専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店またはテクニカルサポートセンター・ご相談窓口にご依頼ください。

LVP-UL7400用光源ランプ
形名：VLT-XL7100LP

⚠警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから抜かずに交換を行うと、感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと、感電や火災の原因となります。入ったものが取れないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは、素手で触ったり、衝撃を与えたりしないでください。また、正確に取り付けてください。正しく取り扱わないと、破裂する恐れがあります。
- 光源ランプは確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取り出した光源ランプは決して振ったり、目の上より高い位置に持って行ったりしないでください。ガラス片が飛び散ったり、落下したりして目に入るなどのけがの恐れがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので、光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約2分半お待ちください。そして電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上たって充分に冷えてから交換を始めてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、光源ランプの取っ手を持って行ってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをおすすめします。
- ランプ交換を天吊り状態の高い位置で行う場合は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

⚠注意

本機は光源ランプの使用時間が3000時間※1を超えるとSTATUSインジケーターが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。3800時間※1を超えると以後20時間※1おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ（ランプ交換）が表示されます。また、光源ランプの使用時間が4000時間※1※2を超えると自動的に電源が切れます。

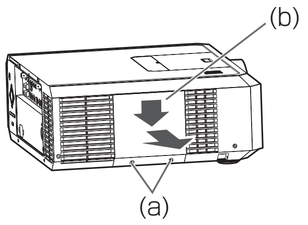
- 光源ランプは、交換以外の目的では取り出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプの破裂や不点灯に至るまでの時間は、高圧水銀ランプの個体差や使用条件によって大きな差があり、使用開始後すぐに破裂することがあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でも速やかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプボックス部の中や外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります（白いガス）。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりした場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例もしくは規則に従って廃棄してください。
- 光源ランプは専用のVLT-XL7100LPをご使用ください。他のランプを使用されると故障の原因となることがあります。

※1：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は3000時間）。

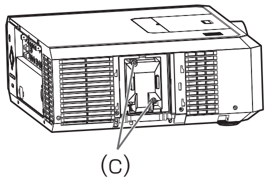
床置き時のランプ交換のしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く

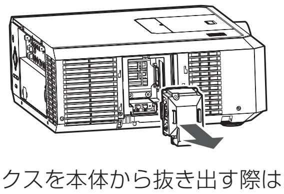
2 ランプカバー止めネジ2本（a）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバー（b）を本体から取り外す



3 ランプボックスの固定ネジ2本（c）をプラスドライバーでゆるめる

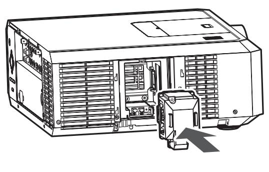


4 取っ手を持って、ランプを本体から抜き出す

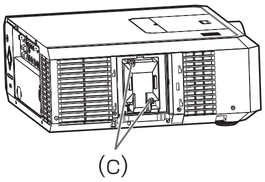


- ランプボックスを本体から抜き出す際は、ゆっくりと行ってください。光源ランプが破裂している場合は、急に抜き出すとガラス片が飛び散る恐れがあります。
- 取り出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

5 新しいランプの取っ手を持って、本体の穴の形状にランプ形状の方向を合わせて、ランプを奥に当たるまで差し込む

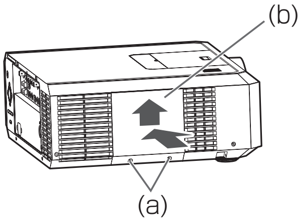


6 交換したランプボックスの固定ネジ２本（c）をプラスドライバーでしっかりと締める



● ネジはしっかりと確実に締めてください。

7 ランプカバー（b）を本体に差し込み、ランプカバー止めネジ２本(a)をプラスドライバーでしっかりと締める



● ランプカバーがはずれていると、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

8 電源プラグをコンセントに差し込む

9 本体操作パネルの◀、▶ボタン、および電源ボタン（⏻）を同時に３秒以上押す

- ３つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- 正しくリセットされた場合、STATUSインジケーターが赤色に２回点滅します。点滅したことを確認してください。
- ランプ使用時間が4000時間※を超えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは、光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプを交換していないときは使用時間をリセットしないでください。

※ ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は3000時間）。

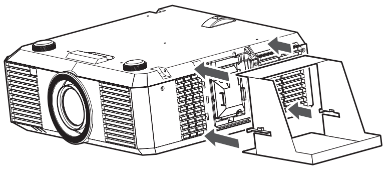
天吊り時のランプ交換のしかた

天吊りしているプロジェクターからランプを取り外すときは、ガラスの破片等から身を守るため、プロジェクターに付属のランプ交換用トレーをお使いください。

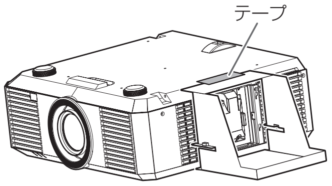
● ランプ交換用トレーの組み立てかたについては、トレーに付属の説明書をお読みください。

1「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 1 ～ 3 を実行する

2 ランプ交換用トレーをプロジェクターに取り付ける



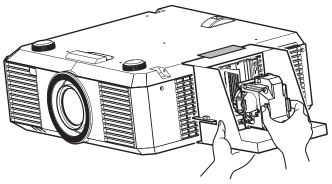
3 ランプ交換用トレーを、トレーに付属のテープを使ってプロジェクターに固定する



4 プロジェクターを固定しながら、交換するランプボックスの取っ手を持って引き出す

- ランプボックスを取り出す際にガラスの破片等がこぼれないように、ランプ交換用トレーを固定してください。
- ランプの落下の恐れがあるので、ランプをランプ交換用トレーの上に直接載せないでください。

5 ランプ交換用トレーと一緒にランプを取り出す



6「床置き時のランプ交換のしかた」の操作 5 ～ 9 を実行する

お知らせ

● その他の設置角度のときは、「床置き時のランプ交換のしかた」を参考にしてランプ交換してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

<table>
<tr><th>現象</th><th>確認／処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>● インジケーターの点灯のしかたを確認する。
<table>
<tr><th>POWER</th><th>STATUS</th><th>FILTER</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>消灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• 電源コードを本機に接続する。
• 電源プラグをコンセントに接続する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">赤点灯</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 本体が冷めているのを確認する。
3. 電源プラグをコンセントに接続する。
4. 電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>オレンジ点滅</td><td>消灯</td><td>• 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。
• 暖房の吹き出しが、排気口にかからないようにする。
• フィルターが汚れていないか確認する。
→フィルターを巻き取る。（47 ページ参照）。</td></tr>
<tr><td>緑点滅</td><td>消灯</td><td>• STATUS インジケーターの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。
• ファンの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、次に電源プラグをコンセントに接続したとき、約 2 分半点灯できなくなる場合があります。
• 光源ランプを消灯した後、約 2 分半は再点灯できません。
• 数回電源ボタンを押す。</td></tr>
<tr><td>赤点灯</td><td>消灯</td><td>• 光源ランプを交換する。（光源ランプの交換時間に達しています。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">赤 / 緑点滅</td><td>消灯</td><td>消灯</td><td>• ランプカバー、フィルターカバー、巻取りフィルター、投写レンズを取り付ける。</td></tr>
<tr><td colspan="2">点灯※
または
点滅※</td><td>• 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。</td></tr>
</table>
※：片方または両方のインジケーターが表示されている状態。</td></tr>
<tr><td>映像が映らない</td><td>● BLANK ボタンを押して BLANK を解除する。
● ランプ点灯に 1 分程度かかる場合があります。
● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
● 電源プラグをコンセントに接続すると、ファンが回転し、電源ボタンが動作しないときがあります。これは前回の使用時に冷却が不完全な状態で終了されたためです。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。
● オプションメニューの SCART 入力の設定を「OFF」にする。（32 ページ参照）
● 吸気口が汚れていないか確認する。
● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器を合わせてご使用ください。
● レンズキャップをはずす。</td></tr>
<tr><td>電源が切れる</td><td>● 吸気口、排気口がふさがれているときに切れることがあります。
（このとき、STATUS インジケーターはオレンジ点滅しています。）
→吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。
1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ（STATUS インジケーターが消灯するまで待つ）。
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 10 分以上待つ。
4. 電源プラグをコンセントに差し込む。
5. 電源ボタンを押す。
● STATUS インジケーターが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。
● オートパワーオフが設定されていませんか。
● ランプが劣化した場合、点灯後しばらくしてから消灯することがあります。</td></tr>
<tr><td>パスワード入力画面が表示される</td><td>● オプションメニューのパスワードロック機能で「映像表示」が設定されています。
→パスワードを入力する、またはプロジェクターの管理者に問い合わせる。</td></tr>
</table>

映像が映らない（つづき）

現象	確認／処置
「入力信号がありません」が表示される	● 接続した機器の電源を入れる。または、接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。（特にノートタイプのコンピューターの場合） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● RGB 接続時に延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることを確認してください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルと RGB 信号増幅器を合わせて使用してください。

映像がおかしい

現象	確認／処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITION ボタンを押す。 ● コンピューターの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する。（33 ページ参照） ● 排気が投写レンズの方向へ向かうような風が吹いていないか確認する。
映像がひずむ	● 本機と投写面が垂直になるように調整する。（15 ページ参照）
映像が暗い	● 画質メニューのブライトの調整をする。（36 ページ参照） ● ランプを交換する（50、51 ページ参照）。 ● 周囲の温度が高く、警告表示されているときは、周囲の温度を下げてください。
映像がぼやける	● フォーカスを合わせる。（14 ページ参照） ● レンズをきれいに拭く。 ● リモコンの◀または▶ボタンを押してちらつきをなくす。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする。（36 ページ参照） ● 本機と投写面が垂直になるように調整する。（15 ページ参照）
画面が焼き付く （残像がある）	● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。（ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。）
映像に赤、青、緑などの光る点が見える 映像に黒い点が見える	● 液晶プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 （一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99% 以上は有効な画素数です。）
映像に細かい縞模様が見える	● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。
映像（および音声) が乱れる	● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。 ● 入力信号によっては、台形補正を行うと画像が正常に表示されない場合がありますが、故障ではありません。この場合は、台形補正量が少なくなるように再調整してご使用ください。
色合いがおかしい	● 信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定が正しく設定されているか確認する。（33 ページ参照） ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
色合いが異なる	● 本機を 2 台以上投写し、比較した場合、色合いが異なることがありますが、故障ではありません。 ● テレビやパソコンのモニターなどと比較した場合、色再現範囲の違いなどにより色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
コンピューターの動画部分だけが表示できない	● コンピューターの問題です。コンピューターメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	● コンピューターの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる。（56 ページ参照） コンピューターの出力解像度の変更については、コンピューターメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見えることがあります。このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。 ● SUPER RESOLUTION を ON に設定していると、映像がにじむことがあります。OFF に設定してください。（29、37 ページ参照）
映像の周囲にノイズが見える	● DVD 等の映像によっては、記録されている映像の周囲にノイズがある場合があります。その場合は、信号設定メニューのオーバースキャンの設定値を下げてください。（33 ページ参照）
WXGA 信号の映像が正常に表示されない	● 38 ページの「コンピューター映像の調整」を行ってください。

故障かなと思ったら（つづき）

その他

現象	確認／処置
排気口から温風が出る	● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じられることがありますが、故障ではありません。
外部音声出力が出ない	● 音量設定が小さくなっていないか確認する。 ● HDMI ケーブルを使って接続している場合は、接続している機器の音声出力の設定を PCM 出力にする。
メニュー設定ができない	● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →電源ボタンを押しランプを消してから約 2 分半待った後、電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。電源ボタンもはたらかないときは、電源プラグをコンセントから抜き、10 分以上たってからもう一度電源プラグをコンセントに接続する。
画面上に「温度異常！！」が表示（点滅）される	● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口､排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。
⃠マークが表示される	● 動作しない操作を行ったときに表示されます。故障ではありません。
リモコンが効かない、効きにくい	● 乾電池が消耗していないか確認する。（2 ページ参照） ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する。（10 ページ参照） ● リモコンの操作範囲から外れていませんか。（10 ページ参照） ● リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号が合っているか確認する。（11 ページ参照） ● ターミナルカバーを取り付けると、後方からのリモコンが効きにくくなることがあります。 →ターミナルカバーを取り外す。
本体操作部のボタン（電源ボタンを除く）がはたらかない	● オプションメニューのパスワードロック機能で「キー操作」が設定されています。 →設定を解除する。
FOCUS/ZOOM が動作しない レンズシフトが動作しない	● 設置メニューのレンズロックが「ON」になっていないか確認する。（30 ページ参照）

ランプ交換のあとで以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認／処置
電源が入らない	● ランプカバーをきちんと取り付ける。 ● ランプ使用時間をリセットする。（51 ページ参照）
STATUS インジケーターが赤点灯する	● ランプ使用時間をリセットする。（51 ページ参照）

仕様 （仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。）

形名			LVP-UL7400
表示方式			p-Si TFT 透過形液晶× 3 枚
光学方式			ダイクロイックミラーによる色分離・プリズム色合成方式
表示素子	サイズ		0.76 形× 3（枚）
	画素数		2,304,000 画素（1920 × 1200）×3 枚
投写レンズ	焦点距離		f=24.0 ～ 43.2mm
	F 値		F1.8 ～ F2.6
光源			高圧水銀ランプ　350W
画面サイズ（投写距離）			最小 40 形～最大 300 形（投写距離 1.2 ～ 9.4m）
音声出力			10W、モノラル
スピーカー			個数 1
表示可能解像度	コンピューター信号入力時		最大入力解像度：1920 × 1200 ドット パネル表示解像度：1920 × 1200 ドット
	ビデオ信号入力時		表示可能信号：NTSC、4.43NTSC、PAL、SECAM、PAL-N、PAL-M、PAL-60 NTSC 水平解像度：600TV 本（S端子入力時）
	コンポーネントビデオ信号入力時		表示可能信号：480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p パネル表示解像度：1920 × 1200 ドット
コンピューター入出力	コンピューター入力	映像入力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB、YP_BP_R、YC_BC_R 信号対応）、1 系統 BNC 端子× 5（RGB、YP_BP_R、YC_BC_R 信号対応）、1 系統 • RGB：0.7Vp-p 75 Ω /1.0Vp-p 75Ω（同期負極性） • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • P_BP_R/C_BC_R：0.7Vp-p 75Ω • HD/CS：TTL レベル（負または正極性） • VD：TTL レベル（負または正極性）
			DVI-D、1 系統
		音声入力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、3 系統 • 350mVrms 10k Ω以上
	コンピューター出力	映像出力	ミニ D-Sub15 ピン（RGB/YP_BP_R/YC_BC_R 出力）、1 系統 • コンピューター入力と同一の信号形式で出力
		音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（ビデオ出力と共用）
ビデオ入出力	ビデオ入力	映像入力	BNC 端子、1 系統 • 1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） S 端子、1 系統 • Y：1.0Vp-p 75 Ω（同期負極性） • C：0.286Vp-p 75 Ω（バースト信号）
		音声入力	RCA 端子× 2（L、R）、2 系統 • 350mVrms 10k Ω以上
	HDMI 入力	映像・音声入力	HDMI、1 系統（音声は PCM にのみ対応）
	ビデオ出力	音声出力	φ 3.5mm ステレオミニジャック、1 系統（コンピューター出力と共用）
制御入出力 / その他			REMOTE IN（φ 3.5mm ステレオミニジャック）：1 系統 REMOTE OUT（φ 3.5mm ステレオミニジャック）：1 系統 シリアル端子（D-Sub 9 ピン、RS-232C 準拠）：1 系統 LAN 端子（RJ-45）：1 系統
使用温度 / 使用湿度			使用温度範囲：5 ～ 40℃（平地モード：全角度） 5 ～ 30℃（高地モード：床置き / 天吊り時） 使用湿度範囲：30 ～ 90%
電源			AC100V、50/60Hz
消費電力			5.7A　560W 待機時:5W（スタンバイモード「標準」時）/1.8W（スタンバイモード「LAN」時）/0.2W（スタンバイモード「低」時）
外形寸法（幅×高さ×奥行き）			481mm×179mm×418mm（本体のみ）※本体突起部含まず 481mm×179mm×502mm（ターミナルカバー装着時）※本体突起部含まず
質量			約 10.5kg（本体のみ）　約 11.0kg（ターミナルカバー装着時）

「JIS C 61000-3-2 適合品」
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

別売品

スクリーン	（形名 SCR-A50P）	オプションレンズ	（形名 OL-XL7100SZ）	光源ランプ	（形名 VLT-XL7100LP）
	（形名 SCR-A60P）		（形名 OL-XL7100LZ）	天井用取付金具ベース	（形名 BR-GB2※）
	（形名 SCR-A80P）		（形名 OL-XL7100TZ）	天井用取付アダプター	（形名 BR-XL7100S※）
			（形名 OL-XL7100FR）	高天井用ポール	（形名 BR-XD400P）

※：BR-GB2、BR-XL7100S はセットでご使用ください。単独では天井へ取り付けられません。

接続できる信号の種類

信号モード	解像度（H × V）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	通常表示（H × V）	リアル表示（H × V）	
TV60, 480i (525i)	720 × 480	15.73	59.94	1600 × 1200	-	*1
TV50, 576i (625i)	720 × 576	15.63	50.00	1600 × 1200	-	*1
1080i 60 (1125i 60)	1920 × 1080	33.75	60.00	1920 × 1080	-	*1, *2, *3
1080i 50 (1125i 50)	1920 × 1080	28.13	50.00	1920 × 1080	-	*1, *2, *3
480p (525p)	720 × 480	31.47	59.94	1600 × 1200	-	*1, *2, *3
576p (625p)	720 × 576	31.25	50.00	1600 × 1200	-	*1, *2, *3
720p 60 (750p 60)	1280 × 720	45.00	60.00	1920 × 1080	-	*1, *2, *3
720p 50 (750p 50)	1280 × 720	37.50	50.00	1920 × 1080	-	*1, *2, *3
1080p 60 (1125p 60)	1920 × 1080	67.50	60.00	1920 × 1080	-	*1, *2, *3
1080p 50 (1125p 50)	1920 × 1080	56.25	50.00	1920 × 1080	-	*1, *2, *3
CGA70	640 × 400	31.47	70.09	1920 × 1200	640 × 400	
CGA84	640 × 400	37.86	84.13	1920 × 1200	640 × 400	
CGA85	640 × 400	37.86	85.08	1920 × 1200	640 × 400	
VGA60	640 × 480	31.47	59.94	1600 × 1200	640 × 480	*2, *3
VGA72	640 × 480	37.86	72.81	1600 × 1200	640 × 480	
VGA75	640 × 480	37.50	75.00	1600 × 1200	640 × 480	
VGA85	640 × 480	43.27	85.01	1600 × 1200	640 × 480	
SVGA56	800 × 600	35.16	56.25	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA60	800 × 600	37.88	60.32	1600 × 1200	800 × 600	*2, *3
SVGA72	800 × 600	48.08	72.19	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA75	800 × 600	46.88	75.00	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA85	800 × 600	53.67	85.06	1600 × 1200	800 × 600	
SVGA95	800 × 600	59.97	94.89	1600 × 1200	800 × 600	
XGA60	1024 × 768	48.36	60.00	1600 × 1200	1024 × 768	*2, *3
XGA70	1024 × 768	56.48	70.07	1600 × 1200	1024 × 768	
XGA75	1024 × 768	60.02	75.03	1600 × 1200	1024 × 768	
XGA85	1024 × 768	68.68	85.00	1600 × 1200	1024 × 768	
SXGA70a	1152 × 864	63.85	70.01	1600 × 1200	1152 × 864	
SXGA75a	1152 × 864	67.50	75.00	1600 × 1200	1152 × 864	
SXGA85a	1152 × 864	77.49	85.06	1600 × 1200	1152 × 864	
WXGA60	1280 × 768	47.78	59.87	1920 × 1152	1280 × 768	*2
WXGA60a	1280 × 800	49.70	59.81	1920 × 1200	1280 × 800	*2
WXGA60b	1360 × 768	47.71	60.02	1920 × 1084	1360 × 768	
WXGA60c	1366 × 768	47.50	59.75	1920 × 1080	1366 × 768	
WXGA+60	1440 × 900	55.94	59.89	1920 × 1200	1440 × 900	*2, *3
WXGA++60	1600 × 900	60.00	60.00	1920 × 1080	1600 × 900	
SXGA60b	1280 × 960	60.00	60.00	1600 × 1200	1280 × 960	
SXGA75b	1280 × 960	75.00	75.00	1600 × 1200	1280 × 960	
SXGA85b	1280 × 960	85.94	85.00	1600 × 1200	1280 × 960	
SXGA60	1280 × 1024	63.98	60.02	1500 × 1200	1280 × 1024	*2, *3
SXGA75	1280 × 1024	79.98	75.02	1500 × 1200	1280 × 1024	
SXGA85	1280 × 1024	91.15	85.02	1500 × 1200	1280 × 1024	
SXGA+60	1400 × 1050	63.98	60.02	1600 × 1200	1400 × 1050	
	1400 × 1050	65.32	59.98	1600 × 1200	1400 × 1050	*2, *3
SXGA+75	1400 × 1050	82.28	74.87	1600 × 1200	1400 × 1050	
WSXGA+60	1680 × 1050	65.29	59.95	1920 × 1200	1680 × 1050	
MAC13	640 × 480	35.00	66.67	1600 × 1200	640 × 480	
MAC16	832 × 624	49.72	74.55	1600 × 1200	832 × 624	
MAC19	1024 × 768	60.24	75.02	1600 × 1200	1024 × 768	
HP75	1024 × 768	62.94	74.92	1600 × 1200	1024 × 768	
HP72	1280 × 1024	78.13	72.00	1500 × 1200	1280 × 1024	
SUN66a	1152 × 900	61.85	66.00	1536 × 1200	1152 × 900	
SUN76a	1152 × 900	71.81	76.64	1536 × 1200	1152 × 900	
SUN66	1280 × 1024	71.68	66.68	1500 × 1200	1280 × 1024	
SUN76	1280 × 1024	81.13	76.11	1500 × 1200	1280 × 1024	
SGI72	1280 × 1024	76.92	72.30	1500 × 1200	1280 × 1024	
SGI76	1280 × 1024	82.01	76.00	1500 × 1200	1280 × 1024	
UXGA60	1600 × 1200	75.00	60.00	1600 × 1200	1600 × 1200	*2, *3
WUXGA60	1920 × 1200	74.04	59.95	1920 × 1200	1920 × 1200	

*1： SPLIT、イメージキャプチャーには対応しません。
*2： COMPUTER/COMPONENT/VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子も対応しています。
*3： HDMI IN 端子も対応しています。

お知らせ

- 本機の最大解像度は 1920 × 1200 ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。
- SYNC ON G 対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります（このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください）。
- SYNC ON G 対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。
- 表に載っていない解像度と周波数のときは、接続するコンピューターの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。
- 1080i はハイビジョン信号を表します。
- ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは、信号設定メニューの COMPUTER 入力の設定を「RGB」にしてください。
- ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。
- 480p の４線（R、G、B、CS*）出力機器および５線（R、G、B、H、V）出力機器について本機は対応していません。
  ＊：Composite Sync

リアル表示について

投写画面上にモアレが発生したり、または投写画面上の線の太さがばらつくときは、入力信号そのままの大きさで表示（リアル表示）することにより、見やすくなることがあります。リアル表示にするためには、あらかじめ、オプションメニューの画角の設定を「REAL」にします。(メニューの操作方法については、28 ページ参照)

- パネル解像度より大きい信号は、中央部のみ表示されます。はみ出した部分は表示されません。
- パネル解像度より小さい信号は黒枠付きで表示されます。
- 信号によってはパネル解像度より大きい信号も黒枠付きで表示されることがあります。

索引

ア行
アドバンスドメニュー（オプションメニュー）
.... 32
アドバンスドメニュー（画質メニュー）.... 29
アフターサービス.......... 61
色合い.......... 29、36
色温度.......... 29、36
色の濃さ.......... 29、36
オートパワーオフ.......... 14、30
オートパワーオン.......... 30
オプションメニュー.......... 31
オプションレンズ.......... 59

カ行
画角.......... 21、31
画質メニュー 29
カラーエンハンサー.......... 29、36
乾電池を入れる.......... 2
ガンマモード 37
曲面補正 16
クランプ位置 .... 33、39
クランプ幅 .... 33、39
言語選択 .... 31、32
高地モード .... 14、31、32
コーナー補正 16
コントラスト .... 29、36
コンピューターとの接続 18

サ行
シネマモード 31
上部曲がり補正.......... 33、39
シャープネス .... 29、36
仕様.......... 55
詳細設定メニュー.......... 33、39
情報メニュー 35
信号設定メニュー.......... 33
信号判別 32
スタンバイモード.......... 30
接続
　コンピューター.......... 18
　ビデオ機器 24
　DVD プレーヤー 24
　ハイビジョンデジタルチューナー.......... 24
接続できる信号の種類.......... 56
設置メニュー 30

タ行
台形補正 15
投写レンズを交換する.......... 49
投写角度の調整.......... 15
投写距離 12

ナ行
ネットワーク 40
ネットワークメニュー.......... 34、40

ハ行
パスワード 43
バックカラー 30
反転表示 .... 14、30
ビデオ機器との接続.......... 24
ピントの調整 14
フィルター 47
フォーカス調整.......... 14
付属品.......... 2
ブライト .... 29、36
プロジェクター ID 11
分周比.......... 33、39
別売品.......... 55

マ行
巻取りフィルター.......... 47
メニュー位置 31
メニューの基本の操作方法 28

ラ行
ランプカバー 50
ランプの交換 50
ランプモード 30
リモコン ID 11
リモコン受光部.......... 8、10
レンズシフト .... 14、30

B
BLANK .... 15、22

D
DVD プレーヤーとの接続.......... 24

F
FILTER インジケーター .9、47、52、58

G
GEOMETRY 15

H
HDMI.......... 25、26

N
NCM.......... 29、37

P
POWER インジケーター
.... 9、13、17、52、58

S
SCART 入力 32
SPLIT.......... 22
sRGB 29
STATUS インジケーター
.... 9、13、17、52、58
SUPER RESOLUTION.......... 29、37

端子について

SERIAL 端子（D-Sub 9 ピン）

PIN No.	名　称	I/O
1	−	−
2	TXD	入力
3	RXD	出力
4	−	−
5	GND	−
6	−	−
7	−	−
8	−	−
9	−	−

COMPUTER/COMPONENT/VIDEO IN 1 端子（ミニ D-Sub 15 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	DDC 5V
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

HDMI IN 端子

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	TMDS Data2+	8	TMDS Data0 Shield	15	SCL
2	TMDS Data2 Shield	9	TMDS Data0-	16	SDA
3	TMDS Data2-	10	TMDS Clock+	17	DDC Ground
4	TMDS Data1+	11	TMDS Clock Shield	18	+5 V Power
5	TMDS Data1 Shield	12	TMDS Clock -	19	Hot Plug Detect
6	TMDS Data1-	13	CEC		
7	TMDS Data0+	14	−		

COMPUTER/COMPONENT/VIDEO DVI-D IN (HDCP) 端子（DVI-D 24 ピン）

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	TMDS DATA 2 −	9	TMDS DATA 1 −	17	TMDS DATA 0 −
2	TMDS DATA 2 +	10	TMDS DATA 1 +	18	TMDS DATA 0 +
3	TMDS DATA 2 Shield	11	TMDS DATA 1 Shield	19	TMDS DATA 0 Shield
4	−	12	−	20	−
5	−	13	−	21	−
6	DDC Clock	14	+ 5V Power	22	TMDS Clock Shield
7	DDC Data	15	GND (for +5V)	23	TMDS Clock +
8	−	16	Hot Plug Detect	24	TMDS Clock −

MONITOR OUT端子(ミニD-Sub 15ピン)

PIN No.	仕 様	PIN No.	仕 様
1	R(RED)/P_R/C_R	9	-
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/P_B/C_B	11	-
4	-	12	-
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	-
8	GND		

インジケーターの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケーターが 3 つあります。インジケーターの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

■ 正常時

POWER	STATUS	FILTER	状態	備考
赤点灯	消灯	消灯	電源スタンバイ状態	
	緑点滅	消灯	クーリング中	電源「入」の操作はできません。
緑点灯	緑点滅	消灯	ランプウォームアップ状態	電源「切」の操作はできません。
	緑点灯	消灯	電源「入」（通常時）	
	消灯	緑点滅	巻取りフィルター動作中	インジケーターが消えるまでは電源を切らない。

■ 交換表示

POWER	STATUS	FILTER	状態	処置
緑点灯	赤 / 緑点滅	消灯	ランプ交換表示（通算約 3000 時間※1 使用・電源が「入」のとき）	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
赤点灯	赤点滅	消灯	ランプ交換表示（通算約 3000 時間※1 使用・電源が「切」のとき）	
	赤点灯	消灯	ランプ交換表示（通算約 4000 時間※2 使用のとき）※3	
緑点灯	消灯	赤点滅	フィルター交換表示（フィルター 9 回巻き取り・電源が「入」のとき）	新しいフィルターカートリッジを用意してください。 フィルターカートリッジのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
赤点灯	消灯	赤点滅	フィルター交換表示（フィルター 9 回巻き取り・電源が「切」のとき）	

■ 異常時

POWER	STATUS	FILTER	状態	処置
赤 / 緑点滅	消灯	消灯	• ランプカバー、フィルターカバーのいずれかが開いている • 投写レンズまたはフィルターカートリッジを取り付けていない	• すべてのカバーを閉じる。 • レンズと巻取りフィルターを取り付ける。（47、48 ページ参照）
	点灯*4 または 点滅*4		故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
緑点灯	消灯	オレンジ点滅	巻取りフィルターが正しく動作していない	
赤点灯 または 緑点灯	オレンジ点滅	消灯	本機内部が高温になっている • 吸気口または排気口をふさいでいる • 暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している • フィルターが汚れている	• ふさいでいる物をとる。 • 設置場所を変える。 • フィルターを巻き取る。（47 ページ参照）
赤点灯	緑点滅	消灯	ランプ異常	• STATUS インジケーターの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す。 上記の操作を数回行っても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

※1：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は短くなります）。
※2：ランプモードを「低」にした場合の時間（「標準」にした場合の時間は約3000 時間）。
※3：本体またはリモコンの電源ボタンを押すと、STATUS インジケーターが 3 回赤点滅し、その後赤点灯に戻ります。この場合、本機の電源は入りません。
※4：片方または両方のインジケーターの表示状態。

オプションレンズについて

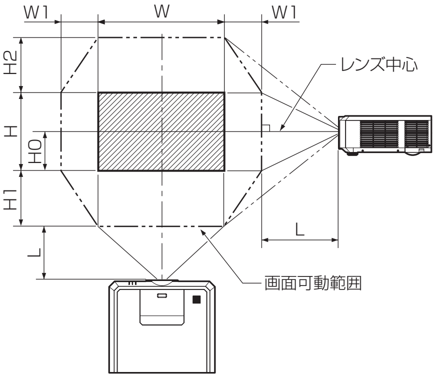
オプションレンズの仕様

短焦点レンズ (OL-XL7100SZ)

F 値　F2.0 ～ F2.6
焦点距離　f = 19.3 ～ 24.9 mm
ズーム / フォーカス　電動 (ズーム比 1.3 : 1)
画像サイズ　40 形 (86 cm × 54 cm) ～ 300 形 (646 cm × 404 cm)

画面サイズ			投写距離 L		レンズシフト高さ			レンズシフト幅 W1 (cm)
形	幅 W (cm)	高さ H (cm)	最短 (m)	最長 (m)	標準 H0 (cm)	H1 (cm)	H2 (cm)	
40	86	54	1.0	1.3	-27	32	32	26
60	129	81	1.5	1.9	-40	48	48	39
80	172	108	2.0	2.6	-54	65	65	52
100	215	135	2.5	3.2	-67	81	81	65
120	258	162	3.0	3.9	-81	97	97	78
150	323	202	3.8	4.9	-101	121	121	97
200	431	269	5.0	6.5	-135	162	162	129
250	538	337	6.3	8.1	-168	202	202	162
300	646	404	7.6	9.8	-202	242	242	194

表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

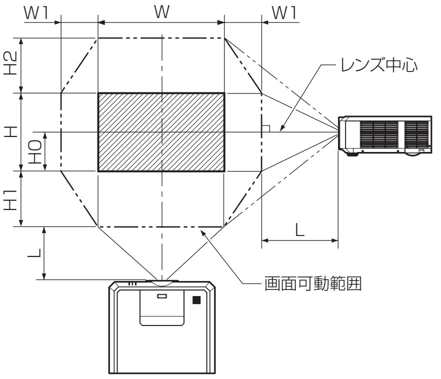


長焦点レンズ (OL-XL7100LZ)

F 値　F2.2 ～ F2.8
焦点距離　f = 42.3 ～ 71.8 mm
ズーム / フォーカス　電動 (ズーム比 1.7 : 1)
画像サイズ　40 形 (86 cm × 54 cm) ～ 300 形 (646 cm × 404 cm)

画面サイズ			投写距離 L		レンズシフト高さ			レンズシフト幅 W1 (cm)
形	幅 W (cm)	高さ H (cm)	最短 (m)	最長 (m)	標準 H0 (cm)	H1 (cm)	H2 (cm)	
40	86	54	2.1	3.7	-27	32	32	26
60	129	81	3.2	5.6	-40	48	48	39
80	172	108	4.4	7.5	-54	65	65	52
100	215	135	5.5	9.4	-67	81	81	65
120	258	162	6.6	11.3	-81	97	97	78
150	323	202	8.3	14.1	-101	121	121	97
200	431	269	11.1	18.9	-135	162	162	129
250	538	337	13.8	23.6	-168	202	202	162
300	646	404	16.6	28.3	-202	242	242	194

表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。

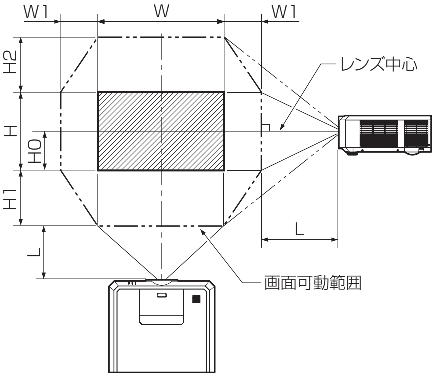


遠焦点レンズ (OL-XL7100TZ)

F 値　F2.2 ～ F2.8
焦点距離　f = 70.3 ～ 119.5 mm
ズーム / フォーカス　電動 (ズーム比 1.7 : 1)
画像サイズ　40 形 (86 cm × 54 cm) ～ 300 形 (646 cm × 404 cm)

画面サイズ			投写距離 L		レンズシフト高さ			レンズシフト幅 W1 (cm)
形	幅 W (cm)	高さ H (cm)	最短 (m)	最長 (m)	標準 H0 (cm)	H1 (cm)	H2 (cm)	
40	86	54	3.5	6.1	-27	32	32	26
60	129	81	5.4	9.3	-40	48	48	39
80	172	108	7.2	12.4	-54	65	65	52
100	215	135	9.1	15.6	-67	81	81	65
120	258	162	10.9	18.7	-81	97	97	78
150	323	202	13.7	23.5	-101	121	121	97
200	431	269	18.4	31.3	-135	162	162	129
250	538	337	23.0	39.2	-168	202	202	162
300	646	404	27.6	47.1	-202	242	242	194

表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。



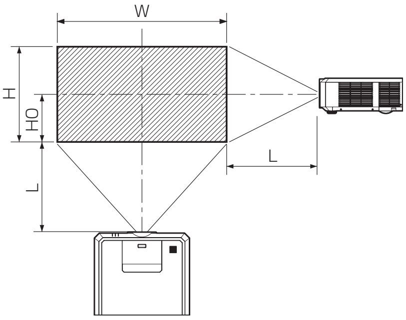
オプションレンズについて（つづき）

リア用固定焦点レンズ (OL-XL7100FR)

F 値　F2.2
焦点距離　f = 12.9 mm
ズーム / フォーカス　電動
画像サイズ　40 形 (86 cm × 54 cm) ～ 200 形 (431 cm × 269 cm)

画面サイズ			投写距離 L (m)	レンズシフト高さ
形	幅 W (cm)	高さ H (cm)		標準 H0 (cm)
40	86	54	0.6	-27
60	129	81	1.0	-40
80	172	108	1.3	-54
100	215	135	1.7	-67
120	258	162	2.0	-81
150	323	202	2.5	-101
200	431	269	3.3	-135

表の中の数値は、実際と数%誤差が生じることがあります。



- 推奨しないサイズで投写すると歪みが大きくなり、解像度が低下します。
- レンズ取り付け後の台形補正は、補正角度の範囲が標準レンズの場合と異なることがあります。
- レンズ取り付け後の台形補正は、適切なアスペクト比が得られないことがあります。

保証とアフターサービス

■保証書（別添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間
お買上げ日から 1 年間です 但し、ランプは 1 年以内で 500 時間まで

● ランプ使用時間の確認方法

スタンバイ状態で、▲、▼ボタンを押しながら、電源ボタン（⏻）を押します。STATUS インジケーターが約 5 秒間、緑色に点灯すれば、ランプの使用時間が 500 時間以内です（ランプ使用中は点灯しません）。

● 光源ランプを交換されるときは

光源ランプは専用の VLT-XL7100LP をご使用ください。他のランプを使用された場合、製品の保証を受けられないことがあります。

■補修用性能部品の最低保有期間

●当社は、液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低 8 年間保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●光源ランプなどの消耗部品の他に、液晶パネル、偏光板、PBS（光偏光素子）、カラーホイールなどの光学部品及び冷却ファンは寿命部品で、定期的な交換が必要です。長時間（毎日６時間以上）ご使用されると、１年未満であっても修理・交換が必要になる場合があります。また、たばこの煙やほこりの多い場所でご使用になると、定期的な交換サイクルを早める場合があります。詳しくは、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

◎**「故障かなと思ったら」**の手順にしたがって、お調べください。
●なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

◎ 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。

◎ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◎ 修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

◎ ご連絡いただきたい内容

1.	品　　名	三菱液晶プロジェクター
2.	形　　名	LVP-UL7400
3.	お買上げ日	年　月　日
4.	故障の状況　（できるだけ具体的に）	
5.	ご住所（付近の目印なども）	
6.	お名前・電話番号・訪問希望日	

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

三菱電機
テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは

全国どこからでもおかけいただける
三菱電機テクニカルサポートセンター
0120-32-7440（無料）
Tel:075-353-0654
（携帯電話、PHSでお問い合わせの場合）

■受付時間　平日・土日・祝日（弊社指定休日除く）
午前 9：00〜12：00/午後 1：00〜9：00

FAX　075-353-0685
E-mail　pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する**詳細情報**や**応用例**などを、WWWサーバでもご提供しています。
www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business

三菱電機株式会社（本社窓口）

購入、買替えのご相談は
三菱電機株式会社（本社窓口）
TEL:03-3218-6107（有料）

■ 受付時間　平日（土日・祝日・弊社指定休日除く）
午前 9：00〜12：00/午後 1：00〜5：30

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

メモ

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役にたちます。

購入年月日

購入店名（住所）

電話番号

この液晶プロジェクターの形名は LVP-UL7400 です。

愛情点検 ● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 電源コード、電源プラグが異常に熱い。 ● コゲくさい臭いがする。 ● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 電源スイッチを入れても映像がでない。 ● 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。 ● その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

液晶プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

A

三菱電機株式会社
京都製作所　〒617−8550 京都府長岡京市馬場図所1番地

Printed in China